

【夢幻幻想郷】 脱出トロフィーコンプRTA

木偶人形

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

【今は忘れ去られた妖怪や神と人が暮らす幻想の存在にとっての最後の理想郷…幻想郷】

【その突如幻想郷に起きた博麗大結界の異常。幻想郷にとっての一大事に博麗の巫女と幻想郷の賢者が異変解決に動き解決した。原因は分からず、博麗の巫女は結界の保護強化のため結界の要へ、賢者は姿を隠した】

【幻想郷に何が起こったのか、幻想の住人達は普段通りに日々を過ごしていく】

【そう、普段通りに……】

目次

一週目

キャラクター／リセマラ／第一村人	1
第一村人／ステータス説明／いざ人里へ	9
人里／役所へ	15
役所／仕事探しへ	19
仕事探し／仕事先／死んでる…？へ	23
死んでる…？／〇〇本へ	27
〇〇本／給料計算／やーきーとーりー茶!!へ	31
やーきーとーりー茶!!／本借／本読みへ	37
本読み／二日目／鈴奈庵へ	41
鈴奈庵／安全施設／敬語へ	46
敬語／常識／煙草へ	51
本居小鈴の珍妙な来客	56
煙草／幻想郷〇〇／夕暮れ時へ	62
夕暮れ時／縁起／三日目へ	69
三日目／寺子屋へ	74
寺子屋／不明／搜索へ	80
搜索／助力願い／出戻りへ	87
本居小鈴の珍妙な来客2	92
出戻り／詰め所／借家へ	98
借家／初めての空の旅／不穏へ	103
不穏／魔弾／回収へ	108
回収／神憑り／バァーカ!!へ	114
バァーカ!!／緑光／四日目へ	120

四日目／報告／空からへ

125

空から／呪爆へ

130

呪爆／会話／暴露へ

135

「ユメマボロシ」

141

二週目

真つ暗な目覚め／灰緑／“地”へ

146

”地”／?霊?／?殿?にてへ

152

一週目

キヤラクリ／リセマラ／第一村人

はい、よいスタート

はい皆さん初めまして。帰宅部エースによる『夢幻幻想郷』脱出トロフィーコンプRTAはつじまるよー。

ノンケなので（淫夢要素とか）ないです。

タイトルBGMがうるせえ！って人は今ここで音量調節をやって、どうぞ。

ではゲームスタートを押したら測定開始。

ないんど（↑なぜか変換できない）をI u n a t i cにして性別を男に……当たり前だよなあ？

名前は「望歩」にします。これは先人にあやかり ほも、もほ、もうほ、望歩としました！何？無理やりすぎる……？他にも理由はあるんで許してください！何でもしますから！

名字の方はランダムで決められます……なんで？（殺意）
という事で名字は気にするな、望歩君のステータス決めとなります。

今回『夢幻幻想郷』は完全没入型VRゲームで、完全なオープンワールド何ですよね……しかも自由度がクツソ高い。どれくらい自由かって言うとお昔に流行っていた三度ごみ箱にぶち込むまでがチュートリアルのあるゲーム以上には高いです。故にR18なんです……。何よりもオンラインに繋ぐことで多種多様なサービスが受けられるようになります。DLCとかで新しい東方のキャラ、マップを追加できます。

と、言ったところで大体の（ランダム以外の）設定が終わりましたね。

基礎ステータスなどの振りなおしで少し時間があるので上から順に説明していくと……

生まれは一般家庭で職業は警察にしました。これは一般家庭で特

定の基礎ステータス上昇を、警察で基礎ステの上昇と今から必要になる特定のアイテムと技能の補正が欲しかったのです。技能というのはこの世界におけるすべてに通じる熟練度になります。戦闘、生活、交渉などの全てがそれぞれ事細かに『マスクデータ』で設定されています……そう、マスクデータです。見えませんが、ゲーム内で実感はできませんが一部方法を除き確認すらできません。クソですね。一応救済としてeasyでは技能のレベルが上がれば何が上がったかを確認できるので試行錯誤の繰り返しで職業の補正がかかる技能を見つけ出しました。

ちよつとスタッフうくりリアルに作りすぎてんよ（震え声）

ちなみに一般家庭、警察には種類があり一般家庭だけでも一般家庭（裕福）一般家庭（貧相）一般家庭（片親）など様々な種類がありnormal以下じゃないと○の中はランダムで決まります。はい、つまりステータス上昇もそれぞれ変わるのでここもリセット案件です。一般家庭を選んだのもマイナスが付かないからという点が大きいので最善じゃなくてもガバではないです。

警察もランダム要素がありますが基本的に持ち物は共通している物があり補正がかかる技能もどれも優秀というかなりの当たり職業です。こいつに関してはランダム要素が何でありオーキードーキー

♪
で、次に経歴の欄なのですが……これは三つありそのうち一つがご存じの通り完全ランダムで開始まで見れません。いくら何でもキラクリでランダム要素多すぎんだろ！って思ったあなた……私もです。公式サイトでQ&Aを覗いて真相を確認して参ったところ……

Q、ベリハからランダム要素が高すぎてゲームにならないんですがA、今作ではvery hardからリアリティの高い幻想郷をお楽しみいただきたく思っておりそれ用に調整をしております。更にlunaticからはイベントの数を数十倍に増やして何度でも一生を遊びなおせることをコンセプトに作っております。

………はい、もうお分かりですね？

このゲーム……なんと……!!RTA向きではありません!!特に1

u n a t i c は!!!

でもやります(鋼の意思)

そして走者よ増えろ。

さて、話を戻して経歴が決定されました。

経歴1：親戚に引き取られる

2：社会に絶望したことがある

3：不明

この二つは今判明しているもので親戚に引き取られるという経歴があると『心理学』技能と「意思」ステに補正入ります。なんで？(疑問)

ま、まあゲームですから……た、多少はね？

で、次の社会に絶望したことがあるという経歴に関してですが……『演技』『心理学』『話術』『社会嫌悪』に補正が入ります。

で、ここで技能の説明を……今回かなり重要になるのが『心理学』と『演技』『話術』になります。それぞれ相手の感情が分かる、感情を隠す、話を通しやすくなる喋るのがうまくなるというものです。今回ビルドが嫌われ者ペラ回しビルドなので……演技力と話術が必須になるんですね。

何でわざわざ嫌われ者になる必要があるのかは……後ほど説明します。

そしてこの『社会嫌悪』……これはいわゆるマイナススキル、それも思考制限系というものです。今作のようなそのキャラに成り切つて遊ぶ場合基本的にゲームしている本人の意思が一番強く反映される自由な選択しが無数に存在するんですがこういう思考制限系のスキルがある場合選択肢が狭められたりする場合があります。ぶっちゃけかなり重いマイナススキルです、消すことも難しいですし。

でもその分の価値はあるのでプラマイで言うならばプラスです。

それに私は電腦完全没入型VRゲームのプロです。できらあ!!

それにこう……思考が自分でもわからないうちに誘導されているのって……本当にそのキャラみたいになつたみたいで……ふふ……興奮しちゃうんですね(末期症状)

で、次特徴な ん で す が……こちら3ポイントを振り分けて取得する仕組みになっております。―効果しかないポイントを増やす特徴もあります。がそれでも合計で6つまでとなっており。まあ初心者兄貴は普通に+効果しかない特徴を選んでおけばいいと思います、特に2ポイント以上使う特徴はかなり強力なので。選んだ特徴はこちらになります。

特徴：へらへらと笑う―1

自己中心的―1

達観している1

威圧感のない風貌1

道化2

逃げ足1

では説明を……ていうかステ振りですけど、まだ時間かかりそうですかね？

はい、かかりそうですね……ステータス振りで一つ0にしないといけない項目があるのでそこでこずってますね……ま、キャラクリデータ保存できるしこれくらいの時間は誤差ですよ誤差！……最終的に一か月近くかかりますからね、このRTA。

吟味は大事、つてことで……フアツ!?出とるやんけ!?

よし！キャラクリデータセーブとローディング中にパパッと説明しますと……特徴はそのキャラを作るための一番重要な要素で選んだ特徴で技能の補正や思考制限ステータス補正など同じ設定でもここが違うだけで別人か？つて言うくらいには変わります。後顔とかもあと顔とかも（大事な事なのでry）なのでこれが実質の肉付けになります。あの鬼畜運営もここにはランダム要素をぶち込みませんでしたしね……正直ここにもランダム要素ぶち込まれていたらRTAとか精神こわれるう〜。

あつ……はい！ロードが終わりましたね！ついに幻想郷に足を踏み入れました望歩くん……！

〜なんだここは……？俺は確か先輩と事件を追って……犯人が森

に逃げたから追いかけて……

▼わからない、わからないが……ここは……森？

あつ（察し）はい、リセット案件ですね。

初期位置森とか無理無理むりたにえんですよ……

で、初期位置が完全にランダムなこの『夢幻幻想郷』何ですが……今回のように初期位置に恵まれなかった場合リスタートを切る必要があります。

しかしどう頑張ってもやり直しにはこのキャラクターを置いてタイトルへ戻りキャラクリをし直すか……死ぬ必要があります。

あれだけ時間を掛けて作ったこのキャラを捨てるとかいう選択肢はありません。一回目だからこそその時間を掛けてよいという判断ですからね。

で必然的に死んだ場合のコンテニューの話になるんですが……このゲームの主人公は死んでもとある事情から周回できるようになっています。なお記憶、ステータスなどの引継ぎは一定条件を満たさないと引き継げないので今は無理です。

ですが今回の場合初期位置を変えたいだけなので即座に死んで即リボーンできるね!!（マジ基地スマイル）

しかしここで問題が起きます。人間自殺とか簡単にできません。

ここはゲームだろ!とか思うかもしれませんが人間結構頑丈（当社比）で自分で頭に石ぶつけるとかじゃ時間がかかるんですよ。高い場所とかあれば落っこちて死ぬんですけど……低い段差でも頭から行けば死ぬる? 反射で本能的にかばうので中途半端に死にかけて時間だけかかるハメになりますよ（1敗）

ということ……ここで秘密兵器の登場です!!

つ（拳銃）

はい、よく狙ってえ……狙えない? 怖いんだね可愛いね♡じやあ啜えろ（豹変）

はいドーン。

死にましたー。いやあ……何度見ても死亡シーンは心にきますね
く……死の描写が生々しすぎるってそれ一番言われてるから（震え

声)

でもこれが一番メンタル(走者)がましだったから……んにやぴ……。

ええつと……操作担当が死に続けているのを横目に初期位置について説明します。

今回目指す脱出トロコンRTAでは三つのトロフィーが必要となります。その中でも一番簡単でお手軽な『ユメマボロシ』というトロフィーを取りに行きます。条件は簡単何もせず幻想郷から現世に帰るだけ。本当にそれだけです。

ですがこのゲーム最初のチュートリアル期間の5日目までは外に出れない様になっています。なぜなら博麗神社に博麗の巫女である霊夢が居ないんですね。

なので最初の4日間は博麗神社周りでうろろして5日目に博麗神社にたどり着くようにしないといけないわけです。

逆に言うと博麗神社まで5日以上かかるような場所はNG、という事になります。

先ほど述べた引継ぎの条件も5日目を迎える事、その後だったら死んでも引継ぎを行えるようになります。引継ぎの際プレイヤーもキャラと一緒にエピソード記憶が消されていることを確認していませんが詳しいことはまだ判明していません。因みにログアウトしたら全部覚えていきます(嗚咽)

余談ですがたまに前の周をうっすら覚えているようなそぶりを見せるNPCが居たりいなくなったりしますが……解析班兄貴達が頑張って検証していますが詳しいことは分かっていないそうです。

おおつと、初期位置当たりの内の「人里」ですね……もつとも望歩君がいる場所は大分離れた場所みたいです。他にも有名な場所での辺りは「博麗神社」「命蓮寺」「香霖堂」があります。他の場所は……死んだ方が早い(確信)

よーし、ようやくゲームスタート!と思うじゃん?

まだなんですよ(血涙)もうタイマーかなり経過してるんですが

……まあええやろ！実際この時点で1時間とかざらにありますしね
(遠い目)

はい、次のリセポイントの経歴3君です。この部分だけは最初に引き継ぐまで死に続けるたびに変わっていきます……つまり、ガチャやな？

この項目が先ほど設定した経歴1、2と生まれ、特徴からそれにあつたものが選ばれます。ちなみに有名な「く程度の能力」もこのタイミングで決まります……このチャートでは確認できませんけど(小声)

欲しい経歴は『人を殺したことがある』『破れぬ誓いがある』です。体感15個ぐらいからこの2つの内一つが選ばれていれば開始できます。

はい、メニュー！……『大切な人を亡くした』なのではい撤回！

頭がパーンってなりましたね。

メンタル強化やそこそこの感じの経歴なのですが今回は→2つの経歴が必須なのでやり直しです。

それにしても……森の中なら兎も角、人里の近くにポップするっていったいどういう経緯で主人公は幻想入りしたんでしょうねえ。

一度でもいいから主人公が幻想入り瞬間を傍目で見たいです。今回厳選している経歴なんです……どれもメンタル系の効果があるのもそうなんです、他にもう一つ倫理セーフティーっていうマスコデータが低下するんですよ。これが結構重要で、必要に駆られれば汚い手も平気で取れるようになります。下げすぎればタガが外れたサイコパスになってしまうので加減が必要ですが考えているチャートですと必ずっていうほど確定で持つておきたい経歴なんですよね。

で、そうこうしている内にまたまた人里ですね。

で、今回の経歴は……おっと『破れぬ誓いがある』これは当たりですね。それにしても一回も「命蓮寺」も「博麗神社」もいけませんでしたがこの二つはレア湧きなのでこんなものでしょう。森6山2閤

1里1みたいな確率でしたね。闇は多分洞窟かな？

で、現在位置は……

くどうやら田んぼのど真ん中のようだ。体が泥だらけになっている
……

なんでこんなところに（現場猫並感）

怒られるのでさっさと出ましよう。

そして泥だらけのまま里の方向へ向かいます。里の門番が居ますがここは正直に訳が分からなくていきなりここに居たと説明すれば外来人として処理してもらえます。ネームドの慧音先生に運良く会えれば親身になって話を聞いてくれるしその後の職場のお世話をしてくれるんですが里内部が毎回ランダム生成で変わって覚えるの不可能で実質狙って会うのすら……？

え、あ、おおん？あそこにいるの慧音先生じゃないか!?

勝ったな。

という事でダツシユで第一村人にあいさ

今回はここまでです。ありがとうございました。

第一村人／ステータス説明／いざ人里へ

マップ生成イベント生成キャラ生成全てがランダムだらけこれもうわかんねえな？なRTAはーじまーるよー。

前回第一村人を発見してそれがまさかのネームド慧音先生だった所からですね。

この人里なんですがこの『夢幻幻想郷』で最大の安置にして最大数のネームドと出会える可能性があるホットスポットです。

人里で生活している稗田阿求ひえだのあきゆう もとおりこすず 本居小鈴ほんけこすずと現在接触しようとしている上白沢慧音等かみしらさわけいねや買い出しに来た霧雨魔理沙きりさめまりさ、十六夜咲夜いざよいさくやや妖怪でありながら日常に溶け込んでいるニツ岩マミゾウ、アリス・マーガトロイド等々ここで上げるには時間が足りないくらいのキャラが存在します。2日に一回は必ず誰かしら見かける程度には居るのでこれを聞いてこれから人里に住もうと考えている兄貴にそのネームドたちの中でも気軽に声を掛けてはいけない危険人物を伝えておきます。かざみゆうか 風見幽香様です。はい気軽に声を掛けてはいけません。何なら近づいてもいけません。死にます（3敗）

脅しすぎたので弁明しますと普通に優しいお方ですがナンパと間違われて骨が砕け散ります、肩ならマシで酷ければ全身砕けてます。馴れ馴れしく声を掛ければなんやこいつみたいな表情でいつの間にかキャラが意識不明の重体になります。人里の中でもそれなので同じことを里の外でやれば死にます（8敗）

それでも仲良くなりたいたいのなら優しい人物のキャラメイクで花屋さんのバイトをするとまあまあ態度がマシになります。そこらへんの幽香様攻略はまたの機会に説明するとして……やっとな慧音先生に追いつきましたね。近くに見えても普通に畑を避けて行くルート通っていけばかなり時間がかかってしまいますね。近くに見えても案外遠いです。

ではここからは一人視点で望歩君を見ましようか。なんで飛ばさないかって？飛ばせないからね……これ普通のプレイを鑑賞モード（プレイ画面とは別のモード）で見ているだけなのでイベントムービ

でも何でもないのでスキップとか（存在し）ないです。

〈目を覚ます、先ほどまで何をしていたか……混濁した記憶に戸惑いながら目を開ける。

〈地面に横になっっているのか、土の独特の香りが備考一杯に吸い込まれる。そして目の前は……田舎の畑の風景が広がっていた。

〈わからない、わからないが人の畑で居眠りしているのは拙いだろ
う……仮にも自分は刑事なのだから。

〈急いで起き上がり、未だにふらつくもののどうにかして畑から出ることができた……どうやって自分があそこで寝ていたのかは分からないが畑を荒らしていないようだ。面倒が減って安心する。

〈道端に立ち尽くしながら直前まで何をやっていたか思い出すため手帳を取り出した。

「んー……最後に書いてあるのは追ってたホシの住所だし……やつぱなんであんなところに居たか思いつかないなあ」

〈手荷物を確認したところ「回転拳銃（5発）、警棒、警察手帳、ボールペン、煙草、ライター、サイフ」がある。

「スマホどつかで落としちゃったのかなあ？連絡できないし……早く帰らないと銃持つてるから後で始末書が大変になるじゃないか」

〈頭を掻きながら独り言を吐き、おちやらけた言葉で自分の精神の安定を図る。

〈ああ、面倒だ、面倒だ、面倒だ……

〈顔を上げて周りをよく見る。遠くの方で白い煙が上がっている……うっすらと建物のような影が見えたのでとりあえず向かうことにした。

「それにしても……」

〈急いで畑から出てきたけど作物も何も植えられていない、もしかしたら管理を放棄された捨てられた畑だったのかもしれない。

〈なら急いで出る必要も無かったかもしれない。少しだけ損をした気分になった。

〈しばらく道を歩いていると遠くに人影が見えた。全体的に青い色

合いで髪の長さからおそらく女性だろう。

〈さて、どうするべきか……

はい、一人称にしたとたんに表示形式というか文章と視点が変わりましたね。この音声の無い部分で頭の中で考えている部分を部分的に抽出したもので、どうやら今は声をかけるべきかどうか迷っているみたいです。

操作担当しやんとしろ！早く声をかけるんだよ！！

まあ、操作担当も自分なので心配はしていませんが……。このモノローグの感じを見る限り今回のキャラは優しめ？の性格の優男みたいです。ちよくちよく自己中心的のペナルティが顔を見せたりしていますがこの程度なら何ら問題ない範囲です。まあそのペナルティを抑えるための生まれと職業選びも含まれているとも言えます。とりあえずよし！問題なしです。

「すいませくん」

〈彼女を呼び止めることにした。表情は軽く、笑みを浮かべながら話しかける。

「……あつ私か」

〈彼女は自分の声を聞いて振り向いた。

〈……驚いた、見たこともないくらい綺麗な人だ。雰囲気的には学者かそれに近いものがあるが……見た感じ初対面でも無下に扱われる確率は低そうだと思う。

「いきなりですみませんが道を教えてもらっていいですかね」

「道か？人里なら向こうだが……全身どろどろだぞ大丈夫か？」

「あはは……姿の事はお気になさらず……近くにタクシー乗り場かバスってありますか？」

「ばす？たくしー？すまないが分からないな……どこかで聞いたことがあるような気がするんだが……」

「あれえ？」

〈目の前の相手は嘘をついているようには見えない。今時タクシー

やバスを知らないなんてありえないだろう。

「そう考えていると彼女は何かを思い出したようで小さく手をポンと手を打った。

「ああ思い出したぞ！君は外来人か、それならその珍妙な格好も説明が付く」

「外来人？珍妙な格好?？」

「外来人って……それに今着ている服はスーツなんだけどこれが珍妙な格好にはいるのか。」

「幻想郷という言葉に聞き覚えは？」

「ないですけど……一体何なんです?？」

「いや、こつちの話なんだがこれで確定だな。……妖怪に襲われたりはしなかったのか。いきなりで悪いがちよつとついてきてくれ、大丈夫だちゃんと人のいるところに案内をするし君が何故こんな場所に居るのかも説明しよう」

「はあ……人の居る場所に行けるのなら何でもいいですけど」

「じゃあ決定だな！私は上白沢慧音という、君がどういう選択を取るかわからないから何とも言えないが……しばらくの間よろしく頼む」
「……?ええ、こちらこそ見ず知らずの自分の為に案内まですみませんね」

「上白沢はそう言って先頭を歩き出した。それについていくとしよう……」

はい、初めての東方ネームドキャラ遭遇の慧音先生との異文化交流は良い感じに纏まりましたね。

ここから先人里に着くまで慧音先生だと確実に幻想郷の簡単な説明と妖怪の存在、そして外来人とは何かの説明を受けています。

当然ちんぷんかんぷんで妖怪何それおいしいの状態で望歩君でしたが突如慧音先生が繰り出した弾幕に驚いて腰を抜かしていますね……ちよつと精神力削れたか?これで知識がインプットされて“記憶”のステも高いので何かあっても完全に忘れるようなことはないでしょう。

そういえばステータスをあまりゆっくり見ていませんでしたね。
ホラ、見ろよ見ろよ←

筋力	10
耐久	13
器用	9
感覚	13
記憶	17 (20)
意思	18 (23)
知恵	20 (22)
魔力	0
魅力	10 (5)
生命力	23
精神力	23
速度	15 (17)
運勢	12

○の中には生まれ、職業、経歴の補正込みの数字になります。

もつと魔力使って魔力使って。というホモ兄貴の言葉が聞こえてきそうですが実は戦闘系を取らない、特化しない場合邪魔にしかありませんのでその意見は……却下だ。魔力を感じ取れる相手にはそこから感情を探られたり居場所を特定されたりされるんですね〜やめてくれよ……(絶望)(5敗)(感情の隙をつかれて嘘発覚)

こればかりはどうやっても1あった時点でごまかしきれなかったので完全に捨て去りました。

で、注目して欲しいのは“記憶” “意思” “知恵” で今回のキャラはこの三つに特化しています。“記憶”が高ければゲームの中で実際に記憶力が上がって、“意思”が高ければ他の人の意見に流されることなく行動でき、“知恵”が高ければ考えるとき素早く打開策が頭に浮かんできます。他にも恩恵があるのですが、いつもこのゲームの特徴である膨大なデータのせいで説明する時間が足りなくなるので割愛。

そして魅力がたったの5!?!しかない理由もここで説明します。下

がっているのは特徴の隠し効果です。お察しの通り自己中心的とへらへら笑うです。それぞれ2、3と減っています。ですがこれは今回のRTAにおいてデメリットどころかメリットにしかありません。なぜなら……魅力が高く東方の、それもネームドのキャラに好意を抱かれてしまった場合、イベントが山のように発生しRTAどころではなくなってしまう。最低限必要なイベントは走る予定ですがイベントをこなすと入る好感度（当然マスク）ボーナスが魅力で倍率がかかるみたいで速攻で好感度イベントが起きて終わらない……終わらなくない？という事になります。無視すれば？そうお考えになつたあなた……甘い、甘い。幻想郷のキャラがこちらの事情を汲んでくれるわけないだろ!!好感度が高い本人がもし巻き込まない様にくれても気を利かせた（）他のキャラが巻き込みに来ます（34敗）

こう考えれば「じゃあ低くしたろ!」と1とかマイナスにした場合……危険度の高い相手なら初対面でぶち転がされます（嗚咽）理由もむかついたからとかそんな感じで、どうしようもないです。ゴミムシを見る目でしたね……あれは……。

という事で何度か（遊びながら）試走した結果、4〜7がちょうどいいという結論に至りました。

次に生命力と精神力の説明だけはしたかったです……人里についてしまいましたね。

望歩……いざ人里!!ふみこ
今回はここまでです。ありがとうございました。

人里／役所へ

東方のゲームのRTAなのに東方キャラの好感度を上げすぎるとチャートが崩壊するRTAはーじまーるよー！

前回慧音先生と人里の門前まで来たわけですが……門番においこらア！ 免許持ってんのか！ となつているところからスタートです。

門番さんなんですが……慧音先生が居るのですぐ通してくれると思いますがそれ以外の場合だと1時間くらいはかかります。外来人の処理は専用の係の人がいて、その係になるにはある程度の戦闘力と知識を持った人が必要になるからです。案内人という名の監視役ですね。その人たちを呼ぶのに手続きで時間がかかり1時間がかかるのですが……慧音先生が居るので慧音先生がその役割になってくれるので簡単に通ることができます。やっぱ慧音先生の……優しさを……最高やな！

ふんふん……この門番鍛えられた良い門番ですね。これなら人里の状況も期待できそうです。

説明しますとこの門番が居るか居ないか……立ち振る舞いが悪いか良いかで毎度毎度ランダムで変化する人里の治安や経済状況が分かれます。一応チャートでは最悪な状態でも問題無いように組んでいます。治安が良ければ良い程に楽に進めるのは変わりはないです。

一回世紀末のような状態の人里を目にしたときは目を疑いましたね……マジで水を手するにも一苦労。妖怪たちにも自分から率先して身を守るために戦い正直お前ら何があつたんや……って思いましたね。やりすぎた奴相手には慧音先生が頭突きで無双するのを横目で見ながらモヒカンで必死に畑を耕していました……あまりにもレアな状態だったのでやめるにやめれなかつたんですよね。

最終的に博麗の巫女に無双(夢想)されて終わりました、はい異変認定でしたね。その後はちゃんと住民も反省してそこそこ真面目な里が再興できたぐらいで寿命が来ましたがね。

はい、画面に話を戻します。

いくらか会話をしたところで門番に一応の脅しをかけられますね。どうやら慧音先生の手を煩わせることがあればすつ飛んで来てやる的なことを言っています。流石慧音先生は格が違いますね。住民から慕われています。こんな奇麗どころが自分が寺子屋に通っている時に勉強を付きつきりで教えてくれるとかノンケならそら性癖歪みますよ。あ、慧音先生の元教え子を名乗る門番を見て望歩君が要らんことに気が付いてしまいましたね、慧音先生今何歳なん？とか考えます。口に出したら優しい慧音先生でも好感度が下がってこれから四日間の日雇いの仕事を斡旋してもらおうと考えているチャートに陰りが差すのでさっさと中に入れてもらいましょう。

おっ、開いてんじやくん！（開けてもらった）

やっと里の中に入れましたね。里の風貌は昔ながらの木工建築の建物が建て並び、昔ながらの雰囲気味わえます。でもそんなこたあ本題じゃないんだよ!!

里に入った時点でよっぽどのお人好しか好感度を稼ぎまくった状態じゃないと役所の場所を教えられて「ほな、さいなら」とされます。

まあ、見ず知らずの人にそこまでしてくれるだけでも十分優しい方だとは思いますが……これさあ、RTAなんだよねえ。

慧音先生に頭を下げて不安なんで付き添いオナシヤス！と頼めば99%通ります。用事が有っても後回しにして付き合ってくれます。女神かな？（聖獣だし多分）女神だわ。

話術などの副次効果で好感度ボーナスが掛かった状態でこの魅力値ですとおそらく判定的には「困ってる人を見捨てられない」特徴（推測）持ちの慧音先生なら仕方ないか……とため息を吐きながらも同行してくれます。やったぜ。

やっぱり同行してくれるようになりましたね。へらつと笑いながら望歩君がお礼を言っていますね……お？

「やっぱり君は外に帰りたいと思うのか？」

あー定番の質問ですね。さてこれに対し

〈あなたは「はい」と返事をした

て……なあんか返答早くなあい？（疑念）

んー……経歴の『社会嫌悪』からしていくら私の操作担当が中に入ってるとしても少しは洩ると思うんですが……あつ（察し）経歴3人んんんつつつ!!! 中身確認してねえ!!!

ええつと、説明しますとですね……『破れぬ誓いがある』というのは内容がランダムで決められているんですよね……何回か走った中で中身の方を確認しましたが問題のある内容が無かったので一日目の終わりに確認することをチャートに書いていました。

なのでここで私の知らない内容が掛かっていたとしてもこれはガバじゃないです（ガバ）

はい内容確認っ!! 内容は……「妹を見守る」……?」

ええつと、推測ですが生まれの片親貧困からの経歴の親戚に引き取られてなので生まれの親が何かしらの理由で子供の面倒が見れない状態になったと考えられます。

そこで親戚に引き取られるわけですがその際妹も一緒に引き取られその妹を見守るという事でしょうか。なぜか親戚に引き取られるで上昇する技能とステータスが“アレ”なので……無理な推理ではないと思います。誓いは……生みの親に立てたのでしょうか。多分この理由で普通よりも外に帰るとい願いが強いんですね!

「そうか、ならなるべく早く帰せるように手伝いたいが今は時期が悪くてな。」

こ→こ←オープニングのアレです。

主人公がポップした時期というのがオープニングに有った異変を解決したすぐ後なので今外に出す結界の穴を作れる博麗はくれいの巫女である博麗はくれい霊夢が結界の要でその調整をしているから会えないという事なんですな。

最低5日掛かると言われてちよつと拗ねた表情に成ってますね望歩君。

まあ、こればかりはどうしようもないので早く市役所へ行け（辛辣）

そしてこの時、役所へ向かいがてらに必要な物を買える店を探しておきます。

まず第一に食事処。「うどん屋」「蕎麦屋」「団子屋」「甘味処」「居酒屋」等々様々にありますが今回探しているのは「弁当屋」です。このゲーム、食事に成長ボーナスが付いており、微々たるものですが確実に対応する技能やステータスが上がります。食べるものによつて上がるモノが違うので様々な種類があり、好きなきに食べれる弁当屋が一番効率的なんですよ。

そして第二に探しておくべきものが本屋または貸本屋。実は本屋は日雇いの職一覧にもあるのですが運良く雇われるとは限らないので先に目星を付けておきます。金で買えという事ですね。

この本がかなり重要で魔本や妖術書を読めば能力が格段に上がり普通の本でも知識を手に入れその対応する知識を持っているだけで様々な状況に適切に対応出来るようになります。

知識がなければ行けない場所や行きたくても場所が分からないという事態を無くするのが一番の目的ですが。

という事で周りをチラチラ見ながら慧音先生のケツを追いかけます。

んー、んー？ うー、本屋、本屋。無いつすね。

まあ本は貴重品なんで仕方ないと言えば仕方ないんですが。弁当屋は見つかりましたね。というか役所の直ぐそばで慧音先生が紹介してくれました。

まあ、役所で日雇いの仕事を探す際に話を聞くことは出来るでしょうし何とかな

今回はここまでです。ありがとうございました。

役所／仕事探しへ

こんなに美しい慧音先生が世話を焼いてくれているのに一ミリたりとも心が揺れ動いていないホモの鏡が走るRTAはあじまーるよー！

前回役所に凸したところからですね。この少し他の家よりも大きい屋敷のような物が役所ですね。こういう重要施設の外見はほぼ一緒なのでそこだけは助かっています、一目でわかりますからね。

というか役所前で何まごまごしてるんですかね……おう、あくしろよ。

……ああ、慧音先生がお腹を鳴らしたんですね。ほんで先にご飯を食べるかどうかって望歩君が提案してるんですね。ちよつと顔を赤くしてる慧音先生がかわいくてああ、ノンケになる、

あぶねえ…歴戦のホモじゃなければ即落ち三コマでしたね。では先に食事を済ませてしましましょう。腹が空くのに時間もかかるので早めに食べる分には問題ないです。

では弁当屋で弁当を買いたいんですが…はい、そうです金がありません。サイフには14万!? の半分が入っていますが幻想郷において外の紙幣は美術品の価値しか持っていませんから当然食事処などで出してもお金の代わりにはなりませんね。

幻想郷のお金の単位は金貨で「両」「分」「朱」、銀貨で「貫」「匁」「分」、銅は「文」となっております。江戸時代の単位を採用しているみたいなのですが違うのは全ての品質がどういう訳か統一されており管理されているという部分ですね。こればかりは世紀末人里でも同じことを確認しています。

それらを発行している「銀行」が存在してしましそこである程度お金を両替できるのですが……と、話が脱線してしまうので戻しましょうか。

とりあえずお金が無い望歩君なのですがここは慧音先生に奢ってもらいましょう。お世話になりっぱなしの人間のクズに成り下がりましたが後でお金を返すと約束することで乗り切りましょう。

お弁当の種類は慧音先生のお任せにするとそこそこ高いのを選ばれるので自分からこのお弁当が良いと宣言します。てめえなんかのり弁でいいんだ上等だろ。慧音先生はおにぎりとだし巻き弁当ですぬ、うまそうだあ。

ちなみにこののり弁クツソ安い上に空腹度がそこそこに回復しステータスがランダムで二種類微量に上昇します。

∨のり弁を食べた……体力が付いた気がする……頭の回転が速くなつた気がする。

耐久と知力が上がりましたね。食事だけですと1か月くらい同じのを食べてやつと1上がる程度の上昇量ですが塵も積もればなので絶対に食べましょう。詳しくは後述しますが引継ぎの際小数点まで計算に入れられて算出されますので無駄は一切ありません。

「ふう、早く身の回りの話をしたかっただろうに付き合わせてすまなかつたな。気を使わせてしまったようだしここの代金は払わなくてもいいからな？」

(問題) ないです。

ここまでエスコートしてもらった挙句昼飯代まで出してもらおうとか(人間として) ないです。

遠慮する慧音先生に必ず返すと返答することで望歩君が誠実な男であるとアピールします。これで仕事を紹介してもらおう時に一言つけ足してもらえることがあるのでアピールはしっかりしましょう。

いくら嫌われやすいように組んだビルドでも今嫌われるのはただの自殺行為だからね、しようがないね。

という事で物々しい門を超えて役所に付きました！

中は畳が敷かれてて役所の人っぽい人が慧音先生に気が付いたのか此方に歩いてきましたね。途中で望歩君に気が付いて姿を見て望歩君が外来人だと気づいたようです。

「すまないが山田君。今開いてるかな？」

「ええ、手は空いています……外来人の彼の件ですよね」

「ああ、出来るだけ早く帰りたいみたいなんだが今結界がアレだろう？ だから数日の間外来人用の借家や補助金の申請をしたいんだが

…」

「成程、という事は迷い人としての外来人ですね…：わかりました。それでは向こうで詳しい説明をしますね、ええつとお名前は…」

あ、望歩と申します。

ここからしばらく妙にリアルな役所の人とのやり取りが始まります。

ガチでネタのしようもないやり取りなので倍速う!!

望歩君が高校生とかなら初々しいやり取りが見れたのでそこをネタにできたのですが…：この望歩君刑事の職に就いているだけあつて結構大人なんですよね。大体20の真ん中くらい？

倍速が終わるまで引継ぎと精神力の話でもしましょうか。

引継ぎができるのはステータス、技能、一定の記憶の三種類。ステータス、技能は上昇値の2割の切り上げ分が前の周回の終わり時点のステータスに+されて次の週が始まります。

記憶に関してはちよこちよこ言っていたかもしませんが一部の引継ぎされます。その一部というのは意味記憶と手続き記憶で、エピソード記憶は引継ぎできません。

その意味記憶と手続き記憶の引継ぎもステータスの“記憶”と“感覚”がそれぞれ関係があり、“意思”が両方に関係があると言われています。なので知識を蓄えるのには意味があるんです。今回幻想郷の仕組みと外来人、妖怪という知識を次回の周回では最初から知っていることになっており余計な手間を省くことができます。キャラ的にもなんでそんなことを知っているのかは自覚できませんので本当に頭の中にいきなり浮かんできた…：という処理になっていました。次の周回では場所の死にリセマラが出来ないので今回の週で望歩君の脳みそにできる限りの知識をぶち込むことが重要になってきます。

だからこそ手軽に知識が入手できる本を読める場所を見つけておきたかったんですが…：見つからなかったものは仕方ない、切り替えて仕事場所が本関係であることを祈りましょ。

精神力は簡単に言えばSAN値です。終了。

いや、真面目にそうなんです。精神力が今23と表記されていますがこれは精神防御の高さで裏では数字にして100と仮定しますが精神ゲージが存在します。これが減っていくとだんだん操作を受け付けてくれなくなり凶行に走り出します。そうです、発狂です。

と言っても半分を切るまでは全く問題ありませんし、半分を切ったら精神力のフロントの色が黄色になって危険だと知らせてくれるので即座に安静にすればよくなります。ちなみに赤字になると1割を切ったという警告です。おとなしく精神病院に逝って…どうぞ。

といったところで役所でのめんどくさい手続きが終わりましたね。どうやら外来人用の部署が最近外来人が全く来ないので暇をしておりその分手が空いているからとスムーズに処理をしてくれたみたいですね。

ここで慧音先生が登場。四日間補助金があるといえど働かないのはどうかと望歩君社会嫌いのくせに労働は嫌じゃないのかな？嫌っぽいですね…面倒くさいという内心とそうしないと外に帰るときにしこりが残るという理由みたいです。

じゃあ早速お仕事を見つけ

今回はここまでです。ありがとうございました。

仕事探し／仕事先／死んでる…？へ

part5にもなるくせに一日目も終わっていないRTAの面汚しなRTAはーじまーるよ！

前回は役所で書類を片付けてこれから5日目までのその間のお仕事を探すところからでしたね。

役所の山田さんが持ってきてくれた書類所さん!? をペラペラつと見ていきますよ

「望歩さんはお聞きになったところ外では刑事さんでしたからね…長期の滞在になるのなら自警団のお仕事をお勧めしていたんですが」山田さんの言う自警団は外の世界で言う自衛隊と警察が合体したようなまあ武力組織ですね。里の中でもめ事があつたときや人里外で妖怪に襲われたり遭難したりした人を救出したりする仕事です。

そうですね、非常に給与と立場が安定した職ですが離職率が滅茶苦茶高いんですよ…なんで離職するのかつて？ 殉職う…：ですかね。

当然死亡率が他の職とダンチで高いんですよ…：誰が行くかさんな職（暴言）

そんな提案を平然とするYMDさん（畜生）をうすら笑いで流しつつ日雇いでもOKなお仕事を探しますよお

皿洗い…：荷物運びの手伝い…：皿洗い…：書類整理（算術必須）…：皿あら…：皿洗いばつかじやねえか（驚愕）

どれだけ人手不足なんだ…：ハイ次。

郵便配達…：荷運び…：皿洗い…：土木工事…：貸本整理その他…：コレエ!!!

よしよし…：この書類を抜き出して概要をよく確認しましょうか、といつても第一候補は決まったようなものなんです…：つて、こつてまさか…：

「ん？ そこにするのか、確か小鈴が製本の仕事が増えて大変だから人手が欲しいと言っていたが…：求人を出すほどだったのか」

す、鈴奈庵…：だど？

見てくださいよこれ……このクソランダムゲーで初手慧音先生エ
ンカに引き続き鈴奈庵の求人を目にしてちよつと固まってますよ
……あ、ちなみに電脳で人格分けて編集させて動画をアップするのを
考え出したのはここぐらいからです。動画化するのを決定したのは
もつと後からですけどね、ちなみにまだ走り終わっていないのに編集
して動画を上げています。(もう一人の)私頭おかしいよ……。人格
分裂できるのは電脳が普及した今でも超高性能の電脳で相応の訓練
を積んで自分が増えても精神崩壊しないという許可証をもらわない
といけないので初心者兄貴はマネしちやだめだよ。

鈴奈庵の何たるかを知らない初心者兄貴に開設しますと“鈴奈庵
”というのにはネームドの本居小鈴が経営する貸本屋です。製本や印
刷も請け負っている個人営業のお店なんです……この幻想郷にお
いて貴重品である本がたくさんあります。外の本、所謂外来本も沢山
ありますし……妖魔本が少数ながら確定で存在しているんですよ。
見た目では分かりませんが魔力も無いので判別はできませんが。
ちなみに走者が遭遇した今まで一番ヤバイ妖魔本ガチャは“ネクロ
ノミコン”でした。魔術師ルート(R18G)

一先ず鈴奈庵を第一候補にして最悪のパターンとして断られた時
のことを考えて何枚か予備を取っておきます……まあ、断られる何て
ことさせはしません、こちとら何度人生(夢幻幻想郷)をやり直し
てると思っただ馬鹿野郎お前俺は勝つぞお前(天下無双)

第一希望鈴奈庵で早速向かってF00→気持ちい

望歩君社会の歯車になれるってだけで好きじゃないですからね
……こういう気ままな仕事に向いてんじゃないっすか？ まあ、刑事
にしたのは私ですけど(屑)

突然テンションが上がってコイツ大丈夫か？ みたいな目をされ
ながら心配になったのか慧音先生が鈴奈庵までついて来てくれるよ
うです。

慧音先生が口添えしてくれるのが人里では最強って、それ一番言わ
れてるから。やっぱり女神じゃないか(歓喜)

あと今さらつと流されましたけど望歩君の借家……外来人が来た

時に仮屋で使われる長屋に決まったらしいですよ。距離はここからすぐ近く、はえく便利つすねえ……まっ外来人への監視を兼ねてるんですけどね。

知るかバカ！ そんなことより鈴奈庵だ!!!

ちよつとテンション高め望歩君とそれをしようがないなあの目で見つめる慧音先生。慧音先生はどうやら望歩君がそんなに本が好きなのかとあきれているようですね。

そうなんすよく古い本？ ていうのがたまらないですよねえく。知識と熟練度が止まらない！ 止まらないよ!!

うっ……ふう、さてと鈴奈庵の場所は……役所から結構近いです……なんだよここ神立地じゃねえか……！

という事で……邪魔するわよく

今日から（）ここで働かせてくださいオナシヤス!!

え？ はい……25歳、刑事です。え？ これが本棚？ はえくすっごい大きい……

はい、はい……え？ お仕事は……もう始まっている!?

埃かぶりスギイ!

ケホケホとせき込む望歩君を見ながらですが何故かわからん内に採用されてお仕事に駆り出されています。

なんで？ (疑問)

望歩君鈴奈庵に入ってまだ数分何ですけど……即落ち三コマよりも早く落とされるとは、このホモの走者の目を持ってしても見破れませんでした……

まさか話術技能を使う前に採用されるとは……見てくださいますよ……ハハッ(乾いた笑い)

のんびり本を読みながら仕事できると思っていたのにこれは予想外ですね……まあ、この望歩君の手際を見るに一定程度タイトルを覚えながら収納しているもので後で本を借りるときはスムーズに行くでしょう。適当なタイトルの幻想郷に関する本とここには外来本もあるのでサバイバル系統の本、後は紛れ込む形で妖魔本があれば

ラッキーですね。

……流石に妖魔本のようなものは無いですね。まあ、これ以上の幸運が重なっても怖いですからね、こんなものでしょう。

という事で倍速しましたが内部時間3時間程で大体は清掃できたので報告しに行きましょう。

あれ？ 何か筆持ったまんま慧音先生が死んでますね……その横で小鈴ちゃんが死んだ目で木を彫ってますね。

因みになんで木を彫っているのかと言いますと、幻想郷では本を印刷する、製本するとなると“木版印刷”か“手書きによる写本”になります。大量印刷をする場合は木版、一冊作るだけなら写本と言った感じですかね……はい、見た通り地獄です。

木版はハンコのように文字を紙に移す印刷方法です。当然木を彫って字を作るわけなんです……専用の技術が無いといけないので大変難しいです。しかもできたとしてもそのページ分彫って作らないといけないわけで……死にます。

見たところ写本と木版の仕事が同時に舞い込み店の管理する時間が無くなったんでしようね……で、写本と木版だけでも死にそうになったので文字も書いて信用があり頼まれたら断れない慧音さんが来た時なんてカモがネギしよって来たようにしか見えなかったでしょう。

それにしても何でこんな殺伐としたことになったのちよつと気になりますね。いくら金払いが良かったとしても小鈴ちゃんも自分で明らかに無理と思う量の仕事は請け負わないでしようし。

じゃあ報告ついでに小鈴ちゃんに質問をしてみま

今回はここまでです。ありがとうございました。

死んでる…？／○○本へ

理想的なムーブを走り続けるRTAはあじまあるよおー！

前回小鈴ちゃんが死んだ目をしていたからなんでこんな仕事を受けたのか話を聞こうとしていたんですね。

オイツスー！　まずうちさあ……仕事……終わったんだけど、休憩しない？（やさしみ）

「あ、うん……そうだよね、休憩しないと……」

小鈴ちゃんがやつと手から木版を手放して椅子に溶けるようにもたれかかりましたね。目の下に隈もありますしここ最近はまともに寝てないんじゃない？

「うん……断れない大型の依頼が二つも入っちゃって……」

人里内でそんな断れないような案件って発生するんですかね……しかも本関連で。稗田家関連ならありそうですがそんな二つも掛け持ちさせる無理をさせるとは思えないんですね。

ということできりきり吐けおらん？

「………写した本はそのまま持っていいって言われたから……希少な本でこんな機会二度とないし、それが二つ同時に来て……」

「おいおい……それに私が巻き込まれたのか……」

「あは、は……」

はい、特に裏のない自業自得でしたね。

この本居小鈴ちゃんは好奇心が旺盛でそれが抑えられず時折……時折？　トラブルを巻き起こすことがあります。妖魔本（ネクロノミコンなど）でも構わず読み内容を実践しようとするやべえ子です。S AN値どうなってるの？

そんな中でも本が特に好きで愛していると言っても過言ではない彼女はこういう本を手に入れることができる手段があれば躊躇なくやります。人に迷惑が掛かると分かっても抑えきれない好奇心が噴出します。カワイイ面してしたたかな面もあるので騙されない様に気を付けてください。でもまあ……（騙されても）かまへんか！　なノンケ兄貴は根気よく付き合おうと超絶カワイイ小鈴ちゃんが見

れるので……走れ。

「だってだってえ！ この木版で今刷ってるやつとか地底の妖怪が書いたここだけにしかない希少な本だって言うんですよ!」

「地底の妖怪が?」

はえ〜地底の妖怪でも本を書くんですねえ。

ところでえ……さつき役所の方から聞いたんですが地底って旧地獄の事ですよ? 旧地獄の妖怪って滅多に出てこないと思うんですけど……その妖怪が書いた本ってどんなのなんですかあ?

「あつー! 本物か疑ってるんですか!」

いやあ……そんなこと無いっすよ(ホモは嘘つき)

本音で言えばかなり怪しんでますけどね。地底の妖怪というのは地上で生活できなくなった嫌われものの妖怪が集まる場所で文字通りこの幻想郷の地下にあります。一番有名なのは鬼ですかね。地下には数多くの鬼の妖怪が住み着いているんですが……闘争本能の塊である彼らが本を書きしたためるとか……(ありえ)ないです(辛辣)「え? どんな人が持ってきたかって?」

どうせ怪しい行商人だろおん?

「うーん、なんだか姿がぼんやりしててあんまり覚えてないんですけど……緑色の髪をした大きな帽子をつけた女の子だったような……」

緑色の髪をした……大きな帽子を被った女の子……?

……こいしちゃんかな? (震え声)

あのお……ちよつと作者の名前え……見せてもらってもよろしいでしょうかあ……? (震え声)

古明地さと……ですねえ。

なんやこの劇物……姉の創作物持ち出して木版印刷頼むとかこいしちゃんなに考えてんの!?

あつでもこれ地底の妖怪であるさとり様が書いてるので妖魔本ですねやったあ……

はい説明します。

今出てきた二つの名前、古明地こめいじこいしと古明地こめいじさとりは旧地獄と呼ばれる地底にある地霊殿という館に動物の妖怪たちと住む姉妹の妖

怪であり覚妖怪の種族となります。

そうです、あの覚妖怪です。心が読めるやつです。

こいしちゃんの方は過去に覚妖怪故の苦悩から能力の核である第三の目を閉じてしまっており人の心の中を覗く事が出来なくなってしまうっており能力ごと変化が起きるといふ一歩間違えると消滅の危機を乗り越えて能力も「無意識を操る程度の能力」へと変わっています。なお能力と一緒に自身の心も閉ざしてしまった模様で常に無意識でふらふらと歩き回っています。居場所を特定出来ないしなんなら目の前においても無意識に潜られていたら認識できないとかシスコンのお姉ちゃん様かわいそう。

さとり様の方は言わずもがな天敵も天敵です。このビルドでは心のなかで毒吐きながら心の安寧SAN回復をを凶る訳なんですけど……道化等で手に入れた演技補正などまるつきり無視されて読心されますので詰みます、詰んだ(2敗)

しかも覚妖怪としての本能からか読んだ心をそのまま口に出して来るんですよ。(SAN値が)イクイク。

で、このさとり様なんですけど！なんと、本を書いてらっしゃいます。さとり様自身心を読めるという特質上自分ができない言葉だけのコミュニケーションが描かれ、本ゆえに心が読めず先が分からない展開が好きなのか本好き何ですよ。勿論ご自身が執筆した本は人目のつかないところに厳重に保管されている筈なんですけど……なんでかここにあつて今大量印刷の準備を整えられています。

自分が知らないところで人に見せるつもりも無かった本を預かり知らないところで人に渡り大量印刷されかけてるって……これって(死の)勲章ですよ？

こいしちゃんは本当に一体何を考えていたんですかね

多分何も考えていない(確信)

「古明地さとりに言うと……地底の覚妖怪か心を読むという」

「多分そう、で慧音先生にやって貰っているのが本来のお仕事であるおじいちゃんから頼まれた写本」

ほんほん(劇ウマガヤグ)……こっちは普通の本っばいですね。

こつちまで何かあったら今回の周運が良すぎて明日死んでしまうんじゃないかと疑心暗鬼になるところでしたよ。

それにしても……あの妖魔本欲しいなあ……（ねっとり）

最悪こいしちゃんが創作物を外に持ち出してさとり様が羞恥心マックスで回収しに来るパターンでも5日目には居なくなるので関係性が悪くなっても死にはしないでしょう。

じゃあ早速交渉を始めます。

お前の本が欲しかっ

今回はここまでです。ありがとうございました。

〇〇本／給料計算／やーきーとーりー茶!!へ

妖魔本をねつとりと見つめる望歩君のRTAはーじまーるよー!

前回はこの日の仕事である鈴奈庵の書庫整理と清掃を終わらせて小鈴ちゃんから事情を聞いて妖魔本を貸してもらおうとしているところからです。

でもまあ仕事中的お客様から預かっている大事なものであるのでそう簡単には無理そうですね……

まあ、ここからが腕の見せ所さん!? なのですけどね。

交渉開始)

切れる手札が多いので小鈴ちゃんの妙に頑固な意固地モードにさえ入らなければどうにでもなります。

まず、死にかけの小鈴ちゃんに許可を取ってからお茶を淹れに行きます。

お待ちせ! 緑茶しかなかったけどいいかな? (最低)

お茶を三人分入れたら戻って来てしばらく時間を空けましょう。そしてちよつと人心地ついて緩んだところを話しかけます。

まず、簡単に……本が好きで妖怪が書いた本に興味があると言い、今木版しようとしている本の内容はどんなのか探りを入れます。

流石にこの段階では普通に答えてくれますね、慧音先生も望歩君が鈴奈庵に向かう途中ちよつとテンションが高かったことを口添えしてくるので信じてくれるでしょう。

小鈴ちゃんは稀にみるレベルの本好きなので本に興味がある、本が好きなのに対してはかなり親身になってくれます。逆に本を粗末に扱うような人は……^ナOK^キです……。

「ええつと……まだ私も本格的には読んでないんですけど、どうやら人間と妖怪の心理について描かれた物語性のある純文学になると思います。それを人間の心を読めるといふ覚妖怪が書いたというんですからすごく面白そうですね! 楽しみですよ」

そうだね……それを書いた本人が自主的に広めようとしたのなら

もつと楽しめて読めたんだけどね……まあ私はそれ含めて楽しめる人ですけど（鬼畜）

まあ、そんなこと小鈴ちゃんも望歩君もあずかり知らない事なので無視ですよ無視。

それにしても……心理系の小説ですか、やっぱり欲しいですね。元々さとり様が書いた本なので妖魔本としても意図せずして質が高いものになっているでしょうし種族が種族なので読むだけで交渉系の技能の熟練度が跳ね上がるでしょう。

ということ……興味があるから貸してくれよ（懇願）

「えー！ 駄目です。私もまだ読んでないのに……」

はい、一先ずは断られましたね。

しかも真つ先に来る理由が自分が読んでないからとか極まってるなお前な。

じゃあそれ読めるの、何時ごろになりそうですかね〜？

え？ 早くて一週間？ そんな待てないよ！ 身の回りの世話完璧にこなしてやるので完成を早めて、どうぞ。

「無理無理死んじやう！ それに今日だけのつもりだったからお給料払えないから！」

最低限飯代さえ確保できればこつちとしては一切（問題）ないです。

あつ、そうだ（唐突）今日の給料も正直お金があっても食事と本を借りるくらいの使い道しかないし明日からの給料代わりにこの本を勝手に読むので天引きでいかがつすか？

「駄目だよ!? なんでそんな必死なの!? 慧音先生助けて！」

「……あつ！ ああ、そうだな。望歩君」

はい（スツ……）

「小鈴も困っているし無理強いはいけない。ましては今君は雇ってもらう側だ、ごり押しして物事を進めるのは感心できない」

はい……あの、ちょっと確認したいんですけど……あと三時間分働いてお給料はどれくらい出るんですかね。

「はあ……これはそういう話をせずに直ぐに働かせた小鈴が悪いか」

「え!? ここでバトンタッチですか!？」

「大丈夫だ。こいつは分かかってやっている節がある、ふざけているだけだ」

「それはそれで嫌なんですけど……」

なんのこったよ（すつとぼけ）

という事でお給金の確認をします。なあんか小鈴ちゃん目が痛いような気もしますが……気のせいでしょ（屑）

慧音先生なら望歩君をたしなめれると小鈴ちゃんが理解したのでOKです。

ふんふん……あつ思ったよりも多い、イけるな（確信）

おっしや！ 後で役所に行く必要がありますが最適ルートと説得法を見つけました。後はペラ回しましょう。

じゃあ明日から普通に通う分には問題ないですよね？

「えつと……お客さんで来る分には問題ないですけど」

はい、もう吐いた唾は飲み込めねえからなあ？（豹変）

望歩君が何をしようとしているのか気づいていない小鈴ちゃんですが視聴者兄貴の為に解説いたしますと……これから毎日朝から晩まで入り浸ります（マジキチスマイル）

ずつと本を読み続けて知識を溢れるほど貯めて、隙を見て妖魔本を覗き見ます（マジキチスマイル二回目）

もしそれも難しそうなら写本などをお手伝いして夜寝ている間に読んでいいかの許可を取りましょう。大丈夫、望歩君の“意思”なら二日三日の不眠不休は体力仕事でない限り可能だって実証済みだから！

望歩君の心残りの補助金はこの後すぐ返しに行き、今日貰える給料の250文（大体7000円くらいの価値）をやりくりしたら4日間持ちます。弁当屋とかを駆使して乗り切ります、周囲の食事の値段とかは歩きながらある程度把握しているので問題なしで一日くらいの食事を抜いても本を読むほうが熟練度の実入りが上なんですよね……なら走者としては多少の健康よりそっちを取ります（断言）

因みにこの1日で250文はかなり多い給料の部類に入ります。想定では180文（大体5500円くらいの価値）だったのでもう一

日は他のところで日雇いをするつもりだったんですが……それはもうなくなつた！

「……なんだろう、文脈的にはおかしくないんだが違和感が」

気のせいじゃないですか？（すつとぼけ）

慧音先生はちよつと気づきだしていますね、一日中入り浸ることがばれたら流石にお説教を食らいそうなので“演技”で乗り切りましょう。

という事で話が纏まったので本棚整理の仕事に戻ります。

また暇な時間が続くので倍速う!!

今回のプレイで多用するので今のうちに嘘を吐くことなどのデメリットを説明しておきましょうか。

こういうイタズラ程度なら普通のプレイでも問題ありませんが完全に詐欺まがいの行為をしたり相手を傷つけるような言動をとってしまった場合自分の精神力が削れます。

騙された相手を見るたびに良心が削れているのか分かりませんが精神力が知らないうちに削れていきます。

それが原因で破滅していくところを見ていたらなおさら削れますね。健全状態から数日でイエローゾーンに突入します。

まあ、普通にプレイするにあたってはそんな状態あるわけないので気にする必要はありませんが……詐欺師プレイをするには経歴か特徴で“倫理セーフティ低下”と“精神ダメージ軽減”は必ず取っておいた方がいいです。ラ○ナーみたいになりますよ？

それでも通常プレイで意図せず相手を貶めてしまい自分の精神ゲージが削られるのは嫌だ！ という心優しい兄貴諸君には“倫理セーフティ上昇”の効果を持つ経歴、特徴をお勧めします。簡単に取れるのは特徴の“お人好し”や“聖人のような心”ですかね、後者は2ポイントの特徴ですが倫理セーフティが二段階上昇してその上精神ダメージ軽減持ちなので取って置いたらよっぽどのことが無い限りSAN値0エンドは訪れません。これで安心！

と言ったところで倍速終わりい！ 今度は4時間経過で見てください！ お外真つ暗ですよ！

「ふう……そろそろ私は帰るが、小鈴も無理な仕事は受けられない様にしなさい。今回のように私が手伝える機会はあるまりないのだから」
「ありがとうございます……今度絶対にお返しします………」

慧音先生も帰るみたいですね。というよりここまで連れまわしてしまつた最初の原因が望歩君なのでしつかりとお礼を言ひましょう。
挨拶は大事、はつきりわかんだね。

「ああ、今日は休みだったからな、私としても楽しめたし気にしないでくれ」

聖人かな？ 聖獣だったわ……

という事で慧音先生を見送つたところで望歩君も一旦外に出ましよう！ 意識が半分飛んでる小鈴ちゃんに失礼します、とだけ伝えておいて夜飯じゃい！！

夜飯は……焼き鳥やな！ 近くの屋台に寄つて……お金は給料がまだ貰えてないので補助金から出します（半ギレ）

自分用に三本と、小鈴ちゃん用に二本買つて……出戻りじゃーい！

鈴奈庵にい……オツスお邪魔しまゝす！

「うえ!? 何々!? 帰つたんじゃなかったの?」

誰も帰るなんて言つてないよなあ?（事実）

何も食べてないであろう小鈴ちゃんに焼き鳥を渡して自分は外に出てもつきもつきと食べます。あ、喉が渴いていますね……自分の唾でも飲んでろ（辛辣）

実際水は生きるのには必須ですが食事ボーナスが存在しない物が大多数ですからね。ギリギリまで飲む必要はありません。

はあく生き返るわあ……（食事ボーナス）

焼き鳥は筋力とランダムな技能にボーナスが掛かります。技能に關しては食事ボーナスでの上昇の際のシステム文が難解過ぎるので特定はしません。今回は値段が安い事と筋力ボーナス、そしてお持ち帰りできて小鈴ちゃんに渡せることを主眼に置いてますので問題ありません。

さて、二本目と行きましようか……おや、小鈴ちゃんですね。

あつ！ あつたかいお茶を持ってきてくれたみたいですよ。何だよ望歩……そんなに飲みたいのかこのいやしんぼうめ！

はい、お礼を言ってから受け取って味わって飲みましょう。

おや？ 小鈴ちゃんが入りませんね。焼き鳥を手に持っているので……成程、中が汚れたらアレなので外で食べるんですね。タレが垂れちやう（激ウマギャグ）かもしれないしそれで本を汚すかもしれないからね！

小さな口でちよつとずつ食べる姿は可愛いですね……これまで幾人ものノンケ兄貴諸君を沼に落としてきたんでしょうか。ホモ兄貴も数人やられたという報告も聞いてますし、やっぱり幻想郷は魔境やな！

まあ私はホモなんで負けませんが（無敵）

さて、食べ終わったのでお給りよ

今回はここまでです。ありがとうございました。

やーきーとーりー茶!!／本借／本読めへ

晩御飯焼き鳥三本の超低燃費なRTAはーじまーるよー!

前回小鈴ちゃんと夜ご飯を食べたところで終わりましたね。

という事で……見てくださいこれ! お給料です! そろそろ帰ると告げたら小鈴ちゃんがニコニコして渡してくれました。

さっきの焼き鳥分で12文引かれたので残り238文です。ぴつたし使い切れるようにしたいですね。

貰った補助金の中身を元に戻しておきましょう。後からやって忘れない様に。これで残り231文です。

では帰る前に……小鈴ちゃんに本を借りましょう。前借りた時は一週間一冊30文ほどでしたので一冊借りましょう。こ→こ←ワンポイントアドヴァイス……金が無いときは値切れ……っ!

提示されている商品に付けられている値段は参考価格だと思ってください。あれこれケチ付けたり会話次第で大体2割は安くなります。技能構成次第では条件付き4割は削れてああくいいっすね〜

てことで……お前の(本の)ことが好きだったんだよ!」
「え? 本を借りたい、ですか……?」

そうだよ(同意)

ところで……明日返しに来るとしたら幾らか安くなりませんか
ねえ……?」

営業時間過ぎてるのも分かってるけどどうしても読みたいんだ才
ナシヤス!!

「もしかして焼き鳥買ってきたのってそれが目的だったりします?」

違いますよ(食い気味)

普通についでで買ってきただけです。昼間から何にも食べてなさ
そうで夜も何も食べなさそうだったから差し入れしただけですよ
信じて、信じてホラ!

小鈴ちゃんに倒れられたら望歩君のこれから(RTA)に多大な影
響を与えられますかね、最初に下げた好感度の平均化的にも優しみを
見せることが大事です。+とーは釣り合いを取らないとね!

という事で一日でいいんで借りさせてください!!

「まあ……構いませんけど。どの本ですか？」

これ……ですかね。

「〃幻想郷の危険な場所実録〃ですか？」

なんで？（疑問）という顔をされていますが……ここは四日後に帰るので知識としてだけでも幻想郷の事を知ってみたいといった感じで説明すると納得してくれます。

実際望歩君経歴である〃破れぬ誓いがある〃の妹の件が無ければ幻想郷に住みたいとすら思ってますからね。社会嫌悪は伊達じゃない。

だが倫理セーフティを下げる効果が含まれる程の経歴3には勝てなかつたよ……

自分の感情押し殺してまで守る誓いと家族愛（とRTA根性）、誇らしくないの？

よし！ 本を借りれましたね。一冊だけで明日に帰す契約で14文!? まで値切りました！

よっしゃ帰って読む為にさっさと貸家に移動しましょう。また明日な！

では、移動中暇なのでこの借りた本の解説でもしましょうか。ん？
なんで走らないかだつて？ こんな夜中に走ってる珍妙な（幻想郷基準）恰好した男が居たら警戒するでしょ？ 顔も覚えられたらひそひそ噂されて知らない間にやべえやつという噂を立てられるのを警戒してそれをしていません。この狭い人里で噂が流れだしたら一瞬ですよ。顔さえ見られなければ誤魔化しは利きますがそんなリスクを取る必要が無いのでしません。

では、この〃幻想郷の危険な場所実録〃なんですが……どのパターンでも貸本屋に置いてある初心者外人用の入門用な本です。設定では書いた人も外人人で、その足で見て聞いた内容が記されおりこれから来る外人人の為にそれぞれの貸本屋に出向いて頭を下げてまで置いてもらっているという聖人のようなエピソードがあります。この外人人は他にもいくつか本を書いており、それらは全て最初に読む

と最低限の知識を最速で蓄えることができます。今回のチャートでも人里に確実に行く一週目に彼ないし彼女の書いた本をコンプリート出来なければ再走することも辞しません。初手慧音の鈴奈庵、そこからの“読める”妖魔本が来るチャンスという好条件がそろっている場合でも読めなかった場合は再走案件です。

今回の本で“太陽の畑”“紅魔館”“迷いの竹林”“魔法の森”
“霊界”“妖怪の山”“無名の丘”“再思の道”“地底（入口付近）”
“の場所を知れます。”

……このやべえラインナップを行って帰ってきた作者ニキは
いったい何者なんですかね……？（震え声）

私もこのラインナップを幾つか回ったことはありますが……命が
幾つあっても足りなかったんですけど（比喩無し）

地底とか何故か開催されている旧都ツアーでもない限りちよつと
入っただけで首が持っていけませんでした（白目）犯人はキスメさん（畏
怖の念）だって気づいたのはしばらくやりこんでからでしたね……

そして……どうして一々場所を知る必要があるかというのですね
……このゲーム、オープンワールド形式何ですが毎回場所関係がラン
ダムで生成されています。は？ 開発お前頭大丈夫か？（誉め言
葉）

魔法の森の中に魔理沙の家があるなどはある程度原作順序の配置
関係ですが普通に歩いて回ろうと思ったら遭難して死にます。

そうでなくとも普通に妖怪に絡まれて死にます。妖精に悪戯され
ても死にます。地獄だな？

と……借家に着きましたね。そこそこ年季の入った長屋です。こ
れだけで6部屋ありますね、望歩君の部屋は一つ目の部屋です。すぐ
に外に出れるRTA向きのいい部屋だあ（光悦）

ささ、（中に）入って、どうぞ。

おっ、開いてんじゃくん！ 鍵とかいう文化が無いんすね……い
や、中の机に置いてますね。あとマニュアルっぽい紙も。この紙には
人里での暮らし方が書いていますが事前に職員の手田君に聞いてい
るので……スキップだ！

風呂とかそんな高級品無いので桶に水汲んで体をふいていきます。この『夢幻幻想郷』で最初に戸惑う所の一つですね、まともな家を持たないとシャワーなんて存在しない人里では借家プレイでは銭湯に行く以外で体を洗う手段が水を入れた桶に布を浸して体を拭く以外ないんですよ。私はもう慣れたのでささつと体を拭き上げたら……月明りを頼りに本を読み始めます。疲労のたまり方が半端ないですが疲れてきたら目を閉じると回復するのでまた読み始めましょう。

おっほー！ この活字がセクシー、エロい！ 見てくださいよこの太陽の畑の挿絵……この顔が一様に同じ向きを剥いているこの姿、すっげえ絶景だぜ？ あ、緑色の髪がみ

今回はここまでです。ありがとうございますございました。

本読め／二日目／鈴奈庵へ

朝日の光で本を読み終わった一徹夜目の望歩君のRTAはーじまーるよー！

……はい、朝です。読み終わったら朝になっていましたね。睡眠時間は死にました。

という事でまだ早朝も早朝……朝日を浴びてからそこそこ経っているので6時くらい？ ですが外に出たいと思います。

でーすーがー！ 今の格好……外の世界の格好だから浮いちやうんすよね。なので用意された服を着ます、幻想郷でもパンツはあるから実際安心！

次に道具の整理をします。時間がないのであればぱつとやりますが……拳銃はいざというときに欲しいので置いてくものは警棒ですかね？ 刑事なのに何で持っているかは分かりませんが持ってきてしまったものは仕方無いので置いていきます。他のは結構必要最低限装備のようなものでしつかりと持っていきます。

MUH早くしろく→

荷物を整えて、本持ったな？ 鍵を持ったな？ じゃあ玄関開けてから鍵閉め……良し！（現場猫）

弁当屋に向かいがてら近所の人を見掛けたら積極的に挨拶しましょう。これだけでも生活のしやすさが変わっていきます。長期プレイなら噂を教えてください、好感度が高かったら余ったおかずを分けてくれたりと……とまあ知らない相手にかける情けは無いってことで挨拶は大事。はつきりわかんだね。

＜挨拶をした。戸惑いながらも返事を返してくれたのでしばらく長屋にお世話になっていると伝えた。

「あらそうなの、今賢者様も博麗の巫女も大変で外に出られないらしいものね……」

こんな感じでご近所付き合いもこの【夢幻幻想郷】の醍醐味ですね。聞いた話では普通の村娘と結婚して死ぬまで添い遂げた兄貴達も居るらしいので本当にこのゲームの遊び方は無限大なんですな。

まあ、世間話もそこそこ今の目的は朝飯の確保ですのでさきつと話を切り上げて弁当屋に向かいます。

弁当屋に付いたらおにぎりを3つ買いましょ。3つで6文です随分と安いですが贅沢しなければこんなものです。今は食べませんお昼用のお弁当おにぎりです。

そして次にうどん屋に行きます。

うどん屋も朝仕事に行く男衆を客層にしている所ならばこんな朝っぱらからでも開いています。

昨日確認していたので開いているのは分かっているのでのりこめー！

かけうどんを9文で買い一気にすすり上げます。出汁も飲みきって……うんおいしい！そして……ああくステータスアップの音オ→。なお空腹値の上昇具合。半分にも満たされてませんけど問題はありません。まだ行けるだろオオん？

そして水をがぶ飲み。出汁を飲みきったことでも水分は補給されますが全然足りないので今のうちに大量に飲み貯めします。

これで残り202文！本借りたり流石にろうそくとか買う分を考えてもイける！その分最低限まで食費をケチりましょうねえ……昨日小鈴ちゃんにあげた焼き鳥？

必要経費、コラテラルダメージつてやつだよちなみにこれからもあります。自己中心的な性格はどこ……ここ？

これに関しては走者の力業ですね。望歩君に納得させるような考え方を考えています……この文だけ見たら訳わかんねえな？

まあ、結果的に自分の為になるようにすれば知恵があれば納得できます。自己中心的で種類があるので誘導すればいいんですね。あそこに人に飼われた鳥が居るぞ！捕まえて食べたい！でも黙って取れば問題が起きる……でも絶対に食べたい！周りに手回しして差し出させよう！

くらいの気持ちにさせます。

一般的な自己中心的な性格の奴がそんなこと考えるわけ無いだろ！とお考えのあなた……それは違いますよ！

自己中心的な性格の奴が受け付けないのは周りからの忠告、助言です。表面的に聞いていても自分の考えから大きく逸れていたり、間違っているとわかれても自分の出した答えが正解だと信じているので外部からは自然な誘導以外で自分の意思を変えることが出来ないのです。

え？ それでも迷惑な奴だろう？ せやな。

じゃけん自分の意見なら考える事に値するので内部から操作しましょうねえ。

という操作方法なのですが当然のように難易度が高いです。慣れた私でも性格に引つ張られてしまうことが多々あります。ですが、そのデメリットを押し殺すメリットがあります……決めたことをやり遂げる意思の強さなんですよね。

助言や忠告を聞かないというのは見方を変えれば信念を突き通せる資質があると私は考えました。RTAなのに帰る意志をぶれられたら困るんですよね……感情のブレで足を止めるんじゃないやねえ！（トラウマ）

今のところ”話術” ”演技” ”心理学”と自己中心的のビルドを越えて来た者はいません。勝ったなガハハ！

後は自己中心的な性格になる事やその強さにも理由があると言うのが私の持論なので経歴や生まれの組み合わせも考えてキャラクリしてます。

と、性格についての説明はここまでにして置いてこれからの展開について軽く説明しておきましょうか。

今向かっているのはまあ、ご想像の通りの鈴奈庵……ではなく道具屋です。買いに行くのは蠟燭です。夜の月光だけに頼っていると流石にしんどいので蠟燭を置きます。何で貸家に蠟燭が置いてないんでしょうねえ？ お陰で夜真つ暗ですよ！

蠟燭が六本入りで10文します。着々とお金が減っていますが私は元気です。

蠟燭を懐に入れてやっとな庵に行きます。貸家を出てから一時

間以上は経っているはずなのでそろそろ起きているはず……

お、開いてんじやーん！（安堵）

「いらっしやいま……っつてあなたは！」

よう大将！ やってる？

「私起きてるので営業中は営業中ですけど……」

じゃあ問題ないな。

あっこれ昨日の本、元の場所に戻しておくね。

で、次の本借りたいんだけど……

「え、本当にもう読んだんですか!? 待つて待つて確認しますから勝手に戻さないで！」

何だよーはいこれ（素直）

じゃあ本の状態と本物がどうかを確認している小鈴ちゃんを横目に次借りる本決めておきますかね。

本は高級品なのですり替えとか借りパクとか有ったらしいですよ？（豆知識）

幻想郷で普通に買えば200文するのが普通です。なんだこれは日雇いの一日分の給料とほぼ同じじゃないか……たまげたなあ。

目当ての本探すとチラチラと小鈴ちゃんの手元を見ることでどれくらい進んでいるかを確認っ！

四分の三？ けど写本と同時にやっているのだからかなり時間が掛かってますね。

「はい、確認終わりました。それにしても……これを一日で読んで次の日も来てまた本を借りるなんて本当に本が好きなんですネ」

本だけに？

はい、今のは悪かったなのでノミを構えないでください。安易に暴力に訴えると……死にますよ？（望歩君が）

まあ、小鈴ちゃんは肉体的になら普通の少女と変わらないのでそれほど危険ではありませんが。

すいませくん、本借りたいんですけど……ここで読んでいったら安くなりませんかねえ〜？

「まさか居座るつもりですか!?!」

居座るといふか本読みたいだけなんですけど（本音）

なあ頼むよ、ちよつとくらいなら雑用もするからさあ。

堕ちろ……堕ちたな（話術）

「私のお手伝いしてくださるんなら今日だけ40文で読み放題にしてあげます」

じゃあそれで。

しつかりと前払いで40文を渡して本を漁り始めましょう。

……小鈴ちゃん昨日ちゃんと睡眠を取ったのか受け答えに表情や声に疲れが見えませんか、居眠り作戦は今日は無理そうですか。ま、他の本を読んでれば良いんですが……後猶予は二日ですね。

という事で漁り開始！ おつといきなり変な本に出会いましたね

”妖精の恐ろしさと醜さ”これ絶対AQUがかい

今回はここまでです。ありがとうございました。

鈴奈庵／安全施設／敬語へ

幻想郷の恐ろしさと美しさそしてほんの少しの切なさを感じるR
TAはーじまあるよお！

前回お金と雑用をすることを対価に貸本読み放題の権利を手に入れたぞ！

徹夜して読んだ本で危険な場所について知識を手に入れたので今回は観光地にもなる安全な場所を調べていきましよう。案の定外来神兄貴著作です。

昨日の時点で大体の本の場所を記憶しているので手際よく調べることが出来ている＋114514点

そしてこれが！今日読む栄えある一冊目の”幻想郷安心旅歩き”
”を手にとって、その間に見付けておいた”幻想郷の非常な常識・上、下”を横に置いて小鈴ちゃんの目の前に置かれている椅子に座ります。
「……………」

何だあ？その目はあ……………ここ以外机と椅子が無いんだから仕方無いだろ！

奥に行けばいい？なに、それは……………（汗）

この奥小鈴ちゃん家の生活スペースじゃないんですか？ていうかあなた：両親はどうしたんですか？私が試走した際には居たので昨日の時点でお茶汲みに行ったときにすれ違うなりなんなりすると思っていたのにしませんでしたし。

父親の方は里で本の仕入れや香霖堂に行ったりして本の仕入れをしているようなので一日くらいなら会わなくてもそんなものかなあ？と思いますが母親は基本的に家鈴奈庵に居る筈なんですよね。

てことで本読みながら質問たーいむ！

「あー、そうですね。私一人で切り盛りできるようには見えませぬよね……………」

そう思われたいのなら、現状を顧みて、どうぞ（辛辣）報酬への私欲で仕事の受け過ぎで首回ってないじゃん（じゃん）

いや、私の事前知識が無くても十代の5、6？にしか見えない相手

が一人でお店を経営できるとは思えないでしょう。望歩君もそう思っています。

てことで、話して…どうぞ。

ふんふん…：母が、病気で？病院に入院。父もお見舞いなど行っているけど仕事の合間になってしまい結果的に帰ってくる頻度が少なくなってしまった、と。

成程、それで一人で切り盛りしてるんですねえ〜

けどその状態で時間かかる製本の仕事受けるのはまだ良いとしましょう。入院するとなるとお金が必要になりますので実入りの良い写本の仕事を受けたのはむしろ的確な判断だと思います。

だが木版印刷、てめえは駄目だ。

「はい止め…その話は昨日したでしょ！」

しょうがねえなあ…：ではちまちま雑談しながら会話でテンションを上げさせて小鈴ちゃんのストレス値を軽減させておきましょう。親が病気で家にいないという状況はどんな人間でもストレスが溜まりますからね。これは幻想郷の住人にも言えるので“心理学”“話術”で適度に空気抜きさせるのは常套手段です。まあ見た感じ怒らせていたらストレスが溜まるように思います。実際溜まるのは疲労だけでやりすぎなければ良いカウンセリング手段になります。友人と会話するだけで心が落ち着くのです。この場合望歩君が友人判定されているかは分かりませんが見たところストレスが溜まっていく様子はないので大丈夫でしょう。

てことでカワイイ小鈴ちゃんと会話しながらの本読みは残念ながら…：スキップだ!! (倍速)

本読むのには時間がかかるんですよ…：流石に読むための光源や椅子や机があるので徹夜した時程の時間はかかりませんがそれでも3時間はかかります。

そんな長時間永遠と垂れ流しとか(視聴者が)死ぬう!!なのでこれも視聴率の為…：悪く思うな(弦ちゃん並感)

では空き時間は読んでこの本の事を解説しますかね。

この“幻想郷安心旅歩き”では安全な施設への安全な移動ルート

が記されています。著作者の外来神兄貴は一つのルートにつき一度しか検証していない為、安全なルートを歩く際でもしつかりとした準備と心構えが必要と前書きに書いてあるんですが今のところこの外来神兄貴のルートで死にかけたことが無いので私は全面的に信頼しています。それに普通のプレイ時にこの外来神兄貴の本を読む前に聞き込みなどで安全ルートを開拓したとしても最終的には外来神兄貴のルートに辿り着きました。他にも幾つか安全なルートは発見できましたが前提条件が有ったり（魔力が必要）その場所を見つけないのが手間だったりするのでそれからはこの本に従うようにしています。

こんな便利アイテムが何でルナティックでも存在しているんですかね？他の便利アイテムの幾つかは難易度上昇に伴い確率出現に成ったりそもそも存在しないことに成ったりしてる中この外来神兄貴の本は確定で出現するんですよ

私は考察班ではないので調べる気はありませんが。有るか無いか、必要かそうでないかだけわかっただけわかってればいんだよ！

話を戻してこの本に示されているのは“博麗神社” “命蓮寺” “神霊廟” “夢殿大祀廟” “守矢神社” “迷いの竹林（案内人の場所）” “永遠亭” “香霖堂” “三途の川” “霧の湖” となります。前の“幻想郷危険な場所目録”と合わせて人間の足で行ける場所をほぼ網羅できました。

……いや、無理でしょう？みたいな場所がありますけど頑張れば意外となんとかなります。神霊廟は丁寧にも神霊廟へ連れて行ってくれるネームドが何処にいる可能性が高いか、どうやって交渉すれば連れて行ってくれるかも書いています。お前：仙人に成れ。

三途の川とか行けるのは行けるけど：何もできないよ？みたいな警告も併せて書いてくれているので大変ありがたいですね。守矢神社に關しても道中天狗に見とがめられた時の対処法も書いてくれています。ロープウェイを使えと念押ししていますが道から外れた際の対処法も書かれてあるとかこんなんじゃ（他の案内本は）商品にならないよ（迫真）

で、良い感じに読み終わったので少し望歩君に休憩をさせます。徹夜して本読んで飯食って本読んでとかお前相当変態だな? (元凶)

あ! 読み終わった事でなぜか耐久が上がりましたね……一晩耐久本読みのせい? なんのこったよ (すつとぼけ)

基本的にステータスは中々上がらないんですけどこれは中上昇、良い乱数を引きましたね。行動によるステータス上昇は全ての行動の途中経過を見てどのステータスがどれくらい上がるか決められるので筋肉を上げながら本読みとができます。効率は悪いですが。

食事? ちよつと (傾向が) わかんないです。

一息付いたので続きを……おや? 小鈴ちゃんが喉乾いたみたいですね。じゃあ読み始めましょうか。

「いやいや私の雑用してくれるんじゃないんですか!？」

じゃあ口で言うってくださいよ! そんなめんどくさいムーブしないでさあ……

くしょうがないとため息を吐いて約束なのでお茶を二人分淹れて戻った。

ほら、望歩君も呆れてるじゃんアゼルバイジャン。

「……納得いかないっ!」

ならどうしろって言うんですか。

ま、そのまま次の“幻想郷の非常な常識・上、下”を読み始めましょう。熱いお茶もいただいて……うん、おいしい!

小鈴ちゃんの方も木を彫るのに疲れたのか写本の方……ではなく普通に読み始めてますね。いやあ……いかにでしょ。

「ん? ああ良いのよ。こうして見返さないと文章が間違っていたとしても分からずそのままにしちゃう時があるからね」

成程なあ……あれ? そういえば敬語じゃなくなってる……まあええか!

いじりすぎたので必要経費でしょう。望歩君もそこまで気にしてないようです! ストレス値に問題はない!

「こういう時に限ってお母さんは居ないし阿求は来ないし……本の扱いは丁寧だから追い出すこともできないし……うう」

そこら辺の分別は当然付いてますよ、望歩君社会人ですし。
というか小鈴ちゃんのいじり耐性が低すぎるのが問題ってそれ一
番いわ

今回はここまでです。ありがとうございました。

敬語／常識／煙草へ

年下から失われた敬意を取り戻すRTAはーじまーるよー！

前回突撃鈴奈庵をして本を読み放題の権利を手に入れたところからですね。小鈴ちゃんから敬語が失われた？ 知らんな。

で、この超スピード!? 中なんですが……

“幻想郷の非常な常識・上、下”についてのお話をしようと思いません。

此方の本。上と下の二冊に分かれています。上が人里で生活するための知識が書かれており、下にて人里の外について書かれています。

幻想郷在住兄貴達から説明書とも言われているこの本さえ読めば……なんと！ 一般人プレイの本拠地に成るであろう人里で悪目立ちする行為を無意識にしなくても済むようになります！

これがどれだけ大事な事か今一理解できない方はこう考えてください。米国と日本では法律が違うでしょう？ しかしそれは言語の違いだからと警戒するかもしれませんがこちらは言語が一緒に普通に話すことができます。いつもいる場所と一緒にだと考え安心し、いつも通り過ごしていくといきなり仲が良かった相手がいきなり怒り出し、周りもそれに賛同し非難されました。理由は分かりませんが、ただ同じように話ができるからと同じように接していただけ……。家の前のような風景で見えない地雷が多数埋まっている状態です。

郷に入れば郷に従え……。だが従う郷が分からず、分からない事も分からないというどうしようもない状態になってしまう。

勿論上記した一例はたとえ話で、本当に仲良くなっていけば外来人という事もありある程度は見逃してくれたら教えてくれたりしてくれますが……。それでも相手に悪感情を持たれたくはないでしょう？

なのでこの“幻想郷の非常な常識・上、下”の上は初めてプレイするのなら読んでおきましょう。大丈夫、Wikiにもトップに書かれていることなので情報を一切見ないリアル幻想入りプレイでもない

限り嵌る心配のない地雷です。

まあ、この本を知らなくても慧音先生や役所の人に聞けば大体はこの本をお勧めしてくれますよ。大丈夫だって安心しろよ。

とまあ上の方は人里編といった感じなのですが、これ以上の内容に關しては望歩君が知っていれば良いのでこれ以上の説明はしません。里の条例の話をして誰も面白くないですからね……こっちは歴史の授業で習わされた法律だけでおなかいっぱいなんだ……

それに……人里で生活するチャートは一周目だけですし（小声）で、上を読み終わり休憩なしで下巻に移ります。特に重要なのではこっちなんですよ。

ここで幻想郷のルールである“弾幕ごっこ”等も知ることになりますね。まあ関係ないんですけど……だって一部妖怪はそんなの関係なく攻撃してきますし、弾幕ごっこでも当たれば死ぬので。強制耐久スペカ（時間無限）

この外来神兄貴も普通に襲われたって書いてありますしね。一部強い妖怪は無名でもスペルカードも使えるんですが……弾幕ごっこというのは決闘方法であって餌相手にやるのって狩りなんですよ……

異変でスペルカードを使った弾幕ごっこによる戦いを首謀者が望んだ場合よっぽどの場合じゃなければ消滅させられることはありません。

ですが普通に殺しに来た場合、殺意で持って殺されます。幻想郷の素敵な巫女（震え声）

最悪幻想郷の賢者である八雲紫やくもゆかりが出向く場合があります。犯人は死ぬ（確信）

弾幕ごっこって言うのはね……仕様を見れば見るほど人間じゃなくて妖怪を守る仕様なんですよ。

とまあ弾幕ごっこの情報を得て渋い顔をしている望歩君ですが……君、次周からそれを味わうんだよ？（鬼畜）

次週の初期位置にも寄りますが人里リスポンを引けるとは思っていないので十中八九は妖怪の生存圏からのスタートだと考えています。

というか人里に行けたとしてもこもりきりではタイムが死ぬので積極的に外に出てもらいます。後ほど解説しますが二周目以降はトロフィーに条件があるのでメインストーリーノータッチじゃ無理なんですよねえ……

で、次に妖精、精霊の存在。自然の化身のようなもので知能は子供並み、精神も子供並みで無邪気、力も子供並み……だが魔力があり、弱い妖精でも風の妖精なら上半身を浮かす程度には力を振るえ、力ある妖精なら氷の妖精ならば一人丸ごと氷漬けにできると書いてあります。

そして、それが悪戯感覚に全力で力を振るって襲いに来るとすよね。本人からしたら遊んでいるような感覚らしいですよ、友達相手に。

妖精は基本的に死なないので殺されても一回休み……次の日には復活してるような生体なので人の生き死についても深く考えないんですよ、教えても忘れます。馬鹿なので。

対処法として幾つか書かれていますですが私がやってみて一番効果的だったのはお菓子を持ち歩くことですね。お菓子をぶん投げて気を取られている内に逃げます。マジでこれが一番安全に逃げれます。

今回望歩君には拳銃が有りますが……五発しか無い上に数が沢山いる妖精相手に使うかと言われれば首をひねるんですよ。それに相手は子供のような姿をしているので殺した場合ものすつごい勢いで精神力が削れます。一回殺され掛ければそんなことも無いんですよ。

幻想郷の住人は全く精神力が削れないようですが現代の価値観に生きて、妖精という存在を知ったばかりでは見た目に意識を取られるのは仕方が無いといえれば仕方ありません。なのでもろもろ考えて逃げることが優先しましょう！

あつ！ 戦闘特化ビルドの兄貴は簡単に倒せると思いますが倒しすぎない様に気を付けてください、やりすぎると格の違うネームド妖精……チルノや三妖精がやり返しに来る場合があります。強さが段違い過ぎて……やめてくれよ……(絶望)

と、妖精の事を知ったところでなんで等速に戻す必要があるんですか？

「あ、そのページ…妖精について知りたいの？」

「どうやら妖精のページで顔を渋くして読んでた望歩君が気になった小鈴ちゃんが話しかけてきたようですね。」

「いや妖精についてはやべえのがいるなあ程度で…というか仕事はどうしたんですか。」

「休憩中、何か熱心に幻想郷の事調べてるなって思って…幻想郷に移住するの？」

（移住し）ないです（鉄の意思）

でもねえ、こんな面白そうな場所の事調べないとかありえないでしょ、後3日もしたら望歩君帰るんでえ…安全に知れるんならどんな場所か知っておきたいんですよねえ。

「え！ 後3日したら帰るの!？」

「なんだよ。胡散臭い外来人が居なくなっって嬉しいダルルオ!？」

「というかそんなことよりもですね、早くその本の木版作り終わらせて内容を読ませて欲しいんですが。」

「…何というか、さっぱりしてるのね」

「ちよつと意外そうな表情で小鈴ちゃんが望歩君を見つめていますね、これだけなら等速に戻す必要も無いわけなんですが…」

「おや？ 望歩の様子が…」

「何となく居心地が悪くなって、席を立って外に出た。煙草が吸い取ったのでしわくちやになってしまった煙草の箱から一本取りだして火をつける。」

「何してんだあ!! 本！ 本読めお前え!!」

「あのさあ…何チャートに反して勝手に煙草吸い始めてるわけ？」

「別に本を読みながらなら何も言わないんだけどさあ…」

「コオレエア…感情ストレスに負けましたね、私が。」

「ちよつと望歩君にとって目の前の目的を放っておいてでも逃げたくなる何かがあったみたいなんですけど…まあ大丈夫です、煙草を吸ってから落ち着いてきましたね。これもガバつちやガバなん

ですが：煙草を吸う事で精神の回復と安定、そしてこの程度で再走していたらそれこそゴールまで辿り着けないので続行します。

それにいい時間なので昼食にすることにしましょう。

後ですね……実はこのビルドにした時点で望歩君の過去にトラウマになるくらいの何かが出来るのは想定内です。それを刺激され少しのガバが起きるのも想定内です。今望歩君が煙草を吸っているのは”私”がストレスを感じ取り、このまま本を読むよりも一度リセットを掛けた方が良くと判断したんですね。制御権を失った訳じゃないよ、本当だよ？

というか言ってしまうえば丸一日の内数分程度誤差だよこ

今回はここまでです。ありがとうございました。

本居小鈴の珍妙な来客

その人は私の出した求人を受けて鈴奈庵ここに来た。

外来人向けの日雇いの求人であつたのだから一定の知識量が約束されてるだろうから本を傷付けないように注意して早速本棚の掃除と整頓をお願いした。

「え、いきなりですか？ …まあ構いませんけど」

初対面の印象としては不健康そうな顔色の優男と言つた感じだ。睡眠不足か何かは分からないけど目の下に隈は出来てるし肌は青白く見える。慧音先生が連れてきたけどあんまり期待できないかな、と思つていたけど思ひの外手際良く作業していった。

「慧音先生、あの人ってどんな人なんですか？」

「ん？ ああ、誠実…とはさつき会つたばかりだから言いにくいが貸し借りの清算はきつちりしようとするしっかりとした人だぞ」

「へー……」

灰色のよれよれの服……多分外の世界のファッション雑誌に載つていたスーツという物に身を纏い、死んだ目で本を黙々と片付ける彼を見ながら頬杖をつく。

確か名前は望歩と言つたつて、背の高さはそこそこあるから上の方まで掃除してくれているし、あのペースなら今日中に全部終わりそうだから明日用の給料も含めて渡してしまおうかな。

「おい、人に手伝わせておいて何リラックスしているんだ」

「あ、はは……ごめんなさい！」

「まったく……」

慧音先生の言う通りなので自分も黙々と作業を進める。

今本版を作っている本は地底に住んでいる古明地さとりと言う妖怪が書いた本らしい。らしいというのは持つてきた人物が言つていただけで信ぴょう性はないのだけど……本から漂う妖気のようなものからこれはもう妖魔本で間違い無いと確信して殆ど反射的に仕事を受けていた。幸いにもページ数が少なく期限もほぼ無制限だというのだから今ある写本の仕事と並行して事を進めれると考えてい

た。

……その目算がかなり甘かったから今こうなっている訳だけど。

まあ、これを持ち込んだ人物が料金代わりに置いていった宝石が幾つかあるので今度魔理沙さんが来た時にでも売りつけてやろうと考えている。それに作った木版も幾つか刷った後買い取ってもらえることに成っているのです。これが終わればまたゆつくりと本を読む生活に戻れるだろうという考えもある。

お母さんが居たらここまで大変にはならなかっただろうけど……
今代わりに来てくれている彼を見る。

あ、またせき込んだ。

「あのー大体は終わったんですけど……」

あれからまた少し掘り進めているといつの間にか近くまで来ていた外来人の望歩さんが傍に立っていた。

じーっと木を見つめて集中していたからか目が痛い……

「大分疲れてるみたいですし……休憩しません？」

「あ、うん……そうだよね、休憩しないと……」

彫っていた木版から手を放して椅子にもたれこむ。

「ここ最近ずっと彫ったり書いたりで眠気も来てるし……」

「うん？ ああ、休憩か……んー！」

慧音先生が休憩すると聞いて背伸びをする。すると同時に存在感あふれる二つの山が激しく自己主張していた。

女性の自分でも目が行くようなソレは目に毒だろうと視線を望歩さんに向ける、だけどその視線は私たちが作業していた木版や写本に向けられていて何かを考えているようだった。不思議に思っている
と彼が作りかけの木版を指さし口を開く。

「本居さん？ だっけ」

「あ、そうですね……小鈴でいいですよ。望歩さんの方が年上ですし」

そういえば挨拶も一瞬でその後直ぐに仕事に移ってもらったからね、慧音先生も同伴だったから完全に浮かれてしまってたわね。

「じゃあ小鈴ちゃん」

急に馴れ馴れしくなりましたね……

「素人目から見ても仕事量が多すぎて手が回ってない様に見えるんだけど……いつもこんな感じなの？」

「ドキッと嫌な事を突かれたのをできるだけ隠しながら答える。」

「いやあ……普段はそんなことないんですけどね？ 写本の依頼とか滅多に来ませんし、来たとしても予約制ですから」

「そういうえばそうだったな……しかもかなり期間がかかるからそれに付きつきりになる分他の写本とバッテリーングするなんてありえるのか？」

「いや無いでしょう。個人営業……それに委託とかも無いんでしょう？ なら狙ってやったとしか……」

うん……これは隠しきれないかなあ……？ 慧音先生にはもう手伝ってもらってるしもう白状しちやおうかな……

「やるとしたら経営がギリギリでやむを得ないとかですかね？」

「なんだと!? 鈴奈庵はそんなに切羽詰まっているのか？」

ああ……話が変わる方向に転がっていく……もう言っちゃえ！

「……………写した本はそのまま持つてていいって言われたから……希少な本でこんな機会二度とないし、それが二つ同時に来て……」

私の残念過ぎるカミングアウト……慧音先生が頭を落としてうなだれている。何だか乾いた笑いが漏れる……

「おいおい……それに私が巻き込まれたのか……」

望歩さんは……呆れてる？ ちよつとわからない表情で私を見ている。それが何だか無性に責められているように見えて思わず反論してしまう。

「だってだってえ！ この木版で今刷ってるやつとか地底の妖怪が書いた……これだけにしかない希少な本だって言うんですよ!？」

「地底の妖怪が？」

「妖怪の書いた本？」

これにはびつくりしたみたいで二人とも驚きの表情を浮かべている。けれど望歩さんの方はすぐに表情が疑いに変わっていく。

「妖怪の書いた本ねえ」

「あつ！ 本物が疑ってるんですか!？」

「いやいや！ そんなことないよ！ ただ僕は妖怪の書いた本とか見たことなくてね……どんな人が持ってきたんだい？ やっぱり妖怪らしく小豆洗いとか河童とかかい？」

「どんな人が持ってきたか……？ あれ……どうだったっけ……」

「うーん、なんだか姿がぼんやりしててあんまり覚えてないんですけど……緑色の髪をした大きな帽子をつけた女の子だったような……」

あれ、なんでこれくらいしか覚えてないんだろう……こんな貴重な本を持ち込んでくれたお客様の事なのに。

「ふうん……あ、作者の名前だけ見せてよ」

「あ、それは私も知りたい。一体誰が書いたかによっては博麗の巫女を呼ぶ必要があるかもしれない」

「え!?! そんな大層な事にはなりませんよ！ 名前なら……ほら、ここに『古明地さとり』って書いてあるでしょう!?!」

作者不明でもなく古明地さとりって危険な妖怪とか聞かないし……

「古明地さとりと言うと……地底の覚妖怪か心を読むという」

「多分そう、で慧音先生にやって貰っているのが本来のお仕事でとあるおじいちゃんから頼まれた写本」

「そうやって説明をしていると望歩さんが休憩にするならお茶を汲んできていいか？ と聞かれたので許可をする。」

直ぐにお茶を淹れてきてくれてゆっくりお茶を飲み始めるけど……どうしてか望歩さんの視線がずっとその古明地さとりが書いた本から何かじつとりとした目線を向けていたように見えた。

あれから一悶着有って……望歩さんが何故か古明地さとりが書いた本に執着を見せてどうにかして読ませて欲しいという願いを何とか乗り切って本を死守した……疲れた……

慧音先生がお帰りになって、その後直ぐに望歩さんも外来人用の長屋に帰っていった。

一人になった家で静かに一人で黙々と作業を続ける。お気に入り

の音楽を掛けてみても何でか気が乗らない。

最近は何求も忙しいのか来ないし…魔理沙さんや霊夢さんも来ない……いや霊夢さんは仕方ないか。”お得意さん”もどうという訳か最近来てくれない。

おかあさんも流行り病にかかってしまい、命に別状は無いがしばらく入院が必要だという。おとうさんは仕入れの仕事で忙しくて家を空ける事が多い上で最近はおかあさんのお見舞いや入院費の為に帰る頻度が更に少なくなった。

最近この家は私一人だ。それが嫌だという訳ではない。本さえあれば退屈は紛らわせるし、自分はそれだけで生きていけると豪語できる。

けど……今日みたいににぎやかに会話した後だと……

「……………話過ぎて……………ちよびつとだけお腹すいたし……………ちよびつとだけ、さびしい、かな？」

あ、そういえば望歩さんにお給料払い忘れてる……………まあ、それなら明日にでも来るでしょ。

……………なんだかやる気でないし、今日はもう寝ちゃおうかな？

うんと背伸びをして体をほぐしたその時、店の暖簾が目に入った。そういえば暖簾を片付けるのを忘れていた、もう店じまいの時間も過ぎてるし早く片付けないと……………そう思っただけの方へ駆け寄る。

すると暖簾は勢いよく開かれて……

「あ、小鈴ちゃんまだ居る〜？」

うえ!?

へ、変な声が出た……………というか

「何々!? 帰ったんじゃないの?」

「誰も帰るなんて言っていないでしょ? まだお給金も貰っていないのに……………」

そう言うとは唇を尖らせてすねたような顔をした。それが何故か面白くて少し嘔き出してしまう。

「笑わないですよ……………君はまだわからないかもしれないけど、お金って大事なんだよ?」

「いや、そんなつもりは無かったですけど……ごめんなさい」

「まあ、いいけど……はいこれ」

まだすねた表情が治ってない望歩さんはそう言ってその手に下げた袋を差し出した。タレのいい匂いが鼻孔をくすぐり、もともと感じていた空腹が鮮明に感じる。

「とりあえず小鈴ちゃんの分も買ってきたんですけど……夜まだ食べてないよね？」

焼き鳥だけど良かったかな？ とちよつと遠慮気味に渡すその袋を受けとつて……ありがたくいただくことにしました。

望歩さんはそれを見て、じゃあ外で食べるからとさっさと出て行ってしまいました。

……まあ、外は冷えますし見たところ飲み物も無いようなのでお茶を淹れて持って行ってあげましょうか。

煙草／幻想郷〇〇／夕暮れ時へ

今のところ本しか読んでないRTAはーじまるよー！

いや仕方ない事なんですけど…ずっと画面が本に埋め尽くされてるんですよ〜偶に目に入る幻想郷の住人と食事が癒し。

てことでお待ちかねの癒しシーンがって参りました！そう、おにぎりです!!

え？小鈴ちゃんじゃないのかって？まあ、画面に出せますよ？出そうと思えば（王者の風格）

ですが今食事中なのでこれが終わってから本を読む前にちらっと会話しましょうか。

後二冊ある外来神兄貴の本を読み終えたら後は適当に知識を蓄えながら手軽に技能の経験値を得れそうな指南書とか紹介してもらいましょう。“演技”とかの本も欲しいですが“旅歩き”等の移動の負担を軽減してくれる技能も欲しい所さん!?

さて：おにぎりルーレットの結果発表ですね。おにぎりは確定で耐久微量上昇と具材によってランダムなステータスまたは技能の微量上昇ですね。

今回具材までは指定しなかったので食べ終わるまで何が上がるかわかりません。大当たりはだし巻きですね、“演技”が上がります。大将のお任せでとやると安く良いものが買える場合があるので必ずこれじゃないといけない！という場合じゃなければ通常プレイでもお勧めです。安いというのは良いものだ。

〜おにぎりを食べ終えた…：体力が付いた気がする…：自分の考えが定まった気がする…：周りの事がよくわかるようになった気がする…：力が湧いてくるような気がする。

“意思” “感覚” “筋力” でしたね。まあ、良いでしょう。空腹も5割ぐらいにはなったので行動に支障はきたしません。

というか思うんですけど…：食事して定まる考えって何なんでしょうね（無粋）

はい、思考を本編に戻しましょうか。

おにぎりも食べ終わって鈴奈庵に戻ると小鈴ちゃんも休憩していたのかお茶を啜っていますね。近くには団子と……多分昼ごはんがそれなんですね。

この【夢幻幻想郷】では計算式の細かいところまでは分からないんですけど体格や筋肉量、男女差によって食事による空腹値の回復量が変わってくるんですね。例えを出すならさっきのおにぎり、望歩君は空腹値が2割で食べ始めて食べ終わったときには5割でしたが小鈴ちゃんが同じ空腹値、同じ量を食べると空腹値はおそらく7割は優に超えて回復すると思われる。大体1.4倍？くらいの差になります。今回望歩君には付けてませんが特徴のマイナスの分類に当たる“燃費が悪い”等を付けていたら更に差は開くでしょう。この“燃費が悪い”っていう特徴を付けて走ってみたら結果的に食費が倍になって働く時間が増え得てタイムが死んだのは良い思い出です。流石マイナスだなと実感させられましたね。

体重と食費が気になってきた兄貴達には詳しい計算式はWikiに載っていたと思いますので詳しく知りたい方はそちらへどうぞ。

成程なあ……けど一ついいかな 本編 どこ行った(自問自答)

はい！じゃあ予定通り小鈴ちゃんにお勧めの本を聞きましょう！今日借りて帰ろうと思うんですけど……なあんか良い本、ないっすかね？教えてくれよなく頼むよ。

「お勧めの本ねえ……」

こう、読むだけで力が空濡れてくる奴が良いです(さとり本ガン見)「駄目です。その他なら……幻想郷にまつわる本の方が良いのよね？うちは外来本が多いからあんまり数は無いんですけど……」

じゃあ仕方ないのでそれでいいです。

流石に妖魔本は駄目みたいです。仕方ないといえば仕方ありませんが残念。ですが他の物を探してくれるので良しとしましょう。

小鈴ちゃんの言う外来本は所謂幻想郷の外から、つまり現世から迷い込んできた本の事を言います。幻想郷は忘れられたものが集まる場所……完全に消失した幻の書物も有りますが普通に損失してどこに行ったか分からなくなりそのまま忘れられて幻想入りする類の本

もあるので希少度がマチマチです。というか数で言うと後者の方が多いんじゃないかな？

鈴奈庵の在庫もその時々で変わるので探すときは全部把握している小鈴ちゃんに聞くのが一番なんですよね。

「うーん……今思いつくのだと、妖怪百選、だとか、幻想郷縁起」とか……これはあの稗田阿求が書いたものなんですけど、って昨日今日来たばかりなのに知りませんよね」

ああー！あの稗田の……それを寄こせ（豹変）

望歩君は確かに知りませんが私は知っています。それが人里の名家である稗田家のネームド、稗田阿求が書いた本で妖怪の事、そしてそれ以外にも幻想郷で有力な存在について書き記されている事を……そしてその本が何故か確率でしかポップしないことを。

これほんとなんでなんですかね？原作では小鈴ちゃんが読んでいる描写があるのでもう確定で置いておいてくれても良いと思うんですが……

まあ、愚痴は置いておいてその本さえあればこの後読む予定だった外来神兄貴の本を一冊読まなくても済む……つまり時間が浮くという事……他の事に時間を使える！能力を伸ばせる！つまりタイムが縮まる！（願望）

体感3割の出現率だったんで全く期待してなかったんですけどこれは本当に当たりパターンを引いていますね。

どうやら聞くにはこの最新版しか置いていないらしいんですがそれだけで充分に過ぎる。

「阿求に言われてこれを読みたいって言ったお客さんには安く貸し出せるけど……元の値段が高いから結構するわよ？」

なんや、なんぼなんや？

「流石に今読んでる本を読んだ後に一日で読める量じゃないですしね……今日借りて明日返してくれるのなら45文の所を……読み放題もありますし25文でいいですよー！」

高い！（建て前）安い!!!（本音）

しかし高額な事には変わりはありません……今かなり迷っております

ます。今、読んでいるこの本を横に置いて“幻想郷縁起”を読むのはアリ寄りのアリです。

です が……読み直した場合、読破率的なのが幾らかリセットかかるのか余計に時間がかかるんですよね。今大体半分くらいかな？かなりの迷いどころです。

まあ、迷っている内にも時間が過ぎるのでここは即決していきま
す。このまま……本を読むのを続行します！

“幻想郷縁起”は終わってからだオラア！

この時点で本日の望歩君の睡眠時間の死亡が決定しました。良かったな？お前二徹だつてよ。ウーン……

“意思”が高かったら睡眠時間削りまくってもペナルティが付きにくい
の悪い（責任転換）

大丈夫だつて明日には寝れる（多分）から安心しろよく。

本気でヤバくなったら即座に望歩君判断して睡眠をとるので大丈夫
夫でしょ（慢心）

てなわけで本読みを再開くいつも通り倍速入りまーす！

デッデッデデデ！（カーン）デデデデ！

………はい、白状します。ネタ切れや！

この間に某人気アニメでも流そうかなとは思ったんですけど、まだ
人が少ないこの【夢幻幻想郷】のRTAでそれをやった場合どうなる
かな？つて考えた結果止めました（英断）

これからの事をまとめているチャートについて話そうかなと考え
たんですけど……ここから分岐するチャートが10はあるねんな（白
目）

次の週のポップ位置に寄ってどのチャートを使うのか決まるので
今ドヤ顔でチャートの説明をしてもそのチャートを全く使わない場
合があるのですつごい迷ってます。

なーのーでー！今まで走者が走ったルートで個人的に面白かった
ルートの話を軽くしようかと思えます。視聴者を飽きさせない様に
努力する私を誰か褒めて！

まあ、これも興味が無いっていう方は申し訳ありませんがここをス

キップしてください。

面白かったのは幾つかあるんですけど…前話した世紀末幻想郷もその一つですね。

で、今回話そうと思うのは人妖化ルートです。これに関しては今回のRTAに一切かわらないので安心して話せますね。

この人妖化ルートなんですが…お察しの方もいるかと思いますがやべえです。成ること自体は知識があれば簡単です。理性が吹っ飛ぶ獣畜生になりますますが人を襲って食えばいいのです。

まず幻想郷にて最強と名高い博麗霊夢に無条件で消滅させられるほどのヘイトを買います。これは幻想郷のルールが関係してくるのですが簡単に言うとう博麗の巫女は幻想郷のバランスで、人から妖になるという行為は幻想郷のバランスを著しく崩す事に繋がる為にぶっ殺されるわけですね。

ですが即死する訳ではなく、幻想郷のバランスを崩すと判断されれば消滅まで持つていかれるだけで退治に留められる場合もあります。人を襲って畏れを集めるんですね…実はそれで大丈夫です。やりすぎれば退治されますが妖怪として確立できており肉体が一部でも残っていて、自分は死なないと強く思い込めば復活のチャンスがあります、妖怪つてでたらめだな？ただ博麗の巫女には骨の髄まで恐怖を叩き込まれるでしょう、勝てないのか？逆に聞くが勝てると思うのか？あの無想転生の使い手に…：…そうでなくとも超直感で動きを先読みしてくるといふのに…：…気が付いた時にはヨツンヴァインですよ。

それさえ乗り切れれば楽しい妖ライフが待っています。人を襲うのもよし、妖になって妖力を手に入れたでしょうから自前のスペルカードを作ってもよし。『〜程度の能力』も変異するでしょうがかなり使いやすくなるのでそれで遊ぶのもよし。

妖怪側としてこの幻想郷を楽しむことができます。

私の時は妖怪の山付近で仙人みたいな修行と生活してたら妖怪化(?)していて、野良妖怪にぶっ殺されかけた所で体の異常に気が付き自分が人間をやめたことに気が付きました。その後は人里に降りてバレない様に過ごしていたところを霊夢に見つかり詰め寄せられた時

にポロつと自分が元人間であることを漏らして退治されました。すげえ痛かったゾ。

その時私は運良く生き延びて元居た妖怪の山に逃げ込み河童や天狗などと共生しながら楽しく過ごしましたね。霊夢にしばかれた妖怪とも友誼を結んだりもしました。

それまでのプレイとは全く違う妖怪側の対応や会話が見れるので一度はお勧めしたいと思います。

今度のアップデートでは最初から妖怪のルートも追加されるといふ噂ですのでそちらも楽しみです。人から妖と元から妖怪ではどう違うのか、私、気になります！

と、切り良く読み終わりましたね。

時刻は……夕方と言ったところでしょう。時計なんて高級品……そういうえば鈴奈庵ならあるんじゃない？

「今ですか？ええっと、午後の6時ですね。」

おう、もうそんな時間ですか……昼食時で多分2時前くらいだったのでしょう。ある程度は太陽の動きでわかるとはいえやはり腕時計なんかは欲しいところ。

持ち込み品でもなければ高値で質屋で買うか香霖堂に運よくあるか……最後の手段で無縁塚に流れてきていないかを探すぐらいしかありませんね。

どれも金がかかるし危険だし却下だ却下！

さて、今日の所はもう帰る事にしましょうか……

「あれ？もう帰るの……？」

実は望歩君……徹夜で本を読んだからね。疲れてるんだ、だから今日は早めに帰って貸家で休憩(寝るとは言っていない)しようかと。

“幻想郷縁起”借りてくよー。お代、こ→こ←置いてくから。

「……じゃあまた明日……？」

何で疑問形？まあ、明日来るから……お土産は無いからね？お金ないから……悲しいなあ。

丁寧に見送ってくれた従業員の鑑な小鈴ちゃんを見ながら夜ご飯となる弁当屋(本日二回目)に向かいのり弁を買います。

またかよと思われるかもしれませんがこいつが安いのが悪い。

集中できる環境で一気に読む為にもう買った瞬間にのり弁をかつ
込み満腹度を確認……まあ、大丈夫やろ。

さつさと家に帰って“幻想郷縁起”を読破します！

足元ふらついてるけどそんな事かんけ

今回はここまでです。ありがとうございました。

夕暮れ時／縁起／三日目へ

千鳥足で帰宅：なお酒は一滴も入っていないRTAはーじまるーよー！

前回、早く帰って本読みしなきゃ（使命感）とばかりに高速で帰宅した所からですね。

では早速“幻想郷縁起”を読み始めます。着替えやらなんやらはパパッと済ませました。望歩君のぼでいを見たいホモ兄貴諸君は残念でしたねえ：でも望歩君の肉体に写す価値なんてないのでえ：倍速で我慢して♡

まだギリで光があるので蠟燭は使いません。鈴奈庵には蛍光灯があるのにこの貸家にはないという苛めか？という賃貸……：こんな現代人に貸し出す家じゃないと思うんですけど（名推理）

まあ、貸してくれるだけありがたいと考えてこのまま本を読んでいきます。明日の朝に軽くペナルティが入ってしまうので蠟燭が無くなったらそこで終わりです。

はい。いつものく（倍速）

ではこの時間はこの“幻想郷縁起”について語っていきましょうか。

この本は前回のpartでも語られた通り稗田家が代々：と言うと語弊が生じるかもしれませんが御阿礼の子達が書き記した幻想郷に住む妖怪等を記した書物です。

この御阿礼の子達というのが“稗田阿礼”ひえだのあれいという人物の転生した者達：と言うのが分かりやすいでしょうか。この御阿礼の子達は皆『一度見た物を忘れない程度の能力』というのを持っており、転生の際に“幻想郷縁起”に関する一部の記憶以外は失われる様になっているみたいで転生前の記憶はあんまり覚えていないようです。転生のサイクルもかなり時間が空いている様で100年の時間を地獄の閻魔の下で働くという制約と、妖怪の危険を伝え続ける“幻想郷縁起”を書き続けるという契約の元に転生が例外的に許されていると言われています。私も詳しいことは知らないので断言はできません。

他にも転生にはやはり負担があるのか寿命などに問題が出てきているみたいですが今回の話には関係ないので割愛します。

今望歩君が読んでいるこの“幻想郷縁起”は現代の御阿礼の子達である稗田阿求が書いた最新版であると思われれます。

内容は大まかに妖怪図鑑、英雄伝、危険地区案内、未解決資料、独白：となっていて、妖怪図鑑で殆どの妖怪の情報、対所法が網羅でき、英雄伝などのエピソードを知ることによって幾つかを部分的にですがイメージ、補完することができます。

まあ、望歩君の“記憶”でも丸暗記は無理なのでうつすらとでもいいので覚えてもらっています。“記憶”が30超えて位からですよ丸暗記なんて芸当ができるのは。

内容が以上のものだろう？と思う兄貴達がいるかもしれません。ぶつちやけかぶつてる部分とかありますしね。

しかしこの“幻想郷縁起”に書かれているのは筆者である阿求の主観が結構入ってるのでそのまま鵜呑みにするのは危ないんですね。正直その場所への移動に関して等の知識に関しては外来神兄貴の方が望歩君にとって役に立ちます。

情報は多角的に見なければならぬというのは正に至言ですね。

……やっぱり考え直して明日は外来神兄貴著作の妖怪本を借りましょうかね？阿求の偏見がちよつと偏りすぎてて使い物にならない情報が幾つかげふんげふん！

幸運故にオリチャーを発動してガバるくらいなら元の予定をこなしていく方が安定するでしょうから明日外来神兄貴の本を借りに行きます。埒外の幸運で舞い上がっていましたがこういう時程チャートをしつかりと守ることが大事なことを忘れかけてましたよ……ええ。

てなところで最後の蠟燭が消えちゃいましたね……読破率は8割ほどですか。でもここで止めると鈴奈庵から早めに帰った意味が無くなっちゃうんだよね、え？何？さつきと言っていることが違う？蠟燭が消えたら寝る筈だった？え、言っていないですよ（大嘘）

なんだお前根性無しだないから読めオラア!!

てことで延長戦の後気絶するように眠りにつきましたね。読破経

験値で“意思”と“耐久”が滅茶苦茶上がったけどちよつとわかんないです（鬼畜）でもでも“耐久”の数字が1上がったんっすよ！なので今“耐久”は14ですね……やったぜ。

どんな苦行を積みば10超えたステータスの整数が三日目に突入とほぼ同時で上がるんですかね（すつとぼけ）ま、いつか！

てことで睡眠中なんですが……画面が暗転しましたね。こうして外から見ると分でもキャラが把握していない物を私たちが知ることは出来ません。寝ながら周りを把握できるのなら話は別なのですがそんなのできるのは能力持ちで人間じゃないのでノーカウントだ！

このまま……デフォルトだと3分くらいで目が覚めるんですが、偶に“夢”を見る事があります。その夢では時間の感覚があやふやで行動は出来ても結果が反映されないとか本当に現実の夢かと見間違えうくらいの意味わからん空間で過ごせます。

何でこんな機能があるんだろと考えた初見兄貴……一応意味はあります。夢でキャラクターの過去が再生されたり、夢を操る妖怪などに干渉された時にワンチャン気づけたりするようにするためですね。有名なのは夢魔。そう、サキュバスとかそういう類の化生ですね。淫夢を見せ精気を奪われるんですが、ここでこの夢システムの出番があります。なんと“意思” “精神力”で対抗することができますね！

獲物にしてきたその夢魔を逆にホラホラホラホラ（鬼畜）とばかりに攻め倒したり、完全に無視して遊べたり……魔力があれば逆に破ア!!と吹き飛ばすことができます。たのしい（確信）

これだけなら「ただ楽しいだけじゃねえか！」と怒られるかもしれませんが……撃退したら撃退したらで技能やステータスが大量に貰えるんで地味にうまいイベントでもあります。

でもドレミーだけは簡便な!!

以上が妖怪に襲われた場合の解説でしたがもう一つの過去回想についてです。経歴、特徴、出身、職業……全てを絡ませたストーリーがふざけんな！（声だけ迫真）とばかりに流れ出します。勿論こちらから干渉なんてできません。どんなにつらくても、干渉できません（精

神崩壊)

これを見た後に朝起きると……「ああ、あんなこともあつたな」とばかりにモノローグが入ります。基本的にキャラクターを操作している時に薄っすらとそんな記憶が生えてくる(比喩表現では無い)んですが、その比では無いくらいに鮮明に脳裏に刻み付けられます。

で、それらを踏まえてもう一度言います。それがどんなに辛い過去でも夢である以上干渉できません(精神消滅)なのに見せられ続けます。拷問じゃねえか!!!やめてくれよ……(絶望)

因みに“lunatic”以外はスキップする機能があります。スキップするとうっすらと記憶に残る程度でダメージになる程ではありませんのでご安心ください。

あ、当然キャラの精神力にもダメージが入るので夢見た後の朝一精神力チェックは忘れずに(1敗)

RTA的に糞イべなんで引いたら地獄です。嫌過ぎてどれくらいのスレータスだったらどれくらい寝なくても良いのか実験しましたからね。

お、光が見えてきました!これは起きる前の描写ですよつまり朝です!勝ったな(確信)

<目を覚ました。まだ体に疲れが残っているが動けないほどではない、夢も見ない快眠だった。

おっしや、初回の睡眠は乗り切りましたよ!でも人間なのでこれから何十回も寝るといふ行為をしなければならぬ……辛いです……

因みに私は5回悪夢を見たら再走することに決めています。その回数悪夢見るとしたらキャラ作の時点で重度のトラウマ持ちでその回数悪夢を見たらRTAの時間的にどう考えても発狂寸前までは確実に行くからその後のリカバリーに時間がかかりすぎるねん……

なのでこれからも私は望歩君の睡眠時間を極限まで削り続けたいと思います!(マジキチスマイル)

でえ……:現在時刻は、何時ですかね。

うんうん:太陽が昇っているね、結構高い位置にあるねえ流石に明朝は無理だったかあ……:人通りも……わあいっぱいだあ(小並感)

……これもう昼時だな？（確信）そういえば起きる手段何も用意し
てなかったな？（失態）

ガバじゃん？いやガバじゃないガバじゃないよ！

体力回復のためだから！また望歩君を酷使するための布石だから
！

はいまずは着替えです。望歩君一応借り着で三着は用意されてい
るので着替えます。この幻想郷、開発がそういう設定に狙ってしたの
かそれとも神主から貰った設定資料にそう書いてあったのかそこそ
こに衛生観念がしっかりしていますので汚れてないのから同じ服で
ええやろと何日も着まわしても「そう…（無関心）」と流してはくれま
せん。

体に関しても本当は銭湯に行きたいのですが金が無いので無理で
す（無慈悲）

話している内に望歩君はささっと支度して外へ！持ち物は昨日と
同じで行きます。

今日はそばを食べに……イクゾー！ デッデッデデデ！（カー
ン）デデデデ！

てことで蕎麦屋さんで盛りそばを買って食います！お値段何と8
文！それに天ぷらを付けて合計11文の食費となります！お高い？
朝飯を抜いてるからまあ多少はね？

蠟燭6セットをお買い求めになってから鈴奈庵だ！

おや、何だか鈴奈庵の暖簾がでてな

今回はここまでです。ありがとうございました。

三日月／寺子屋へ

なんか不穏な気配がするRTAはーじまあるよー!

前回、鈴奈庵が何故か開店していない所からでしたね……なんで？

(震え声)

いや、本当になんでなんですかね……今チュートリアルの日中ですよ？こんな事はじめて……チャートこわるる……

……多分出かけているのかな？今日望歩君が本を返しに来るのは知っているはずなので一日中閉まっているとは考えにくいですね。んー一旦役所に向かいましょう、慧音先生の寺子屋の場所を聞きに行きます。

慧音先生が直接その場所を知っているとは思いますが……最悪歴史書などを借りられたり、もしかしたら心当たりがあるかもしれないのでそれに掛けます。

幸運続きでこれですか……まあ揺り戻しが来たんでしようねえ。この程度の不運なら逆に安心しますよ(白目)

とりあえずさっさと移動しましょう、立ち止まっている暇はありません。

ア→ア→ア→ア→ア→ アイクツ……アーツキソ
着きました、役所ですね。

YMD君いるー？

「はいはい何でしょ……あー先日の望歩さんじゃないですか」

そうだよ(肯定)

まずうちさあ……慧音先生……用あんだけど、居場所知らない？

「慧音先生ですか？この時間帯なら今日は寺子屋じゃないですかね？」

へえ寺子屋……場所は？ふんふん……ほらいくどー

「あ、望歩さん昨日も来てませんが大丈夫なんですか？」

お金？大丈夫だって安心しろよ

全くもって(問題は)ないです。これも最初に鈴奈庵の仕事持ってきてくれたYMDさんのおかげだっけはつきりわかんかね。

「ああ、それならいいんです。でも結構あるんですよ、ここの生活に馴染めないで仕事に行けず補助金だけで生活してて：無くなったら犯罪とかに手を染めちゃう人。その様子なら望歩さんは大丈夫そうですね」

僕は違いますよ（食い気味）

いやマジで望歩君は補助金に一切手を出してない謎の潔癖持ちだかね、そんな犯罪者予備軍に思われてたんですね……でもそらそうか、初日だけ仕事を受けてその後来ないって奇跡的にその場所で雇い続けて貰えるようになったかそこで心がバツキバキに折れて引きこもってるかのどっちかだって考えますよね。

朗らかに返事をして役所を去りましょう。

ちよつと探して、ワーツとやって、パパパツと行って、終わりっ！

（到着）

はい、おやつ時前には付けたんじゃないですかね？（曖昧）

何でわからないかだつて？私、太陽の位置で正確な時間を図れるほど変態ではないのです。時計もねえ！でも大体でいいんだよ大体で（RTAにあるまじき発言）

＜寺子屋に着いた。どうやら今日はもう授業が終わった後らしく子供たちが遊んでいる。＞

どうやらもう授業は終わっているみたいですね。都合がいい！早速慧音先生に会いに行きましょう。……多分あの建物やろ！

オツスお邪魔します！

「……………ん？来客つと君か、鈴奈庵で小鈴の妙な写本を手伝った時以来だな」

何かの本を読んでいた慧音先生がこちらに気が付いてくれましたね。

じゃ、早速慧音先生に小鈴ちゃんが何処に行つたのか聞いてみましょう。

「小鈴？何時も通りなら……この時間は鈴奈庵の店番じゃないか？」

この様子じゃ知ってそうには無いですね……ですが望歩君よりは小鈴ちゃんの行先に心当たりはあるでしょう。無かったら？残念で

すが…慧音先生に本借りて終わり！閉廷！…以上！皆解散！君もう帰っていいよ！とばかりに帰宅します。さて、結果は…？

「ううん、また新しい妖魔本でも見つけたか…？そうじゃないなら稗田の屋敷に行ったか…博麗神社か…しかし博麗神社に行ったところで今は誰も居ないはずだし……すまない、これと言った心当たりは無いな」

あれま…これは手詰まりですね……稗田の屋敷、つまりは稗田阿求に聞きに行っても良いんでしょうがこれ以上無駄に時間を過ごすはやめておきたい所。

仕方ないので……もう一度鈴奈庵を確認して開いてなければ晩飯を弁当屋で買ってから貸家に帰りましょう。その為にも経験値稼ぎにもなる本を借りたい所何ですが……慧音先生かあ、いけるう？コレエ？

「幻想郷について知りたいからお勧めの本を借りたいか……」

慧音先生が考えながら近くの本棚で考えてくれますね。貸してくれそうなのは助かりますね。最悪他の貸本屋を紹介して貰おうと考えましたが好感度を一切稼いでない状態で割引が無理そうなんですよね……

残金考えて行けるっちゃ行けそうなんですけど……ちよつと考え中です。

で、慧音先生セレクションは……歴史書となんだコレ？

「そっちの本が私が編集した外の歴史書だな。ちよつとした能力で……と今は関係ないな。そっちの本が異変について纏められた本だ。さつき言った稗田家の阿求という少女が書いた一冊だが読み物としてもかなり面白いものになってるぞ」

おー、ええやん。気に入ったわ（震え声）

ナンボなん、これ？（誠意）

「別に金はとらないぞ？一冊は私が纏めたものだし……もう一冊の方は……まあ無くされたら困るがな」

14万!?!（幻聴）

いやふざけてる場合じゃねえ！

どう考えても貴重品をポンと渡さないで!!こつちに都合よすぎて望歩君が困つちやつてるじゃないですか!!

「いや、ちゃんと返してくれるんだろう?友人同士のやり取りだから構わないだろう?」

………良し!もうここで読むか! (諦め)

ちよつと、これは……駄目だ。望歩君の胃にも私の胃にも優しくないわ。

ていうかあれー?慧音先生もつと貸し借りとかちやんとした人でしたよねー?どこでそんなに友好度稼ぎました?

ちよつと私の理解できてないところでマスクデータに引つ掛かりました?

怖すぎる……でも現状メリツトしかないのでありがたく読み始めましょう。先に異変の本を読んで歴史書は借りて家で読む!これが最強の布陣だ。

では……超スピード (倍速開始)

では恒例の解説タイムと行きましょう。

今回は今読んでる本に書いてある異変についてお話しましょうか。

まず異変という言葉の意味は通常平素の状況・状態では見られない何らかの「違い」を指す語となっております。この幻想郷でも意味はほとんど同じで、原作における敵役(妖怪等)が幻想郷へ特異な影響を与えると判断された場合“異変”認定とされ主人公陣営がそれを解決するという方式をとっていますね。この異変は様々なものがあり、赤い霧が幻想郷を覆いつくしたり冬が過ぎて春が来る季節になつてもずつと冬だったり:はたまた突然温泉が湧いたかと思えばそこから怨霊が湧き出て来たり(なお解決できなければもつとヤバイ事になっていた)と様々各種の異変が起こっています。

この本はそれらを取り集めている様なのですが……原作で言う紅魔郷く輝針城の物が書かれていますね。大きな目次はそれで、他にも細かな異変とも言えないような事件も書かれています。

これで望歩君は原作キャラの能力や何をしたかという情報を更に補強できるという訳ですね。性格までは流石に推測できないでしょ

うけどその考えは次の周に持ち越せないので問題なし！

そして更に重要な情報がこの本には書かれています。それは誰が異変を解決したか…というものです。

原作ではそれぞれのタイトルでどのキャラとどういう組み合わせで行くかというのを選ぶんですが…：l u n a t i cはその…はい、誰が、どの組み合わせでクリアしたとか…完全にランダムです。

これ、全く問題無いように見えるでしょう？有るんです。まず原作の時点でどうやってクリアしたかでエンディングが分岐し、更に誰がクリアしたかでもエンディングが分岐します。更にこの「夢幻幻想郷」ではその結果を引継ぎ、それぞれのキャラたちに経験値が分配されています（白目）

つまり、極端な話ですが全ての異変を魔理沙が解決した世界線だとすると糞つよ魔理沙が誕生し、その分クソ雑魚霊夢が生まれます。それにより性格も多少変化が起きてしまい…：と結構な影響を受けてしまいます。

まあチャートを汲まなければならぬRTAでは速攻で確認しなければいけないのですが…：私はこれを最悪読めなくても問題ないと判断しました。理由はトロコンに辿り着くのに主人公勢の力は魅力的ですが必須ではない事、そして経験値が最低でも彼女らは普通の一般人や妖怪からしたら雲の上レベルで強いからです。

それらから考えて、この脱出RTAでは彼女らの経験値判定リセマラは必要ない、どういう場合でも臨機応変に対応できるという結論に至ったんですね。

え？じゃあ今これを読む必要はないだろうって？…：まあ、情報は有るに越したことはないから（手のひらクルー）

はい、この話止め！読み終わりましたし倍速を一時中断して画面をどうぞ！

「あ、読み終わったか…：どうだった？幻想郷の歴史…：というには最近過ぎるが異変の数々は」

あ、はい…：数年の内いろんな異変が起きすぎだとは感じましたね、その内いくつかはこの幻想郷が崩壊してもおかしくないモノでし

たし（震え声）

「あはは…私もその異変全てに関わったわけではないが何度も驚いたものだよ。〃 スペルカード〃 ひいては〃 弾幕ごっこ〃 の始まりとなった通称〃 紅霧異変〃 の時は大変だったなあ」

妖気を帯びた赤い霧が幻想郷を覆うって大分ヤバイ異変ですもんねえ…妖気を帯びてるってことは一般的な人間にとっては毒ですし、耐性の弱い子供や老人にとって更に危険でしょう。

あ、妖気等の干渉系は〃 意思〃 で判定する系と〃 耐久〃 で判定するものが有るんですがこの場合多分〃 意思〃 で判定されていると思います。なお〃 魔力〃 は全てを防ぐ（無敵）

さて、いい時間ですしそろそろお暇しま

今回はここまでです。ありがとうございました。

寺子屋／不明／搜索へ

今日もう本読んで寝るしかねえな？ なRTAはーじまあるよー！

前回慧音先生の寺子屋にお邪魔して本を読ませてもらったところからですね。

で、そろそろ帰ろうと思うんですが……え？ 本当にこの本お持ち帰りして良いんですか？

「ああ、構わないよ？ 気を使ってくれて阿求から貰った本から読んでくれたみたいだし……そっちの本は、まあ手間はかかるがいつでも書き直せる類のモノだしな」

だからって普通高級品な本を無償で担保もなく貸し出ししたりはしないんだよなあ……

でもこれ以上この話を引っ張るのも今度は逆に失礼になっちゃうので明日返しに来ることを約束して終わりにしましょう。

「ああ、明日もこの時間ぐらいまでなら私はここに居るだろうからいつでもいいぞ」

ああ〜慧音先生の住所特定無職（現在）への気遣いが染み渡るんじゃないア〜

じゃあ俺、ギヤラ貰って帰るから（感謝）

さて、寺子屋から出まして……もう子供も居ませんねえ。日が沈んだら素早く、夜遅くまで遊ばずちゃんと家に帰るとか教育がしっかりしてるってはつきりわかんだね。まあ、妖怪が実際にいる世界なのでそこら辺の躰は現代の比では無いのでしょうか。

じゃあ鈴奈庵に向かうんですが、途中弁当屋に寄り道しましょうか。まだギリで開いてるのでささっとのり弁……と言いたい所何ですが今日本を借りる時にお金を使わなかったのもこのままだと余るんですよね。なのでこの後博麗神社まで行くまでの装備のグレードアップもするんですがちよつと贅沢して唐揚げ弁当を買ってお水を……うんおいしい！ 残り80文……日本円にして約2400円程度の価値である!!（推定）

空腹値がまだ余裕があるのでこのまま食わずに鈴奈庵へ移動します。何度か里内部を移動し続けましたので最近薄れてきたRTA成分を補給する為にも最短の移動で鈴奈庵へ向かって見せましょう。

裏道に…で、出ますよ。望歩君全力疾走遅すぎイ！　こ→こ←見てください、ネコが居ますよネコ！　F o o → → ワン（迫真）…………はい、着きました。タイムはあ…………？　10分36秒…普通だな！

（自虐）

おかしいなあ、もうちよつと早くてもおかしくないとは思うんですけど…………寄り道なんかしましたっけ？　（すつとぼけ）

ま、いつか！　こんなところのタイム縮めても意味なんてないんだよ！

は、冷静さを取り戻した（？）ところで鈴奈庵の様子は…………閉まっていますね。

まあ、これは普通に閉店しただけの可能性があるので…………本も返せてないしちよつとノックと声掛けぐらいはしていきましようか。

すいませーん、望歩ですけどお、本返したいんですが、いらつしやいませんかねえく？

……………返事は無い、ただの留守のようだ。

この時間に？

ううん？　なんだろ、いやな予感がする…………

ちよおつと…ドアをスライドしますよお…………開いた!?

鍵かかってないんか、とりあえずここは…………

お邪魔するわよく！　（突撃）

いや確かに不法侵入としてとられかねませんけどどうせ望歩君明日にはもう人里から出るんでえ、問題ないかなって。

リスクはありますけど…………それ以前にチュートリアル期間のクセしてイベントの香りがしている現状を放置するのはマズイと判断しました。突然知らないところで爆発して巻き添え喰らうのはもう嫌やねんな…………（3敗）

というか、▪入って、どうぞ、とばかりに鍵が開いていたので僕は悪くないです（責任転換）

で、鈴奈庵内部に入った訳なんですけど……真っ暗ですね。備え付けの蛍光灯が付いていませんし外の光も外の太陽が殆ど沈んでしまっているので入口近くしか把握できません。

何だかサスペンスドラマの事件の被害者を見つける最初のシーンみたいだあ（直喩）

いやシャレになんないんですけど（豹変）

とりあえず光を……ここは火事などの危険性があるのでライターを使わず手探りで蛍光灯を点けましょう。二回も以前に来ているのでどこら辺にあるのかは記憶しています。

やっちやうよ？（逃げ腰）やっちやうよ!?（スイッチ発見点灯）

やめちくり〜（光による目潰し）

さて、ここまで騒いでも奥から小鈴ちゃんが出てくる気配がありませんね。寝てるから気づかなかったという一抹の期待をしていたんですが仕方ありませんね、家探しだ！

と言っても奥に行くような真似は極力しません。この奥、いつも小鈴ちゃんが座っている机の奥の部屋には妖魔本が沢山保管されているハズなので。

確かに私は以前妖魔本を読みたいなど言っていましたけど妖魔本にも危険度がありまして、私が言っていたのは何となく妖力を感じ取れる小鈴ちゃんでも見逃してしまうような、そんな力の弱い妖魔本です。

読んで魔力が上がってしまうような本は妖魔本の中でもかなり力の強い部類に分類されるので小鈴ちゃんが大切に保管しているんですね。そして弱い妖魔本はこの鈴奈庵の他の妖魔本の妖力で隠されて小鈴ちゃんがうっかり店頭に並べてしまっているというのが理想でした。

因みに力が強い妖魔本というのは元々そういう目的……つまり読む者に呪いを掛けたり、逆に力を与える事を目的として作られた本で魔導書とも呼ばれたりします。弱い妖魔本は先日の古明地さとりが書いた本のような、人に見せるつもりもなくただ何となく書いてみたような本で、日記や何かを書き記したようなメモとかを力が強い妖怪が

書いた時にその妖力に中てられ妖力を僅かながらに持つてしまった物が当たります。

なので確定で弱い妖魔本であり、古明地さとりが書いた本である為に読破ボーナスが交渉系に入りそうなあの妖魔本を狙っていたんですよね。

で、その本がこちらになります（震え声）

作りかけの木版とそれを彫っていたノミも転がっている……教授！ これは一体……!?（混乱）

というか……本当にどこ行つたんですかね？

それになんか違和感……何か足りてないような気がするんですね。

＜小鈴の姿が……それに書きかけだった写本が見当たらない。

あつ、それかあ！

今の一文は多分“目星”の技能で判定に成功しましたね。殆ど刑事で手に入れた初期分だけなんで、成功したのは結構ラッキーです。“目星”にもし失敗していたとしても“記憶”の判定で気づけたとは思うんですが……“記憶”判定は時間がかかる場合が多いので時間短縮になつてうま味です。

というか写本……？ 元の本と……何かメモのようなものはありますね……と言つてもそれだけです。

うーん？ 流し読みで少し読んでみますか、手伝っていたという慧音先生に聞いてもいいんですけど流石に今から寺子屋に戻つてもし居なければただのロスになりますからね。

という事で所々の“速読”をしていきましょう。技能が殆ど育っていないので抜け出せる情報にばらつきはありますが仕方ありません。

＜“幻想無限法”を流し読みをした、少し読むのが早くなった、本を読むのに慣れた。

＜内容はこの幻想郷の危うさと、遠い未来それが崩壊するだろうという事を書き示した論文のような内容だった。

＜少し考えさせられる内容だった、もつと理解するためにはもつと

読み込む必要があるだろう。

うお、思考に影響を与える本じゃないですか……読みこまなくて逆に良かったですねコオレア。

まあ、一冊を一回呼んだ程度では何ともなる筈はありませんが……これかなり危険な思想の本ですね。ちよつと“賢者殿”が放っておかないであろう類の思想でしょう。書いた人は多分外来人ですね、里の人間がこんな思想を思いつく筈がない……と言うより思いついてもそれを本にするという愚を犯さないでしょう。作者の名前が載っていないのもこれを書いた人がそれを分かっていたんでしょうね、多分小鈴ちゃんに写本を頼んだおじいちゃんという人がその人であるとは思いますがその人物が誰かと言う所に推測を立てるには小鈴ちゃんの情報が必要になる……。

いや、まだメモがありましたね。これは……小鈴ちゃんの文字では無いのは分かりますが……多分写本にした際に訂正する文字とレイアウトの指示、だと思われれます。

断言はできないのは私と望歩君が製本に関して詳しくは無いからです。推測しかできないんですね。

………これ（推理）無理じゃな？

い、いやまだ古明地さとの書いた本が精神に異常をきたす力を持つているという可能性がある……っ！

でもなあ……読むかあ？ もしそうならある程度は経験と耐性があるであろう小鈴ちゃんに影響を与えたという事になるんですが……

いいや、早とちりは拙いのでやっぱり奥の生活スペースまで確認しに行きましょう。これで普通に出かけているだけなら望歩君何しとんねんとなりますし。

時間的にはあまり無駄にしたくないのは確か……しかしチャートの手に入れるべき情報に関しては既に殆ど終わっていると言っても良いので大丈夫！ 爆弾の方が怖い！

てことでユクゾー!!

あ、倍速しますねえ……この奥が気になるノンケ兄貴は実際にプレイして、どうぞ。

デツデツデデデデ！ (カーン) デデデデデ！

……………何の成果も、得られませんでしたあ!!!

いや、収穫はあったのはあったんですけどね……………？ 例えば昨日帰る前にお茶を載いてたんですが…その湯飲みがそのまま台所に置いてあったり。朝ごはんを作った形跡すら無かったり……………

つまり…昨日からいない可能性が出て状況は悪化してるんですけどね (白目)

ええ… (困惑)

今からでも慧音先生に報告しに走った方が良い、良くない？

それどころか自警団にも連絡した方が良いと思うんですけど (名推理)

今、取得アイテム的に順風満帆も良いとこなので爆弾は爆発させたくない……………これから稼ぐ経験値的に考えてももしこれがイベントならクリア出来れば、そうクリア出来ればお釣りが来る……………

でも、チュートリアル中に東方原作キャラのイベントが起きるなんて聞いたことが無いんですよえ……………多分ですが調べてもそういう事実が出てこないと思います。

さて、今取れる手段とメリットデメリットはざっと三つですね。

1、慧音先生に頼りに行く↓会いに行っても居ないリスクがあるが“話術”で聞いて回れば居場所の特定は可能であり、話を聞いてもらえれば一緒に探して貰えるでしょう。満月はまだなので“能力”によつての「歴史」に依つての居場所特定は無理ですが、その信頼度の高さから捜査がやりやすいだろうという点。

2、自警団に相談しに行く↓まず何で昨日からいない事を知っているのかで不法侵入が疑われる。“縁起” “話術” “信頼”などで丸め込めるでしょうが時間がかかる。ですが一度動き出せば里内の捜索は完璧に行われるでしょう……………里内は。

3、かえつてねる↓五日目まで生き延びればいいやと言うRTAの鏡にして人間の層的発想。正直言いますと慧音先生に貸してもらった本を読むという当初の目的を崩さず、明日イベントが発動する前に博麗神社に逃げ込むのはアリ寄りのアリです。ただ……………望歩君の精

神にどれくらいダメージが入るか、そして……博麗神社に逃げ込んだところで本当に被害を防げるのか。過去にこのパターンで爆弾ガン無視で試走してみた所、安全圏の筈の博麗神社や人里を巻き込んだ事件に発展しRTAどころじゃなくなつた経験があるんですよ

……
考える時間は余りありませんが決めなければいけません。何を^{安定が}選^祈び、何を捨てるのか。

いやあ、安全期間の五日までにこんなイベント(?)が起きるなんて……これだから【夢幻幻想郷】RTAはやめられねえぜ！

あつ、小鈴ちゃんの部屋も探索しましたが丁度この上の空間なんですよね、いつも本を借りに来ている直ぐ上で小鈴ちゃんが生活していると思うと何だか不思議なきび

今回はここまでです。ありがとうございました。

搜索／助力願い／出戻りへ

小鈴ちゃんを搜索したりしなかったりするRTAはーじまーるよー！

前回小鈴ちゃんの身に何か起こっているとはわかったんですが何が起こったのか、そもそも今どこに居るのかを探るか探さないか決めているところからでしたね。

これは非常に迷ったんですが……まあ、1になるかなって。

慧音先生には迷惑を掛けますがもしこのイベント——かどうかはまだ断定できませんが便宜上そう例えます——のパターンでは力が必要になる場合が非常に多いので里の人間では敵わない妖怪が出た場合無駄に被害が広がり、もし霊夢がそっちの対処に追われた場合望歩君を外に帰するのが後回しにされる可能性があります。

帰って寝るでも同様に……というかこちらはお祈りするだけなので運が悪ければ普通に再走案件です。

時間的に言えばまだやり直しても痛くない……いや、痛いけど致命的なところまで進めてないのでやり直しも苦にはならないんですね。普通に10日目20日目のリセ案件がいくらでもあるので。

だからお祈りモードに入っても良いんですが………せつかくなので俺はこの不明なイベントを選ぶぜ!!なあに、もしミスっても参考動画として上げ直せばいいんじゃないよ。

上手くいけば見所さん!?を作れて熟練度含めた経験値うまうまなので一石二鳥!

でも四日目夕方までにクリアできなければ博麗神社に逃げてお祈りします。

てことで寺子屋に急げー!あつ、この本と写本とメモ用紙は参考資料として持っていきます。それに慧音先生に見せれば何かわかるかもしれないので……別に本が読みたいから持っていくわけじゃないよ?……本当だよ?

はい、寺子屋に着きました(倍速済み)

倍速中の解説？なんのこったよ（すつとぼけ）

明かりは…点いてますね。この時間寺子屋に明かりが点いていたら慧音先生で確定と思つていいです。日が完全に落ちてから慧音先生が寺子屋に居る可能性は体感半々ぐらいなのでラッキーでした。まあ、居なければ居ないで聞き込み開始だったんで会わないという選択肢は無いんですね。

緊急事態なので早速突撃します。

本日二度目の……お邪魔するわよ〜！

「うん？望歩君か、慌てた様子だがどうしたんだ？」

突然夜にセンセンシャル！あのお！小鈴ちゃんが鈴奈庵に帰ってなくてえ、調べてみたら昨日から居ないようなんですよ……これ多分事件だと思うんですけど（名推理）

「なに、それは本当か？」

まあ、流石に無条件で信用されるには難しいので簡単に経緯を話しましょう。大丈夫、慧音先生は丁寧に話せばよっぽど普段にふざけた対応をしていたとかではない限り真面目に話を聞いてくれます。

「なる程……そういえば君は外で刑事だそうだな。その君が言うんだから一定の信頼はできるが……一度鈴奈庵に行っても良いか？里の中は飛んではいけないから走っていくことになるが」

それじゃ時間がかかりすぎるので……ちよつと誘導しましょうか。

見てもらいたいものがあり、それが今回の件に繋がっていると考えているので見るだけで良いので見て欲しい……とこんな感じでしょうか。

その後で鈴奈庵に行つて欲しいんですね、移動中、情報が出ていれば考える時間として有効活用できるので。

「……わかった。では貸してくれ」

これで予定通り慧音先生を動かさそうですね、では早速手がかりである本等を見てもらいましょう。

慧音先生は“速読”も“読書”も恐ろしく高い上に“鑑定”までできるので望歩君が分からなかった事も分かる筈……！

〜手がかりになりそうな写本の原本とメモ、関係あるかは分からない

いと前置きしてから古明地さどりの書いたという本を渡した。

「少し時間を貰うぞ……そういえば既に自警団等に話はしたか？」

まだですね。正直望歩君的にも知らない自警団より知ってる慧音先生……魔法などの超常的力を見せてくれたのも慧音先生なので、そこも考えると自警団に一番に話を持っていく理由は無いと説明します。「そうか、なら今からでも連絡を……いや、先に親御さんへの連絡……は流石に診療所は開いていない、か」

親父さんの方は連絡取れないですもんね。

そろそろ写本の方は読み終わりそうですね。いやあ情報交換をしながら速読できるって流石ですね。他にも幻想郷にも本読みが得意なキャラが多くいますがそれぞれ得意分野に熟練度が分配されていて全員が全員早いつてわけでは無いんですよねえ。

さて、慧音先生の分析結果は如何に……？

「……………何というか、こう……違和感はあるんだ、だが断定できる材料ではない、妖力も感じないしな。やはり一度鈴奈庵に向かおうか、そつちの本は多分関係ないと思う。確かに妖力は感じるが微弱だしその程度で小鈴がおかしくなるとは思えないしな……」

あつ、そう……？

しかし……写本にもこの本にも問題が無いとなると本当にわからないですね。

いや写本関係には違和感を感じていたようですし完全な無関係という訳ではなさそうですね。

じゃあ仕方ないので鈴奈庵に出戻りです。

ンアツー！（全力疾走の掛け声）

で、鈴奈庵に戻ってきたんですが……今日何回目の鈴奈庵だコレ？
現在慧音先生と鍵の開いた鈴奈庵の扉から中に入っていくところですね。

何か慧音先生の視線を感じますが……なんでっしやる？

「そういうえば……何で中に入ろうと思ったんだ？」

今その話をしますか？（震え声）

それに関してはどうですかね……勘、ですかね？

「勘……いや、バカにしたものでは無いな。実際にこうして異変を感じ取っているようだし……」

不自然に思われたかもしれないませんが望歩君視点でしたことは大体勘としか言いようがないので言うしかないんですよ。

慧音先生と一緒に再度家探しですね、慧音先生もこの鈴奈庵の様子を見てから表情を変えて探索してくれているので大丈夫でしょう。

まあ、ちよつとの間と言えど倍速倍速う！

いや、何で倍速をしたかって言うそうですね、何も見つけられなかったんですね……いやーもう十分堪能したよ……つてなるくらいには探索したんですけどなんの手がかりも無いんですね。

更にそうこうしている内に夜中と言っても良い時間になってしまいました。

休憩で椅子に腰かける望歩君の前で難しい顔で考え事をしている慧音先生の画面から倍速解除です。

「……この時間になっても帰ってこない、か。本当は探している間にひよっこり帰ってくることを期待していた所もあったんだがな」

ウーン……魔力の形跡、つまり魔術や呪いの形跡は無かったらしく。妖魔本に關してもどれも嚴重に保管されており、更に人に憑りつくタイプの妖魔本は無かったみたいです。

ぬわああああん疲れたもおおおおおん!!これだけやって手掛かり無しとかおかしくないですか?こんなイベントの屑ですよ屑!クリアさせる気無いでしょう!?

はあくくく(クソデカため息) あほくさ……とは投げだせないんですよええええまだタイムは死んでないので。

んー……一応無いとは言い切れない、けど可能性があるだけなので馬鹿らしく考えるに及ばない……レベルの推測があるつちや有るんですが……荒唐無稽すぎるんですよええ、しかもそうだったとして小鈴ちゃんが何処に行ったかは分からないまんまという……

でもやらないよりもマシなので……慧音先生に伝えてみましょうか。

慧音先生!写本前では普通の本でもメモ書きをくわえ

今回はここまでです。ありがとうございました。

本居小鈴の珍妙な来客2

「小鈴ちゃん、その写本ってどんな本なの？」

「この本ですか……？」

何故か朝から仕事もせず家に入り浸っている望歩さんがそんな事を言った。昨日着ていた外の服は着ずに里の男衆が着ている安物の服を着て目の前で座っている。

とうかこの人本当に仕事しなくて大丈夫なのだろうか、昨日渡したお金をそのまま使ってるみたいだし。

まあ、望歩さんの事は外来人で……と言うくらいしか知らないから何とも言えないけど。

「そつちの妖魔本？っていう本の事は昨日聞いたけどそつちの本は何も聞いてなかったなあーって思ってたさあ」

お客さんの個人情報に当たるかなと思っただけど……本の事を聞かれてるし……このまま木を黙って彫り続けているのも悪いのでちよつとだけ話す事にしよう。

「所謂思想本というものですね、それ以上に……と言うものはありませんがこれを書いた人は相当幻想郷を調べつくした人ですね」

ちよつと危ない感じの本ですけど……大量に刷って広めるような目的じゃないから大丈夫でしょ。ダメだったら霊夢さんが来るでしょうし。

「ふうん……それ、おじいちゃんが持ってきたんだよねえ？どんな爺さんだったの？」

「それは……って言えませんよ？」

「ちえ……まあ、そんなに気になった訳じゃないから全然構わないけど」

そんな事を本から一切目を離さないまま笑ってふざける望歩さん、いや興味ないなら守秘義務とか有るんで聞かないで欲しいんですけど……外の世界にもそういうのあるよね？と言うより外の世界の方が厳しいんじゃないか？

まあ、どんな風貌だったかくらいは言ってもいいけど……本当に何

となく聞いただけみたいだし別にいつか。

良く印象に残る特徴的なおじいさんだったからなあ……筋肉もりもりのおじいちゃんとか稀に見るぐらいだからよく覚えているわ。

阿求が今度来たら聞いてみようかな、あれくらい目立つおじいさんなら多分知ってるだろうし……

そういえば……他にも何かあったような……何だったけ？

ああ、何かもやもやしてきた……っ！何か見せられたような気がするんだけど……っ！

んん？んんんー？……なんか疲れちゃったし、思い出せないし、時間も丁度いいから休憩にしようかな。

じゃあ早速お茶を……っ！ってそういえばこれくらいなら望歩さんを使つて良いのでは？雑用で少し動くつていう理由で読み放題にしているし。

丁度望歩さんも区切りが良いところまで行つたのか姿勢を楽にしてる。

「望歩さん、ちよつと喉が渴いたんですけど……」

「あ、そうなの？じゃあお茶を淹れてきなよ。僕はここに居るから」

……あれ？

さも当然の様に本をそのまま読み続けようとする望歩さん

「いやいや私の雑用してくれるんじゃないんですか!？」

「え、うん……言われたらある程度は動くけど……」

「今の文面で分かるでしょう!？お茶を淹れて来てください!!」

「……じゃあちゃんとそう言つてくださいよ」

仕方ないなあ、と唇を尖らせながら本にしおりを挟んでからゆつくり立ちあがる。

この人、本当に昨日の人だよな？あの仕事をてきぱきこなした人と同一人物だよな……？いや、昨日の最後のアレを考えれば納得はできるけど……

「ええつと……小鈴ちゃん？」

「……何ですか？」

「台所借りていいの？」

「……はい」

そのくせ妙に常識は有るし……はあ……

しばらくして二人分のお茶を淹れて望歩さんが戻ってくる。

横からすつと邪魔にならない位置にお茶を置く動作にどこか手慣れたものを感じたけど……外の世界でもそういうことをしていたのかな。

「あれ、せっかく淹れてきたのに飲まないの？」

「飲みます……飲みますけど……」

でもやっぱり私に対しての対応が雑な気がする……

今も望歩さんは何でもないような顔でお茶を啜ってる。私が睨みつけても頭上にはてなを浮かべるだけで堪えた様子もない。

慧音先生に話していた時の対応と違いすぎる、確かに下の名前で呼んでいいと言ったけどそれは断じて雑に扱ってよいという事ではないし何だったら慧音先生に聞いていた人物像とは全く違う性格をしているんだけど！

……

「納得いかないっ！」

更に変な目で見られたけど私は悪くない！

「ああ……ごめん、ちよつと煙草吸うから外に出るね」

「え？」

突然望歩さんが立ちあがる。

他に何を言うでもなく望歩さんは黙って外に行き白い棒を口に咥えて火をつけた。おそらくあれが外の世界で言う煙草なんだろうけど……いきなりどうしたんだろう。

思わず敬語を使わないで話してしまいどきりとしたけど何も言わなかったしそれに対しても笑ってたからそこじゃないと思うけど。

何を話していたかと言えば望歩さんが外に帰る、という話だ。それも三日後に。だからこの本さじりの本を見たいという気持ちはわかるし、他の幻想郷の本を良く読み耽っているんだなあとな納得できた。

でも、だからこそ……ここに残る気は無いのか？と聞いたのだ。

そんなに幻想郷に興味があるのなら、それこそこの本が読みたいのなら帰る日付を伸ばしたらいいんじゃないかという提案をしたけど……一言で断られた。

それが余りにも、なんとというか……意外で、ぽつりと呟いた。

「……何というか、さっぱりしてるのね」と

その言葉を聞いてから望歩さんは一瞬、ほんの一瞬だけ顔をしかめて……席を立った。

「何か、気に障る事だったのかなあ」

正直何処が引つ掛かったのかは分からない。考えても分からないかったから……戻ってきた時に、どう対応するかを決めよう！

望歩さんが落ち込んで帰ってくるとは思えないし、私は私でいつも通りにおこう。気を使ったらその分いじられそうだから……という理由もある。

あんまりお腹が空いてなかったからお茶とお団子だけで済ますことに決めて、席を立った。

「今ですか？ええっと、午後の6時ですね」

「ええっ!?もうそんな時間？時間が経つの早いなあ」

あれからまた時間が過ぎて、今は夕方の6時になっていた。どうやら望歩さんは外来人が良く持っているという時計を持っていないらしく、太陽の傾きで大体の時間を見ているそう。そこで鈴奈庵なら時計があるんじゃないの？と聞かれて答えたのだ。

因みに……望歩さんに聞かれなかったら私も作業に集中してたから時間に気付かなかったので助かっている。

写経が思ったよりも進んだこともあった。ちよこちよ望歩さんが雑用をこなしてくれたので集中できたのだと思ってる……ていうか言わないでもできるのなら最初からやってほしい。

やるんなら木版からやって欲しいとグチグチ言われたけどあつちはどう頑張ってもあと二日で終わるわけが無いからあきらめて欲しい。というか何故かやる気がでないし。

当の本人は今読んでいた本が読み終わったのか完全に閉じて凝り固まった体を伸ばしている。

「んく……今日はもう借家に戻ろうかなあ」

「あれ？もう帰るの……？」

ちよつと驚いてしまつて本当に反射的に訊ねていた。

「ううん……いやねえ」

「……………」

何故か言いずらそうにしている望歩さんをじつと見つめる。

なんだろう、どうしてか分からないけどじつとりとした嫌な汗が背中を伝わる。

彼が帰ったら、また一人になるのだろうか。彼は明日もまた来るのだろうか。やっぱりさっきので気を悪くしててここに居るのが嫌になつたのだろうか。

何でそんな疑問が浮かび上がるかも分からないまま、じつと望歩さんを見つめた。

「……そんな目で見られても大した話じゃないよ？ホントに……ただ昨日寝ずに本を読んでいたら寝不足で、今日は早めに休んでおきたいんだよねえ」

「あつ……そうだったんですか」

そう言われてみれば望歩さんの顔色が悪く、目の下に隈が出来ているのが分かった。本を読んでいた時も何度か目を擦っていたし……流石に寝ずには嘘だろうけど徹夜で本を読んでいたのかな。

望歩さんはいつもみたいにくすすと笑みを浮かべながらお金を机の上に置いて本を借りると言った。「幻想郷縁起」を家で読むのだという……寝るんじゃないの？

これも一日借り、望歩さんの借家は分かっているので明日夕方まで来なければ家に行つてやろう。明日、また明日……

「……じゃあまた明日……？」

「何で疑問形？」

望歩さんは「じゃあ、また明日ねえ」とふらふらとした足取りで
鈴奈庵ここを出て行った。

望歩さんを見送った後、ただ音楽だけの音だけがこの場所を支配する。

写本の完成までもうすぐなのでそれに手を付けよう。さつきまでのやる気は……ちよつとでないけどあと少し、今日中に終わる文量だ。

「最後に製本して……一度目を通しておかないとね」

明日は……流石に休憩にして、望歩さんが本を返しに来たらおかあさんに会いに行こう。本を読みたいと望歩さんが言ったのなら……仕方ないから一冊だけ無償で貸してあげようかな？

そんな事を考えながら、私は写本作業の最終段階に取り掛かった。

出戻り／詰め所／借家へ

幻想郷にまで来て事件の捜査をするRTAはーじまーるよー！

前回、慧音先生に懸念点を相談した所からですね。

その懸念点とは、写本の原本の時点では普通の本でも所々をメモの通りに写経することで妖魔本、もしくはそれと同じような効果を持つ本が作れないか……という事です。

これは原作鈴奈庵でもあった方法で、あの時は妖怪の文字を版木に紛れ込ませるという方法を取ることで妖怪の文字を鏡文字にし「あらゆる文字を読む程度の能力」を持つ小鈴の目を掻い潜り、気づかないまま印刷させることで大量の魔導書を量産することに成功しました。

それ自体に危険性は無く、かすかに妖気が出ていても鈴奈庵が妖魔本の見本市で妖気が常に漂っているからそれに紛れてバレない……と言った具合です。それと同じようにただの本を印刷させているように見せかけてレイアウトを変えたり、文字を幾つか修正させることで妖魔本になる事があるかもしれないと私は考えました。

望歩君が慧音先生に伝えた言葉は少し違いますが……それは望歩君の知識が不足しているので仕方ありません。

「そんな可能性は……無いとは言い切れないが……ううん、でもそれ以外で考えれるのがなあ。小鈴はちよくちよく妖怪騒ぎに巻き込まれていたらしいし……せめて写本を依頼した人物がどんな人物か分かれば考えようがあるんだが」

まあ、前例が有るのを知っているのは私であって望歩君では無いので仕方ないですね……そういう可能性があると考えさせられたのでよしとしましょう。

後はどうやって探すか、になるんですけど……今から行きますか？それとも日が出てからにしますか？と慧音先生と相談しています。

私的には望歩君は夜目が利きませんし、ここまで情報が出ないのなら早朝でもいいかとは思っています……つと、慧音先生も同じ考えのようですね。

「……………はあ、里を今から探すには条件が悪すぎる、仕方ない自警団に駆け込むか。以前にも小鈴は失踪して騒ぎになつていたし、小鈴がもし外に出たのなら誰かは見かけている筈だ」

今日の最後の行動は自警団の詰め所に向かうようですね。結果的に1, 2の全部をこなしていく事に成りましたか……

慧音先生が居るので望歩君がべら回す必要は無さそうなのでそこは短縮できていますね。

少女（と望歩） 移動中……（倍速）

自警団の詰め所は何パターンかありますが今回はオーソドックスに入口がある西と東にそれぞれあるパターンですね。人里の形成パターンも平地にあり、中心に位の高い名家などが集中している基本的なものなのでマップ把握が助かりますね。

里の中に崖があるパターンだったり大きな川があるパターンだったりした場合そもその配置がわけわからなかったりするので面白いことには面白いんですが……RTA的には頭おかしなります。通常プレイ時でも同じ感覚で動くと思えますので……地形の把握は大それた事やねんな。

で、自警団の詰め所（西）に着きました。

今慧音先生が自警団の知り合いと思える人と話をしていますね。ん？なにやらこつちを見ているんですが……あ、大丈夫そうですね、見慣れない人だけと誰？外来人！と言った感じの会話っぽいです。（深夜に）まあ、（慧音先生と知らない男がいきなり来たら）そうなるわな。

……終わつたみたいです、その間望歩君は暇なんで本を読んでました。何の本だつて？そんなの決まってるだろ！古明地さとの本だよ？お前……なんてことを……（憤怒）という真面目なホモの声が聞こえてくるような気がしましたが気にしません。大体慧音先生が可能性が低いと言ったから後回しにしただけでこれも大事な情報の一つなんですよ？読まないわけじゃないですか！まあ、全然読めてないんですけどね……何故か望歩君の読むスピードが遅いんですよ、何かの判定しながら読んでいるみたいなのですが……今はちよつと分からないです。

「終わったぞ、小鈴はどうやらこっちは来ていないそうだ……つて何を読んでいるんだ？」

あつ、何でもないつすよ。

それにしてもこっちには小鈴ちゃん来てないんですねえ」

里の中でも見た人は居ないんですか？

「ああ、自警団の人達は見ていないらしい。だからこれから東の方へ行こうと思っている、東の門から出て行った可能性があるからな」

じゃあ里横断ですね、東の門は……望歩君が入って来た門ですね……じゃあ道は……よし、ちよつと重要な情報になりそうな本を読む時間を確保したいので先行しますね！大丈夫だつて安心しろよく。へーキヘーキ、ヘーキだから（真実）

3日合つて——あ、そこ右入つて、そう——そこそこ歩いたので——そこ左で、うん良い感じ——今回の形成パターンは——えっ？迷子じゃないつすよ？あ、そこ抜けてください——大体掴めてますし……多分これが一番早いと思います！（到着）

「……何で君の方が里の抜け道に熟知してるんだ」

年期……ですかね？クセになつてんだ。抜け道探して移動時間短縮するの。

「思ったよりも早く着いたから何とも言えないんだが……時々動きが凄いいことに成つてるし……外の刑事には必要な技術なのかそれは？」

いやあ、多分（必要）ないです。

首傾げながらも慧音先生がまた話を聞きに行ったので望歩君は光がある程度確保できる距離で本の続きを読んできていきます。一回中断しているのちよつと時間がかかりませんが仕方ないです。

あ、今の光景を見ていたなら何となくわかると思いますけど……頑張れば自分の経験上の動きを操作キャラにさせることができます。実際キャラ作成時点で私らの頭の中を覗いてその経験のある程度操作キャラにフィードバックしてるらしいんですねえ、野球ばっかりやってきた人なら操作キャラでも多少野球が出来たり、過去に野球をしていたという記録が作られているそうです。

人生丸ごと違うキャラと自分の乖離が初期のころは酷かつたらし

く、ひどい所ではまともに運動できない程の違和感が有ってプレイできない!という問題を自然に無くしていく為の処置らしいですね。実際この機能を入れてからそういうバグは無くなったみたいですし。そのシステムを利用(悪用)したのが今の動きです。ぶっちゃけ望歩君の肉体に負担がかかる荒業なので乱用はいけませんが使っ機会が絶対に有るので今からちよくちよく使って望歩君を慣らします。しかも望歩君自身が経験を積んで技能を鍛えた方が動きが良いし負担が少ないというマジの最終奥義なんですよねえ……まあ、やるんですけどね。

今までもちよくちよく使ってました。目に見える動きじゃなかったのだからなかったでしょうけど。

読破率3割ですが慧音先生が帰って来ましたね……浮かない表情をしています。

オラすっげえ嫌な予感がしてきたゾ!

「……小鈴を見た人が居た」

何処で……?

「この門を通って行ったみたいだ、普段かぶらない編み笠なんかかぶっていて明かりを持ったまま……いつもみたいに博麗神社に向かっていったのを見たと言っていた酔っ払いがいるそうだ……自警団は見てなかったそうだから隙をついたんだろう、内側への警戒はしてなかっただろうし……それが昨日の夜」

……何で夜に里の外に出て何も言わないのかと思っただかもしれませんが仕方ありません。博麗神社への道は妖怪が殆どでないことで有名なんです……止めなかつた人にもあまり強くは言えません酔っていたようですしその情報を溢してくれただけでも良い方でしょう。小鈴ちゃん博麗神社によく行ってたのでそれもあるでしょうし。

「私は、行こうと思う……君はどうする?」

まあ、慧音先生はそうですね。望歩君は……当然行きます(断言)でも一回家に帰る事にしましょう。慧音先生にそれを伝えて……

待ってて貰いましょうか。往復10分で済ませてやるよ!

「いや、緊急事態だ。だから……飛んでいこう」

は？（困惑）

うん、望歩君の腕をつかんで？脇に腕を通しました？と、とんだ！

望歩君、飛んでる……

マジか……慧音先生に捕まって望歩君飛んでるよ……

「このまま私は博麗神社に向かうからすまないが処理は頼む！」

「了解しました！」

元気よく返事をする自警団の人に見送られながら望歩君誘拐されていきましたね……

障害物のない競争とか一瞬なので倍速する必要すらないっすね……あ、着きましたね。じゃあ荷物を整えに行きたいんですが……足元ふらついてやがる、当然か。

震える足を支えながらできるだけ早くスーツを着込んでいきます。そう、初日のスーツです。しっかりと拳銃と警棒を装備して外に出ます。

「準備は終わったようだな、じゃあまた飛ぶから捕まってくれ」

このまま博麗神社に向かいます。あわよくば博麗神社で本を読んで時間潰してそのまま速攻で脱出しましょう！

さて慧音先生のやわは

今回はここまでです。ありがとうございました。

借家／初めての空の旅／不穏へ

慧音先生に抱えられながら空を飛ぶRTAはーじまーるよおー！

暗すぎて地面が見えねえ（震え声）

前回、小鈴ちゃんが里の外に出たことが判明したところからでしたね。

今空を飛んでくまなく探していますが案の定暗すぎて何にも見えませんね。

というか望歩君が恐怖を感じててそれどころじゃないのもあるんですよね……慧音先生、ゆっくり飛ぶから一応下を見ておいてくれて一歩間違えれば即死の紐無しバンジー手前状態の望歩君にそんな余裕があると思ってるんですかね？ まあ、やりませんが。

この【夢幻幻想郷】においては、人里から博麗神社への道は基本的に一本道で形成されてその道を歩く限り妖怪が襲ってくることは滅多にありません。これは霊夢が良く通る道だからと言うのもあるんですが、それ以外にも妖怪たちに警告としてこの道に近づかない様情報が出回っているんですね。誰がそんな情報を流したのかは不明で、ここ最近はめつきりこの道に居る住人は襲われなくなったそうです。

誰が流したか分からない情報、しかも実際に破った妖怪は消滅寸前まで追い詰められたといううわさ話も相まって妖怪は基本的にこの道に寄り付かなくなっただけですねえ。

それでも道から外れれば妖怪が居るにはいますので気を付ける必要がありますかね。

なので小鈴ちゃんがいるとしたらこの一本道のどこか、もしくは博麗神社……だと思うのですが、まだ確定じゃないので安心できねえ。

今は丁度半分を超えたくらいでしょうか……おや？望歩君の様子か……

▼寒気がしてきた、おそらく体温が下がっているのだろう……

あつ、そつかあ……望歩君、結界とか張れないから夜風が直撃するんだあ！……こマ？

アカン死ぬう!!

慧音先生! ヤバいつすよ! 望歩君防寒してないからこのままじゃ低体温症になっちゃうくすんません、すいません! ちよつと止めてもらっていいつすか? (真顔)

「え? ……あつ! すまない、忘れてた!」

∨ 高度が下がっていく……地面に下りた。

ええ……ここまで来て問題発覚ですよ。時間が無いのに……望歩君お荷物にもなれないんですね (辛辣)

こればかりはどうしようもないんで慧音先生だけ先行していくようにお願いしましょう。望歩君は歩いていくことにします。

と言うより最初からそうしておけば良かったかもしれない。

「それは、そうなんだが大丈夫か?」

大丈夫つすよバツチエ冷えてますよ (体温)

死にそうな面してるかもしれないが「生命力」もそこそこある望歩君はこれくらいの初期症状なら行ける行ける。神社までの道筋も本を読んで覚えてますし、さっき言った通り一本道なんでね……迷うはずがありませんよ!

「……すまない……この辺の道は妖怪が出ないだろうから後から来てくれ!」

かしこまり!

………慧音先生が飛んでいきましたね。

いやあ、まさかの落とし穴でしたね……”魔力”無しで空飛ぶなんて滅多にないので完全に失念してました。

仕方がない……走るか。

低体温? うるせえ! と走り出しました。多分死にかけるけどこの二日持てば良いんだよ! エンジン全開! 究極の走りをご覧あれ……!

月明りしか光が無いので足元に気を付けながら移動していきます。運動すれば体温が上がるだろ (無知) とばかりに走ってますが……一応小鈴ちゃん居ないかどうかチェックして走ってます。居ませんでした。

けどまあ着替えてきてよかったですね……里で借りてた服の防寒性はクソなので多分四分の一も飛んでこれなかったと思います。少しでも頑丈で着なれた服であり、警棒や拳銃を簡単に収納できるスーツに着替えようと考えて良かった……ワンチャン戦闘する可能性も考慮してたので。慧音先生が単騎で突撃したのでおそらく戦闘イベントが有ったとしても望歩君が付くまでに終わってるはずで、事故が怖いので極力ついていきたかったのですが……はい、見積もりが甘かったのは分かってるんですみません許してください！何でもしますから!!

ん？

▽博麗神社の方向から何か不穏なモノを感じる……

………慧音先生？（震え声）

まだ分からないから……戦っているだけかもしれないから……！でも嫌な予感しか感じないので急ぎましょう。

多分大丈夫でしょうけど拳銃も安全装置の類を外しておきます。こんなゴム板は……ポイだ！（ポケットへ）

多分大丈夫でしょうけど警棒を手持って走りましょうか。念のためすぐ使えるようにちやーンと伸ばしておきましょう。

多分大丈夫でしょうけどっ！腹に本を詰めておきましょう。後背中にも。防備点です（TRPG脳）

準備完了！スタミナ切れてきましたけど最後の階段が見えてきました!!

これが名物神社にある無駄に長すぎる階段ちゃんですか……うわっ凄い、直線距離で下から上まで100m（適当）あるんじゃない、これ？

今からこれを登ると思うと……ああ、くたまらねえぜ（震え声）

そう言えば何で博麗神社に行かないと幻想郷から出れないかって説明しましたっけ？

多分してないし今ここで簡単に解説しましょうか……階段見えたのに遠いねんな、階段がでか過ぎて距離感狂っちゃう！

この【夢幻幻想郷】において博麗神社は幻想郷と外の世界を隔てて

いる“博麗大結界”の境目に位置しています。厳密には幻想郷内に建っている訳では無いんですね。

その境目に建っている為にこの場所からならば比較的簡単に外の世界への隙間を開くことができると言われています。現にここ以外で霊夢に外へ出たいと頼んでもここに連れられました、他の場所だと何らかのリスクがある様ですね。

勿論この博麗大結界には抜け道が存在するんですが……一度試してみた結果、トロフィーが得られずにまた周回に戻されたんですねえ。

ちなみに抜け道と言うのは意識ない状態でならば博麗結界を素通りできるのでそのまま博麗結界の外に射出してもらいました。脱出さえできれば良かったんでその後キャラが着地で死んでも判定はセーフ、セーフです！

纏めると『ユメマボロシ』トロフィーを得るためのフラグを踏む為には、霊夢の手によって博麗神社から正規の手段で出してもらおうというのが必要不可欠だったんですねえ。

はい、いい感じに階段前まで来ましたね。

しかし……あれから10分は経っているのに音は何にもしないし、不穏な気配は消えてないしでかなり怖いけどこのまま走ります！だって僕は慧音先生を信じてるから!!

ていうかここまで来て逃げるといふ選択肢は無いんだよなあ(半ギレ)

脱出に必要なのは霊夢と博麗神社なので……霊夢が帰ってくる前にケリを付けないとわだかまって時間がかかって……(タイムが)死ゾ。

だから走れオラアア!!!

あ、もう無理? 階段長すぎ? ……しょうがねえな! 3分間だけ待ってやる。……時間だ、行け! (1分)

ハイ到着! 状況は……?

神社に支障なし、地形が荒れているなども無し! 良し!

おっと、人影発見、編み笠を被って縁側に腰かけている小鈴ちゃん
……………ヨシ！（不安）

「あつ、こんな夜中にどうしたんですか？霊夢さんは居ませんか？」
お前を探してたんじゃい！というか慧音先生は何処へ…？」

「慧音先生？慧音先生なら中に居ますよ」

へ、へえ……………中に居るんですね。

……………今、私の中の警鐘がものすつごい勢いで鳴り散らかしてま
す。

何というか、違和感を感じるんですよ、小鈴ちゃん。できれば近
寄りたくないというか。

あのお……………何で、編み笠取らないんですか……………？（小声）

「え？ああ、今取りますね……………ずっと付けてたから気にしてませんで
した」

うそやん？

顔は……………ちゃんと小鈴ちゃんですね。声も、間違いありません。髪
は……………おろしていますが、服装などに異常は無くいつも通りの服だと
思えます。

ちゃんと小鈴ちゃんだと判断できるんですが……………駄目だ！望歩君
が一切近寄る気を見せない！そしてそれに私も同意しているので何
なら後ずさってますよ!!

「……………どうしたんですか？もう夜遅いですし、霊夢さんには悪いです
が一晩屋根を借りますよ」

美少女と一緒に一つ屋根の下というシチュエーションは大変魅力
的ですが……………おう、考えてやるよ（泊まるとは言っていない）
と言うか私はホモであってノンケじゃないってそれ一番いわ

今回はここまでです。ありがとうございました。

不穩／魔弾／回収へ

小娘に怯えてどう動くか判断しきれないRTAはーじまるよー！

前回、髪を下した小鈴ちゃんの色気に気圧されたホモの望歩君が小鈴ちゃんと一緒に寝ようって誘われた所からですね（捏造）

いや、マジこれ妖気出、出ちやいそうな気配なんですけど、それは大丈夫なんですかね…

ここ神社何だるオおお！?!何でこんな不穩な気配が漂っているんだよ!! 霊夢さんが居ないからですね…知ってた!!

ていうか望歩君、君…勘が良すぎるでしょ? 私は経験上でこの状況を判断して近づくのはNGだってわかるんですが…ちよつと近づこうとしてみるでしょ?

∨嫌な予感がする。これ以上は近づかない方が良いだろう。

って感じで忠告のようで半分くらい強制的に小鈴ちゃんに近づかない様にしてるんですよ…

「望歩さん?」

やっべ、小鈴ちゃんが立ち上がった…っ!?

どうする…逃げるか? 慧音先生は心配ですがこ→こ←は一旦引いて助けを…ツヒヨ!?

なんか飛んできたんですけど!? 回避、回避いい!!!

∨何とか黒い何かを回避した、黒い何かはそのまま地面にぶつかり、土を爆ぜさせて破壊痕を残して霧散した…当たればただでは済まないだろう

ただでは済まない…所か当たり所によっては一撃で死にような威力何ですがそれは（震え声）

というかなんだ今の!?

小鈴ちゃんが魔力の塊みたいな弾放ちましたよ!?!

幸いにも速度が見切れない程じゃなかったので無理やり体を操作して躲したんですけど…

無抵抗な人間を撃つなんて…この人でなし!!

「あれえ…外しちゃった、望歩さんどうして逃げるんですか?」

はは、首傾げてきよとんとしてる小鈴ちゃんがかあいいなあ……
(白目)

〈小鈴は正気に見えない。武器はあるが……逃げた方が良さだろう私も同意見ですよ！というか小鈴ちゃんがあんなあぶねエ魔法……魔法？何でもいいですけど使えるなんて見たことねえ!!

でもねえ……見てくださいあの魔力(視認)背中見せたら滅多撃ちにされそうで逃げるに逃げれないんですよえ……階段ですし満足に回避行動もできないでしょう。

ペラ回しや……何とか情報引っこ抜いて手札を整えるんや!!

おう嬢ちゃん！いきなり人のこと撃つなんてええ度胸しとるやんけ!!けつたいな威力してるけどなあ……何処でそんな力手に入れたんや？ちよつと兄ちゃんに言つてみい!

「これですか？なんだか本を読んだらいつの間にか使えるようになってました」

あ、望歩君を撃つたことはスルー何ですね。

というか本を読んだら、ですか。とりあえず鳥居の裏で身を隠しながら……その本って古明地さとの本ですかねえー!?

「違いますよ……この本は、私が書写した本です。完成したから一度誤字脱字が無いか確認してたんですよ」

成程なあ……足音は止まっていますね、ちよつと覗いて……あつぷり!

〈目の前を黒い何かが通り過ぎて行った……反射的に頭を戻さなければ危なかっただろう。反射神経が少し良くなった気がする。

ステータスアップは嬉しいがこんな危機的状況での上昇はちよつと複雑……ていうか頭出す瞬間を完全に狙ってきましたねえ、これは殺しに来てる(確信)

小鈴ちゃん、何でそんなに殺意高いの？望歩君への対応的に慧音先生生きてる気がしないんですけど?!

「望歩さんが逃げようとするからじゃやないですか、里に帰って誰かに伝える気でしょう?」

それはちよつとだけ困るんです。私は霊夢さんが来るまで……霊夢さんと話すまで捕まえられるわけにはいかないの」

霊夢と話す…？その為にここに居るといふ事でしょうか…？それなら博麗神社に居る事への説明にはなりますが、それを最初から言っておけばこんな事にはならなかったのでは？

「だって望歩さん、私の邪魔をしに来たんでしょ？だから慧音先生をけしかけてきて…今それでダメだったからまた誰かを呼ぶつもりなんでしょ？」

その発想は一体どこから…？

やっぱり思想汚染系の本で精神汚染喰らってるんでしょか、口調もちよこちよこ安定していませんし…お前精神状態おかしいよ…

んー、決めつけは危ないんですが、推測を述べますと小鈴ちゃんは今、目的を達成するという強迫観念またはそれに近い状態を強制させられる術と目的である霊夢含め自分以外の全員が自分の邪魔をしに来ているという潜在意識を埋め込まれていると思われまます。

ただその場合漏れ出る魔力や妖気が尋常じゃ無く、いくら鈴奈庵の環境でも小鈴ちゃんが気づかず読むという事は無いと思うんですが…その線で考えるのなら本自体を媒介にした思考誘導魔術、という可能性が一番高いですかね？

その場合なら術者は遠くには行けず、その本自体を被害者から遠く離せば洗脳の効果が薄れ、時間と共に完全に消滅するはずです。

その可能性が一番高いのでどうにかして小鈴ちゃんから本を取り上げたいんですが…

「望歩さんあん？出てきてくださいよー」

ちよつと無理そうなんですよねえ。

幸いにも黒い魔力弾以外ではそう言った特異な力を使う様子もないので…彼女の言う通り不意打ちでもなければ東方原作キャラならば即座に取り押さえられるでしょう。

慧音先生が生きてる事に賭けて大声で起きるように頑張つても良いんですが生きていたとしても気絶なら起きる可能性が低いでしょうからやりたくないんですよね…

どうすつかなく俺もな（切実）

「いちらから行きますよー？」

随分とリラックスした声ですねえ、私には死神の足音にしか聞こえないんですけど。

聞こえる足音からしつかりと警戒しながら近づいてるのが分かりますね（絶望）

小鈴ちゃん？望歩君邪魔しないからどうかその魔力弾向けてくるのやめてくれませんか？

「嘘ですよ？今私何となくですけどそういうのわかるんです」

いや、本気で何もする気無いですけど……そのセンサー壊れてますよ！というかあなた何回も操られたりしてるんだからそろそろ耐性の一つや二つ備えてくださいよ！もしくは道具を用意しておくとかさあ!!

＜足音が近づいてくる……先ほどの何かが飛んでくると思うと冷汗が止まらない！

望歩君の精神力も削れてますね。会話できないしやべえよ……やべえよ……

でも望歩君の武器はこれしかないしひたすら喋りましょう、一瞬でも隙が出来れば上々です。その隙にワンチャン狙って博麗神社に飛び込みます。せめて遮蔽物が無いと話になりません、ボロボロになるであろう博麗神社には尊い犠牲になつてもらいましょう。

何か琴線に引つ掛かるような話題を探せ！というかこんな幾つもの効果が折り重なったような高度の洗脳魔術をノーリスクで万全にやり続けられる筈が無いんです。本人の精神力や呪術耐性が何らかの理由で落ちていない限り喰らうこと自体が珍しい系統の魔術ですからね。

一つ目の質問は……これで行きましょうか。

そう言えば小鈴ちゃん何時からここに居るんですか？という質問でちよつとでも話を聞いてくれたらいいなあ（希望的観測）

「いつから……昨日……？でも、今は夜だし……さつき？」

ん？結構混乱してますね……

じゃあ畳みかけましょう。ちなみに望歩君今日朝から鈴奈庵に行つたんですけど小鈴ちゃん居なかつたんですよ、つまり小鈴ちゃん

ん最低でも今日の朝から居なかつたんですけど……そう言えばご飯
食べました？昨日最後に見た時は団子しか食べてなかつたでしょ？
良かったら今から飯食いに行こうぜ！ラーメン屋さんなら……天○な
ら開いてるだろ！幻想郷に存在しませんけど。

「昨日……うじゃあ一日中？霊夢さんはいつ来るんだっけ？……そう
言えばお腹空いたなあ……おかあさんご飯……居ない……誰も……
あれ？おじいさん？」

よっしや今しかない！（外道）

気になる事呟いてますが思考よりも生存を優先！博麗神社に全力
疾走です。

「え？あつー！」

直ぐに気が付いたようですがもう遅い、既に加速は……終わっている
！

「ううっー！」

▽背後から寒気が襲ってくるような錯覚を感じた

ナイス〃直感〃！ナイス〃感覚〃！

今です！とばかりに横っ飛びをかまして寸でのところで黒い魔力
弾を回避します。当然の様に精神力を削られますがその内慣れるだ
ろうから放置だ放置！

後五歩の距離……！！

四……

三……二……いつ！！

「逃げないでっー！」

あ、アカン……躲せない……せめてものダメコンっ！！

▽背中になんかが直撃し、破裂音と共に吹き飛ばされる。

神社に入り込む最後の一步を狙撃されました、望歩君受け身も取れ
ずに体ごと障子に突っ込まれましたがまだ死んでいません。気絶
もしていません、まだ視界があるので。

どうにか体に鞭を打って体を起こさせまして、周囲を確認……慧音
先生は居ませんね。即座に奥へ行きます。骨も折れていないような
ので動きは悪いですが致命的では無いのはかなり運が良かったので

しよう。でも人が吹き飛ぶ威力ですからね……かなり痛い……
…これは痛い。

追いかけてくる小鈴ちゃんの足音を聞きながら神社の中を小走りで移動します。

と言つても入つて来たのは居間なのでその奥である土間に行きます。居間に居なければ土間しかこの神社には無いので拝殿に転がすとかさされてなければ……居た！慧音先生発見！帽子が外れて近くに転がっていますね。

∨脈はある、死んではいないようだ。

だが起きる様子はないと……何回か頬を叩いていますが反応がありませんね……と時間が無いので担ぐ……担げる……あ、行けますね！慧音先生身長が低い（暴言）ので体重も軽いんでしょう（失礼）……が多分そろそろ「見つけた」はい（遠い目）

「何で倒れてないの？」

気合だよ気合……あの魔力弾を食らえば気絶するような効果が込められていたんですかね？確信を持っていたのに外れて困惑しているようです（心理学）

とりあえずダツシユで森の中に……突つ込むぞ！あつ、めっちゃ魔力弾飛んで来たあああああ ああ ああ ああ ああ ああ ああ ああ ああ ああ ああ ああ もう やあ

今回はここまでです。ありがとうございました。

回収／神憑り／バアーカ!!へ

小鈴ちゃんに追い詰められるRTAはーじまるよ——!!! (やけくそ)

前回、どうにか慧音先生を回収したところからですね……起きて!(必死)

ていうか小鈴ちゃんが飛ばしてきた魔力弾なんですけど……よく見たら破壊力とか無いみたいですね。正確には呪い?をまき散らしているみたいで……固められた呪力が発散される際に出る衝撃破が生じるというただの副産物みたいです。

何故分かったかだって?目の前を飛び交う黒い魔力弾を解析したんです、解析できるぐらい飛んで来てるんですね……今どうにか博麗神社周りをぐるぐるする事で射線を切ってどうにかしています。体力的にその内捕まるでしょう。

呪いと判断した最大の理由は未だに起きる気配のない慧音先生の容態からです。こんなにもガンガン揺らして振動も激しく、担がれているから多少の痛みもある筈なんです……見てくださいこの安らかな寝顔、きれいな顔してるだろ。ウソみたいだろ。死線に居るんだぜ (語録無視)

それにしても少々不味いですね……私、慧音先生は小鈴ちゃんに近づいて不意打ちでズドンと喰らって意識を失ったとまでは予想したんですが、呪いではちよつと予想外でした。小鈴ちゃんそんなの使えないので本の力……というかそれを媒介にした黒幕の術だと思えます。流石にそれまで一冊で出来ていたら危険度が高すぎるし、写本で作らせるにもその程度でそんな強力な呪術書なんてできる訳無いですし……

近く(距離不明)に居るであろう術者をぶん殴るのが一番早いんですけど……まあ、奇跡的に見つかったとして勝てるかと言えば難しいんですけどねえ。

こんな事なら言霊使いビルドにすればよかったかもしれないね……言葉に魔力を乗せて強制力を持たせるんですけど、魔力やそれに

属するステータスが低ければ多少力を籠めれば動きを止めることも可能になるんで、肉体である小鈴ちゃんの魔力ステータスは確か二ヶ
タ無かったので本を取り上げることぐらいは楽勝でできるんですよ
ねえ。便利ですけどそれ以上の欠点が発覚してしまったので使わな
かったルートです。

魔力なんて必要ねえんだよ！のチャートで進んでいる今回の望歩
君も最終強化段階ではそれに近いことができるんですが今はただの
お口が回る一般人何でね、動揺誘ったりするぐらいしかできないん
ですよえ……というか戦闘に持ち込ませない為のビルドで持ち込ま
れたら素直に周りに頼ってくださいという構想何ですよね……慧音
先生？（懇願）

望歩君ももう体力限界で、途中慧音先生を何とか物置に隠したのは
良いんですけど、ちよつと放り投げてしまうような形になってしまし
た。多少乱暴ですが仕方ない、おろすくらいなら何で担ぎ上げたんだ
？って話になりますますがその時点では呪いの効果だつて分からなかつ
たからね、しょうがないね。

しかし、多少時間は稼げましたがどうにもならないですね……今分
かっている情報で、望歩君の知識と私の経験則から一緒に推測できる
のが幾つかあってそれを勝利条件に纏めてみたんですけど無理難題
過ぎて笑えて来ますよ。

まず、今回のイベントの最終的な勝利条件。小鈴ちゃんの手からあ
の本を取り上げる。という事になります。そこから 黒幕降
臨 とはならないと考えてますが、それがあつたとしてもどうしよ
うもないので今は考えません。

では、その勝利条件を達成する為に必要なモノその1。距離を詰
める手段です。

現在小鈴ちゃんから発せられる黒い魔力弾はそこそこの充電時間
はあるものの連発可能な代物です。一発撃つてから大体2〜3秒く
らいの間があつてから次の弾が発せられます。命中精度はかなり高
く、大きさもバスケツトボールくらいは有るので回避が容易ではあり
ません。

望歩君一応技能で“柔道” “こん棒”は持つていますがそれ以外は何かランダムの野郎に仕込まれでもしていい限り初期値からの筈なので回避しての接近はかなり難易度が高いです。“器用”もあまり高くないですし……“速度”もそこまでなので10mも距離があつた場合一発は当たるので防げる手段が無いと厳しいですね。

これだけでもしんどいのですが次に必要なモノその2。呪いに耐えられる耐性、または回避手段です。

あの本多分触れるだけで体に悪影響を及ぼします。と言うよりあの黒い魔力弾一発分の力位は小鈴ちゃんの手になくても撃てるんじゃないかな？と推測しています。ていうか絶対できるしヤツてくるわ、l u n a t i cだもん（負の信頼）

なので、慧音先生が一発ノックアウトした挙句未だに起きない呪いの力を受けきるナニカか、それを回避する手段が必要だと考えています。一度望歩君に直撃し、それでもまだ望歩君が行動できているのは呪いの力が背中に仕込んでいた本に幾らか吸われたからだと思っんですよね。ていうか本がクツションになるように位置調整しましたので。

それ以外の理由ですと……何かをキーにして反応する呪いだったという可能性も無くはないのですが、違った場合モロに喰らつても大丈夫と油断してそのままお陀仏、タイムも成仏してしまいますのでNGです。

最後に……いや、やめておきます。確証を持ってませんし、一つ目と二つ目さえあればOKなのでわざわざ言っておいて必要ないやんけ！となったとき私の心が耐えきれないのでやるとなったら準備だけしておいて成功したらドヤ顔します。

とりあえずこのクソみたいな難易度の前提二つ……今から攻略するから見とけよ見とけよ

まず、小鈴ちゃんを望歩君が近づきやすい場所に誘導します。気合で土間から入り込み居間の方へ誘導しましょう……そういえば土足厳禁の居間の方にも土足で上がってるんですけど謝れば許してもらえますよね？

今の小鈴ちゃんはずつと何事かを呟きながら望歩君が博麗神社から出れないように警戒しているので一瞬でも視界から消える事を嫌うはずです。望歩君を狙いすぎるが余り慧音先生を隠した事にも気づいてなかった程なので多分周りをあんまり見ていない状態だと推測できます。

なので……ちよつとダッシュして一氣に外に出た後右へ曲がり視界を切ります。当然何回も試してきたので向こうも急いで追いつこうと走ってくるので……反転、距離を詰めに行きます。

「っー」

単純な追いかけて……で繰り返してきたので向こうの思考に逆に向かつてくるという発想は無かつたのでしよう、一瞬動きが固まりますね。ですがこちらにも完全に逃げていると信じ込ませる為に少し離れたので僅か数メートルだけです。距離が出来てしまいました。

当然、数秒あれば小鈴ちゃんから黒い魔力弾が飛んで来ますが……

ここに警棒があるじゃろ？これをこうして……こうじゃ!!

∠警棒と黒い何か衝突し、破裂音が鳴り響いた。

こうして投擲することで迎撃します。何回か黒い魔力弾を見て、これは一定以上の質量、エネルギーを持った物体と衝突することで破裂する仕組みだと分かりました。これは今まで読んでいた本の一つである“幻想郷の非常な常識・下”に書かれてある魔法の種類に書かれてあった解説と照らし合わせて特定しました。望歩君も“記憶” “知恵” 判定で成功したのかヒントをくれましたし殆ど間違いないだろうという確信を得ていたのでやりました。

弾かれた警棒がこちらに飛んでくることだけが懸念点でしたがそこまで乱数が悪くなかったので今森の方に飛んで行ってしまいましたね。探せば見つかるでしょうがこの戦闘中は回収不可能でしょう。

「……え？」

躲すのでも無く、当たるのでも無く迎撃された事に驚いて動きが止まっている間に距離を詰められました。

当然この好機を無駄にする程私も望歩も甘くないので……捕まえた。

遂に小鈴ちゃんの腕をつかむことに成功しました。ですが勝負はここからです。

「っ！離して!!」

もう離さないかな？もう離せるぞオイ!!

はい、手を放しました。当然腕を引つ張ろうとした小鈴ちゃんは態勢を崩して倒れかけて、それを予想していた望歩君が……はい、ここでもうお忘れかもしれませんが”倫理セーフテイ”さんを下げている成果をお見せします。

小鈴ちゃんの握る本に向けて……小鈴ちゃんに当たる可能性を一切考慮しない全力の蹴りをぶち込みます。望歩君の技能では不安が残るので私が憑依し、神憑りと言われるような精度の蹴りを本にぶち込み小鈴ちゃんのそこから吹き飛ばします。

この状況、”倫理セーフテイ”さんが働いてしまうと小鈴ちゃんに当たるかもしれないという良心からの恐怖で肉体が変に硬直してしまい私が操作した上で威力不足だったり、そもそも当たらなかったりしてしまふ可能性が出てきてしまいます。この望歩君が格闘技で足技が得意などで成功する確信しか抱いていないのならそんなことも起きないのですが……今回そんな技能が一切なかったので倫理セーフテイ低下の面目躍如でしたね。

小鈴ちゃんが素で望歩君よりかなり弱い生き物であったことに感謝ですね。戦闘技術がすこしでもあればこうもスムーズにはいかなかったでしょう。

で、吹き飛んだ本ですが油断はできません。前出した通り……未だに本に残る呪力を開放して最後の悪あがきが……来たっ!!

〳吹き飛ばされ、使用者が居らず本だけになったのにも関わらず、本は空中で怪しい光を放っている。

当然対策済みです。ポケットに入れていた幻想郷のお金が入った財布を抜き出してそのまま本へ向かって投擲、呪いを迎撃します!

持つてくれよ望歩の肉体……!!100%命中極みの投擲っ!!

〳全身の至るところからブチブチと言う嫌な音が聞こえる……

ダメージのフィードバックが来てるううう!!ちなみにね、この全身

のダメージ、肉体だけじゃなくて霊体にも入ってるらしいつすよ？
(過去談)

ですが！見てください、私の投擲した残り90文くらい入った財布(うろ覚え)がはじけ飛んで……中身が望歩君に襲い掛かってきましたがちよつと痛いくらいで済みました！

最後の力を振り絞ったであろう本は、そのまま音を立てて地面に落下し……動かなくなった。

行けた？……行けたな？ (再確認)

まだだ、小鈴ちゃんは？

小鈴は本を蹴り飛ばした時からすう、すう……と静かな寝息を立てている。顔色は悪そうだが直ぐに大事になるという事はなさそうだ。

勝ったな、金！暴力！S○X！勝ち鬨をあげろおお!!

いやあ、一時はどうかになるかと思いましたが……何とかありませんたねえ。被弾も一回で済みましたし……一回で死ななかつたので実質被弾ゼロですよコレア……

……本が力を失ったので呪いが解けたでしょうし慧音先生も直に起きてくるでしょう。一応話を伺ったり、霊夢にこの惨状の説明をお願いしたい所さんですね。

……さてと、慧音先生が起きてくるまで本でも読みませうかね。流石に寝るのは不味いですし、小鈴ちゃんの介抱をしたらそうしましようか。

え、何で拳銃のあるホルスターから手を放して無いかだつて？

それはですね……

森の方から緑色の深い光がこちらに近づいて来るのが見える……イベント終了したのに熟練度やらなんやらのボーナスの報告が来ないからだよバア——カ!!! (半ギレ)

ええ、財布ぶつけた時からこんな予感はしてましたともだから最後の備えがひつよ

今回はここまでです。ありがとうございました。

バァーカ!!／緑光／四日目へ

これで最期だ……持つてくれよ俺の体……っ！なRTAはーじまるよー！

前回、森の方角から謎の緑の光が近づいてきたところからですね。望歩君の知識の中にはそんな光を放ちながら近づいて来る妖怪の情報は有りませんし私もちよつと特定はできません。というか多分妖怪では無く……

∨深い緑の光を放つナニカは森から出てきた後、博麗神社の庭で停止している。うっすらとだが何か四角いものが中心点にあるように見えた。

またこれも魔法の一種で使い魔的な何かだと思えます。位置的には神社の庭、つまり望歩君の目の前ですね。

どうにか腹が痛いふりして右手を上着の中に突っ込ませて腹を抑えるふりして銃を握ってますけど……そもそも銃弾効くかあやしいですねえ……

近くに、というか足元に小鈴ちゃんが寝転がっているので大事にはしたくないんですが……ここは相手の出方を伺いましょうか。

おいゴルア！（小声）ここが博麗神社、博麗の巫女の本拠地と知つての狼藉か！フウン！ホオン！ホオン！（威嚇）

∨緑の光を放つナニカが震えだした。

フアツ!?

撃つ!?これ撃つて良いんですかね!!いや、まだだ……まだ焦るな……っ！望歩君の体力はもう限界、ゲージが見えるのなら既にレッドゾーンに余裕で突入している、精神の方に関しては既に黄色く見えているのでゲージが半分を切っている事を示しています。

いつでも銃を抜けるように意識しながら小鈴ちゃんの足を持つて引き摺ってでも小鈴ちゃんをこの場から離しましょう、助けた相手が結局助けられなかったとか望歩君の精神ゲージが持つかどうかかわからないので二次被害だけは勘弁な!!

∨空気が震えるような感覚、皮膚の表面がざわめくようなそんな気

持ち悪い感触を持った音が聞こえる。

『これなら聞こえるか…？聞こえるようだ。成程、魔力を持たないのか』

しわがれた男の声が聞こえますねえ…聞こえるというか振動で直接体に音をお届けされているようですが。取り合えず私の記憶にあるような妖怪、人間ではないことは確かです。

幾らかの手段でこっちに話しかけてきていたようですね、魔力の言及から念話か何かで話しかけて来ていたのでしょうか。望歩君そんな素質も何もないので何にも聞こえなかったんですね。

『私としては後一日二日待てなかったのかと思ってしまうが…こうなっては仕方ない。取引と行きたいのだがよろしいか？』

あつ、それって拒否権あります？というか元凶のようなので聞きたいんですけどお、小鈴ちゃんを操るのはいいんですけどこんなお粗末な防衛機能で良く実行しようと思いましたがね？実際魔力も何も持たない望歩君に洗脳解除されてますし…

『それも取引の内容を聞いて貰ってから話すでしょう。まずはその意思があるかないかを聞きたい』

ん…ずいぶんと冷静な黒幕さんですね。普通の妖怪は精神が未熟なのでそこそこ相手の失敗談などのプライドに関わるモノに触れれば苛立ちくらいは感じてくれるはずなんですけど、それが一切見えませんね。望歩君の“心理学”を抜いてくるような技能持ちだった場合は話が別ですが…それはそれで相手が技能を高めるくらい知能が高くて、高位の存在であるという証明になるのでそれでもまた不味いです。

しゃあねえ、条件次第ですが話を飲む方向で進めましょうか。

後々苦痛になるような条件でも明日には帰れるんで踏み倒せば解決ですし（マジキチスマイル）

とりあえず明日に、五日目に成れば私の勝ちなんだ!!

『受けてくれるようだ、それは良かった。二人分の記憶を消すのは少々骨なのでな』

言外に断った瞬間どうなるかを告げられていますね。でも記憶消す

だけで許してくれるとか……すっごいやさしい、やさしくない？（感
覚麻痺）

というか二人分……？んー、成程……術は行使していても監視は出来
てなかったようですね。最悪のケースで自分の位置がバレる可能性
を極力抑えようとしたんでしよう。

『取引と言うのは他でもない、とある言葉を博麗の巫女に伝えて欲し
くてだな』

それだけ……？ヤバイですね、この相手の目的の大きさと手段との
比率が完全に狂ってるんですけど……

言葉を伝えるだけなら自分でもかましくは普通に誰かに伝言を……
というか今の様にお願ひしたら良かったんじゃないですかね、こんな
本を使った回りくどい事をしなくても。

『いやいや、この状況こそが必要だったのだ。あの時のような、この状
況が最適だったのだ。』

失敗してしまった物は仕方がない、神社を守護する狛犬を引きはが
し、地獄の妖精を他の場所へ誘導するには多少の労力が必要だった
のでな……次善策にしようという訳だ』

どういう訳なの……？

全く訳わかんなくて恐怖を感じてきたゾーこれ（後方確認）

というか居なくても特に疑問に思ってませんでしたが……：そう
いえば博麗神社に住み着いている霊夢以外の面子が一切気配を感じ
ないのはこの黒幕さんが細工していたからなんですからなんです
ねえーヤバイ（確信）

“クラウンピース”はまだ分かります。いくら純化したとはいえ
妖精ですし、ちよつと興味が出るような事を言えば二日三日は簡単に
博麗神社地下から移動するでしょう。ですが“高麗野あうん”の方
は一体どうやったんでしようか、この口ぶりだと倒したわけでは無さ
そうなので余計に謎が深まります。三妖精は……多分放置されてい
るか境界貼られているんでしようね。

＜緑色に光るナニカは、激しく点滅し始めた。＞

あのお……（推定）おじいさん？言葉を伝えるだけなら普通にさっ

きまで見たいに伝えてくれたらいいんじゃないよ？

＜更に発光は激しくなり……周囲一帯が光で包まれた。

駄目みたいですね（失明）

＜声が聞こえてくる。』——、——』

え？何？聞こえないんだけどお！？

ま、まずいですよ！何か時限式の爆弾埋め込まれました、しかも自分で自覚できないタイプの奴です！設定された条件で発動するタイプのスタンドです！（混乱）

畜生めえ!!ただの伝言かあ、つて安心した瞬間にドギツイのぶち込んできやがって……ええつと、簡単に言うとは望歩君は呪われました。精神に根付く呪いで解くには徳の高い僧侶などに頼るしかありません。一番簡単なのは霊夢ですけど、おそらくこの呪いの発動条件も霊夢に会う事なので意味がねえ!!

＜光が消えて……たまらず膝をついてしまった。顔を上げるとすぐ近くまで緑の光を放つ物体は来ていた。

クウーン……（子犬）しっかりと距離詰めてきやがった……

『これで取引は完了だ。安心すると良い、これ以上は何もしない。これは置いていくので有効に使うと良い、手間賃のようなものだ』

ちよつと待つて結局お前誰なんだよお！つて駄目だ望歩君の意識が失われていくつ！やべえ気絶するう！

……画面が真っ暗に成りましたね。

気絶しました。体力精神ともに限界のところまで呪われましたからね、仕方ないと言えば仕方ないのですが。

気絶は睡眠と違い、起きる時間を制御できなかつたり回復量が著しく少なかったりします。しかも夢を見る判定もあるという……つまりクソですね。

大体の場合は2～3時間、大ダメージで気絶した時は7～8時間はずっと気絶し続けます。勿論介抱されたり起きるように水ぶっかけられたりしたときは直ぐに起きれるでしょうが……今回は厳しそうですね。慧音先生が最初に起きたとして……ボロボロの望歩君を無理やり起こすという事は期待できないでしょう。

あつ、画面に光が入り込んできましたね。夢はなさそうで一安心です。

いやあ……気絶や睡眠でそんなに待たなくても良いのは良いんですけど……これ時間も3分で済ませてくれたらいいんですけどねえ。

電腦VRのRTAは電腦ゆえに本当のリアルタイム計測だと時間を圧縮させて幾らでも短縮できますからね……専用のタイマーソフトが開発されたのは良いんですけど……諸々の統合性を取るためにゲーム内の睡眠時間でもちゃんと睡眠時間分計測されているんですよえ、多分睡眠のシステム的に電腦の時間短縮を使っているからなんでしょうね。

まあ、この辺はRTAを見続けた熟練兄貴達なら常識中の常識でしょうがこのRTAが初めて！という初々しい初心者兄貴達にも説明する実況者の鑑！

で、起きたんですが……やはり移動させられてますね。気絶する前には縁側に立っていた筈なので……こうして天井があるのはおかしい、という訳ですね。

多分居間でしよう。移動させてくれたのは慧音先生かな？

とりあえず起きて現在の状況を確認しましょうか、多分熟練度とかも沢山貰えるは

今回はここまでです。ありがとうございました。

四日目／報告／空からへ

イベント終了！損害無し（）以上閉廷！！なRTAはーじまーるよー！

前回、望歩君が呪われて四日目になったところからですね。

さてさて……色々ありましたけど流石に終了判定でしょうし目が覚めてしばらくしたら望歩君の昨日を乗り切ったという自覚と共に成長すると思うんですけど、どうだ？

＜周囲を見る。多少荒れているが博麗神社の居間のようにそこで寝かされていたようだ。

＜気だるげな気持ちと妙に重い体を起こして立ち上がると土間の方から足音が聞こえてくる……慧音さんだ。

「起きたのかー！どうだ体におかしな所は無いか？私も診てみたんだが詳しいことは分からなくてな」

＜少し疲れているがそれだけだと手を軽く振りながら伝えた。

「そうか……君は常に死にそうな顔をしているからな、体が弱そうでちよつと怖かったんだが無理に動かすわけにもいかななくてな」

＜死にそうな顔は元からだと告げて一先ずは今回の一件の始まりである小鈴の安否を聞くことにした。

「小鈴は……そうだな、ちよつと待っててくれ。私は君が倒れてからの状況しか知らないし……小鈴もさつき起きたばかりでな。一回情報交換しよう」

んー、この流れですと……話し終わった時に貰えそうですね。

慧音先生が離れましたし、一旦持ち物の整理をしましょうか。銃はありますね、弾も抜かれていないようですね。結局使わなかったのがゴム板をハメ直して誤射しない様にしておきましょう。他には……腹と背中に仕込んでた本ですけど流石に抜き出されていますね。近くのちゃぶ台の上に置いてあります。この二冊を回収しておきましょうか、小鈴ちゃんに何か言われたら返しましょう。

他には……ライターも警察手帳もペンも破損したりしている物は

ありませんね。警棒は思いっきり弾かれたので森の中ですか、ちよつと見に行つてなければ諦めましょう。

▽周囲を探索したが……警棒は見当たらなかった。

流石に無理でした。この際ばつさりと諦めましょう。次の周では持ち物に復活しているでしようしね。

では……二人が戻つて来たようですね。

「ん？何か探しているのか？」

ちよつと落とし物をね……見つからなかったんですが。

とうか小鈴ちゃんじゃないですか！見た感じ怪我とか無さそうですね、呪いの後遺症とか無さそうで良かった良かった。

「はい、おかげ様で……助けてもらったみたいで……」

なあんか足んねえなあ元氣？ていうか心の距離とか言うの出来てます？

んー……これもしかして、罪悪感？

なんで？（困惑）

小鈴ちゃん結構凶太かったですよね、君事件に他の人巻き込んでも大事にならないければ結構ケロつとするタイプでしたよね？

ええ……今回の件も小鈴ちゃんの過失は無いに等しいですし、マジで小鈴ちゃんが落ち込む理由がわからないんですねえ。

仕方無いので会話の中で特定していきましよう。

では早速会話を……と、おや？

▽小鈴の姿を確認できた。どうやら自分はやり切ったようだ。

おっ！（イベント報酬）やりますねえ！

さてさて……報酬は？

……いっぱい上がりますね。“筋力”アップマッチョして♡とばかりに1上がりましたね。

他にもいっぱい上がっていきますが……どうせ明日には引継ぎで一気に下がるので大きく上がったステータスと技能だけ言って終わりにします

やはりダントツで“筋力”でしたね。次いで“耐久”が上昇しました。おそらく後一回徹夜本読みをすれば1上がる目測です。

技能はやはり“心理学” “演技” “話術” が大きく上がりましたね。死線の中を必死に口を回していた訳なので当然と言えば当然ですが。

後は“格闘” “投擲” も通常以上に上がっています。最後の私の神憑りが利いてますね、失敗すればただじやすまなかつたでしょうし。

と、特筆すべき物はこれくらいです。この話をしている内に望歩君達が居間に座り込んで、慧音先生がそろそろ喋り出しそうなので見てください。

「じゃあまず小鈴はどこまで覚えている？」

「私は……あの写本を完成させて読んでからちよつと」

まあ、そうですねえ……あの状態が有意識であるとは思えないのでそれは予想できませんでした。

ですけど無意識下でも何か感じれる事は無かったか聞いてみましょう。

「何か感じたこと……ですか、ええつと……いや、あります！何というか、常に頭の中で言葉がぐるぐるしていたような、そんな感じでした」
言葉ですか……多分望歩君に伝えられた言葉と一緒になのでしょうねえ。小鈴ちゃんもどんな言葉かは覚えていないみたいですし。

「で、次は私か……と言つても情けないばかりなんですが、望歩君と別れた後博麗神社に着いたのは良いんだが……土間の方から入った時に……その……不意打ちを喰らってしまった……呪いの類だと思うんだが咄嗟に張った結界を素通りし貫通してそのまま意識を刈り取られてしまったんだ。一応最後に黒い魔力の塊だけは何とか見えたんだが……これでは何も見ていないと一緒だな」

そう言つて申し訳なさそうに肩を落としながら落ち込んでますね。こんな姿を見せられたら望歩君が死線を彷徨っている間気絶していたことなんて……もう許せるぞオイ！

「最後に意識を取り戻した時には望歩君が崩れ落ちて倒れこんでいく瞬間だったからな……本当に申し訳ないっ」

じゃああの光の後直ぐに慧音先生が起きてきたんですねえ

……何かタイミングが良すぎる気がしますがああ推定じじいが狙ってやったんでしょ(適当)

「あの元凶の本は力こそ感じなかったものの直接接触することも憚られてな、取り敢えず摘まめるもので摘まんではしっこに置いてあるぞ」

あつ、そっかあ…それで近くになかったんですねえ。

で、この感じですよ…もしかして二人は小鈴ちゃんが操られていたことをご存じでない？

少なくとも慧音先生はその様ですね…小鈴ちゃんは…よく分からないですね。何となくですけど…完全に覚えているなさそうですね。呪われたかもしれないという事はあるんですよ。

呪われたかもしれないという事は望歩君薄っすらそうかなあ？としか知識量的に思えないので

慧音先生が喋っている間、ずっと恐る恐る聞いていたんですよ。

まあ、望歩君の上がった“心理学”を以てしても確信に至れるものではない程度の違和感なので間違っている可能性があるんですけどね。

でもまあそれを指摘する必要も無いのでここは普通に望歩君の見たことを語りましょうか…小鈴ちゃんの事を伏せながらですけど。

これ以上小鈴ちゃんに精神ダメージを与えるのもまずいし、やったところで意味も無いです。そこは普通に緑色の何かに襲われたとしても言うておきましょう。

呪われたかもしれないという事は望歩君薄っすらそうかなあ？としか知識量的に思えないでしょうしわざわざ言う必要も無いので黙っておきましょう。

〳〵二人に自分が見たこと、やったことを説明した。一部事情を伏せながら。

二人の技能じゃ…慧音先生は怪しいですけど何を隠してるかまでは分からないでしょう。

案の常慧音先生が「緑…？」と首傾げてますけど…多分それ、黒い魔力で隠れて見えなかったんじゃないかと誤魔化します。

「ううん…？確かによく見れたわけじゃないが…と言うよりだ、

一回喰らったと言ったが体は大丈夫なのか？」

大丈夫だって安心しろよく何で大丈夫か詳しくは私も分かってないんですけどね（困惑）

「そうか……なら良いんだが」

あつ、望歩君ですら一発は耐えられた魔力弾（呪い）一発で倒れてしまったの結構気に病んでますね。まあ、元々望歩君を守れると思つて望歩君を連れてきたんでしようし……その後望歩君一人にしてしまったのが信条的にキツイんでしようね。

しかし、これに関しては望歩君何も言えませんので仕方ありませんがスルーします。

さて、そろそろお話も終わり。昼前……と言うにはまだ早すぎますが空腹ゲージがそろそろヤバすぎるのでご飯を食べに行きたい……ん？

▽外から声が聞こえる。年若い少女の声の様に思える。

おや、誰か来たようですね。この事件が起こった後の速さからして
“射命丸文”しゃめいまる あや か慧音先生が帰つて来なかつた事から交友のある
“藤原妹紅”ふじわらの もこう ですかね？

というか少女の声って該当大杉で全く参考にならないってそれいちば

今回はここまでです。ありがとうございました。

空から／呪爆へ

難局を乗り切ってもう少しで一週目が終わりかけなRTAはーじまるよー！

前回、イベントが終了して情報交換をしていたら外から誰かの声が聞こえた所からですね。

その声に気付いた望歩君がそれを確認しに外に出て行きます。

慧音先生も小鈴ちゃんも同じく聞こえたようなので一緒に出てきましたね。では誰が来たんでしょうね？

んー、黒髪ですね……でしたら射命丸文の方かなと思ったんですが速度が望歩君の目で追える程度なので違うでしょう。それに……なんか赤つぽいよなあ？

……あれ霊夢じゃね？巫女服着てるし多分霊夢ですね。は？

(困惑)

え、なんで？(驚愕) うそでしょ(半笑い) シュバルゴ!? (錯乱)

……ふう、ちよつと待ってくださいよ！今までの試走や通常プレイ中この初めの五日間の間はあなたどんな手を使っても絶対に出てこなかったじゃないですか!!!これじゃあ今まで五日間のチャートから作り変える必要があるじゃないですか！いや、その前に霊夢の出現条件から絞りなおしとか頭おかしくなりますよ!!

あーもうめちやくちやだよお(チャート)

えー再走ですか?こ→れ←……条件も訳わかめですし、この霊夢の五日以内出現方法が確立すればこの【夢幻幻想郷】のRTAのタイム全部塗り替えますね……

ええ……どうしますかね……?ちよつと待ってくださいね?今望歩君が予想外の展開でフリーズしているので……あつ、再起動しました。

そして今高速で私を分裂させて脳内会議していますね。全員”私”何で意味ないんですけどそれに気づかない程混乱していますね。

で、超々低確率のイベントの可能性もあるので狙って出せない場合もあるでしょうし……続行します!と結論を出して本格的に分裂し

始めました。

流石にチャートが半ば崩壊しているくせに続行するのに賛否両論あるでしょうけど……今回の周で他の要素である知識の収集や熟練度等がかなり成功しているんですよ。なので上手くいけばそのままRTA動画に、無理そうならこの一場面だけでも反響はあるだろうという判断で動画を上げ始めた……と言った経緯ですね。

と、そろそろ望歩君が動き出しましたね（時間稼ぎ）慧音先生にあれは誰だ、と聞いていますね。

「霊夢だな……博麗神社に向かってきているみたいだが、明日まで帰って来ないんじゃないか……というより何を叫んでいるんだ？」

慧音先生でも無理ですか、望歩君も「聞き耳」高くないのでうつすらとしか聞き取れないですね。

「あの、何か振りかぶってませんか？」

え？そういうえば超スピード!?でこちらに向かいながら何か投げつけようとしているような……ん？

何か棒のような物が高速で飛んできて……？めっちゃこつちに飛んで来てますねえくあつ……（察し）

∨目の前の地面に棒のような物がぶつ刺さった。

サーッ！（血の気の引く音）ファッ！（再起動）

何事?!?何故攻撃された!?!いや、わざと外しているようにも見えましたが牽制ですかね？今から行くからそこを動か……って感じの。

慧音先生もビクウツ！ってしてから動いてないですし……小鈴ちゃんは小さくヒエツって言うてから反応がありませんね。後ろに居るみたい何ですけど……へへ、おかしいや体が硬直して動かないんだ（恐怖）

∨空を飛んでいた巫女服の少女がすぐそこまで降りてきた

はい、博麗霊夢で間違いないですね。すごいぶち切れた鬼の形相をしています……

あつ、お札を持ったまま空中で静止していますね。

「あんたらが神社襲ったやつらね……！人が留守にしているからってやりたい放題やってくれたみたいじゃないの……っ！」

「ちよ、ちよつと待て！これをやったのは私達じゃなくてな！」

「れつれれれ霊夢さん!？」

「問答無用……って、あれ？小鈴ちゃんじゃない？ていうかその男は誰よ」

ええ……成程？霊夢は私達がこの神社を荒らしたと思っ
てですね……もしかしてこれが条件？今まで脱出の前提である博麗
霊夢の好感度を下げない様にする前提の行動しか起こしていなかつ
たので博麗神社への狼藉とか以ての外だった訳なんです、それ故に
？でもそれだったら好き勝手ロールプレイやっている人達の誰かが
見つけていてもおかしくなさそうなんですけど……ちよつとまだ分
かりませんね。

とりあえずこのままじゃ退治（物理）されそうなので望歩君も説得
に入るとしましょ……なんか望歩君の様子がおかしいですね？

▽頭の中がぼうつとしてきた……

あのじじい（推定）の呪いの発動早スギイ!!

顔見た瞬間発動って……まだ望歩君彼女が霊夢だつて確信してな
いじゃないですかあ!!

もしかして範囲内に入った瞬間起爆する感じの奴ですか……霊夢
にマーキングつてマジでどうやったんだっ!?

この前実験で東方キャラに発信機付けて行動パターン把握しよう
としたときがあるんですけど……霊夢さん含め数名は一瞬で気づい
て破壊されたんですよね。特に霊夢は一瞬で見つけてそれが何か理
解する前に嫌な予感がすると即座に破壊しその日の内に私の下まで
来ましたからね……詫び入れてどうにかしましたけどハッキリ言っ
て無理ゲーでした。

「ねえ、そのこの男の人……何か苦しんでるんだけど大丈夫なの？」

あつ、気づいてくれましたね。望歩君一切操作利かないので伝えら
れないので困ってたんですよね……しかし気づかれても間に合いま
すかね……?

「えっ……望歩君!？」

▽意識が朦朧として……耐えられない

「望歩さん！」

「…っ！これちよつと…小鈴ちゃんどいて！」

即死じゃありませんように即死じゃありませんように即死じゃありませんように

〈自分の口から言葉が漏れる。自分も理解できないような音で、周囲に響かせるような音を漏らした

「ちよつ無理！結界を…」

恐ろしく早い保護結界、俺でなきや見逃しちゃうね。

で、明らかに呪いが漏れるより前に結界を張ったつぽいんですけど

…駄目みたいです（頭抱え）

〈「——、——」

なんて？

いやマジでこれ何にも聞こえなかったんですけど、これは大丈夫なんでしょうか？

…：…：…機器の不調とかでは無さそう。となれば望歩君の耳にも理解できない音ノイズとして何かがあるみたいですね。

はい、この音声データを”私チャート修正担当”に渡して解析を試みましょう

か、流石に全部は無理でも一単語か所々は行ける筈。

〈意識が段々とハッキリしてきた、ふらついたまま前を見ると改造巫女服の少女が頭を抱えながら何かを飛ばしてきていた

望歩君ふつとんだー！ちよつと吹っ飛んで背中から地面に叩きつけられました。痛い痛いですよ…これは痛い。

「はい解呪完了！！ったく…何なのよ人が恐ろしく面倒な結界の展開を補助してきた帰りなのに…」

あぁ〜頭の中からまだ何か聞こえる気がするう…：…で、小鈴ちゃん達は一体なんでここに居る訳？神社が妖怪に占拠されたって聞いて急いで飛んで来たんだけど」

霊夢さんが解呪の符を投げ放ったみたいですね…：望歩君衝撃を受けただけで無傷なので。

何とか起き上がって、事情の説明を済ませてしましましょう

慧音先生も説明してくれようとしてくれますがちよつと調子悪

そうです、霊夢と親しい小鈴ちゃんは……気絶してますし……

ここから事情説明してさっさと外の世界に帰して貰えるように説得しましょう。

霊夢は“直感”の技能が最大で持っていますが“話術”“心理学”は持ってない……ていうか鍛える気が無い？のでどうにかして丸め込みます。

呪い爆弾だったから信用されない？そんなの呪いなんて一般人が分かる訳無いのでどうとでも言い訳はできます。

なので場を整える為にまず気絶癖が付いている小鈴ちゃんを運ぶことを提案して望歩君が害のない、敵意のない人物であることをアピ

今回はここまでです。ありがとうございました。

呪爆／会話／暴露へ

一つ目のトロフィーが見えてきたRTAはーじまるよー！

前回……原因不明の霊夢と遭遇して原因不明（望歩君視点）の何かが発射したところからでしたね。

で、今どうしてここに居るかなどの事情を説明しているんですが……ちよつと引掛かる部分はあるりそうですけど嘘をついている訳でもないで不満げな顔をしながらもちやんと聞いてくれます。

ではここでちよちよ出てきている技能の“直感”と霊夢の“直感”について少しお話ししましょうか。

この“直感”はどの行動をする時にも自動的に判定が行われその都度「悪い予感がする」「右の道が正解な気がする」などの曖昧な予感として表記されます。

技能の熟練度が低い内はそう表記されても間違っていたりそもそも表記されなかつたりするので全くと言っていい程当てにならないんですが……これが育つと他の技能の補佐をしてくれて補助された技能成功率や効力が上昇します。これがどれ位の事か分かりにくいと思いますが……そうですね、この【夢幻幻想郷】の技能は公式では熟練度の段階分け等されていないのですが、システム表示の微妙な違い、微妙だが確実に違いがある等から有志兄貴達が情報を集めて、暫定的に段階分けをしてくれました。こ→れ←目安にするには使いやすくていいゾ〜！

なお、正式な表記では無いので他の所ではこれを前提とした話をしてはいけない（戒め）普通に通じないので。

で、その表記って言うのが全部で5種類＋1存在し低い順から“習い” “手慣れ” “熟練” “達人” “狂氣的” となっており、＋1が“規格外” となっております。

何故一つだけ別表記されているのかと疑問に思ったかもしれませんがこの表記はプレイヤーキャラが確実に到達できない熟練度と成っているが、明らかにそのレベルの力を使ってくるNPCが居るから例外的な表記として存在させました。

例を挙げるとするならご存じ博麗霊夢の“直感”、やごころ八重永琳の“
医学”関連、古明地さとの“心理学”等ですね。

他にも居るんですけど……とりあえずで三人(?)上げました。

古明地さとの“心理学”って能力じゃないの?って思われるか
もしれませんがこの“心理学”は能力を除いた状態での表記です。

話を戻して、“直感”さんは大体“熟練”ぐらいから使い物になっ
て来て他の技能と組み合わせられるようになるのが目安です。

ここまで来れば何となく相手が嘘ついているなあ……とか勘付け
たり、危険な選択肢を嗅ぎ分けられたりします。低確率ですが。

これが“規格外”ともなれば9割9分、意識すれば発動し続けま
す。流石に一切の情報無しならば無理でしょうがほんの少しの情報
から次の必要な情報に無意識的に辿り着ける事ができるんですね。
ふざけんな! (声だけ迫真)

これを誤魔化すには同じレベルまで高めた偽装系の“技能”なら
……多分いけます。

後は……そうですね、最初のキャラ作成時に特徴や職業などで付け
た技能は1つで“手習い”まで上昇させ、3つ同じものを取る事で“
熟練”まで上昇させてくれるので欲しい技能がある兄貴はWiki
などで調べてキャラ作成をすればかなり楽になるでしょう。

まだまだ情報が少ないので、限られた組み合わせになるのは……
しようがないね。

「はあ……成程ねえ」

と、霊夢との会話が終わりましたね。小鈴ちゃんを起こした後神社
の正面、参道の石畳の上で会話しています。

「嘘は吐いていなさそうだし、小鈴ちゃんは前例が有るから絶対ない
とは言い切れないのがね……」

「あ、あはは……」

今あの呪いの写本は霊夢が手に握っています。慧音先生達が止め
たんですけど霊夢が「これにはもうそんな力を感じないし、読まな
きゃ大丈夫でしょ」と静止を振り切って手に取りました。そしてその
言葉通り何事もなく後で焚火の原料にされるらしいです。

「その半獣を一撃で気絶させた…おそろく呪いね、その正体だけは気になるけどこの本を調べても何も出てこないでしょうし。小鈴ちゃんは意識が無かったらしいからそこから聞き取りもできないしねえ」

「ぐう……それは面目無い」

「いや、それは良いのよ。この人に仕掛けられてた呪いも私の結界素通りしてきた代物だし、それにしても素人でも避けることが出来た速度らしいから。でも、緑色の物体ねえ？」

霊夢はちらつとだけ小鈴ちゃんの方を見ましたが……もしかして何かに気付いた？

違和感をできるだけ無くして情報を伝えましたので……望歩君の“話術”なら意図的に誤魔化さなければ霊夢の“直感”を回避できる筈ですが……他の所から気取られました？

「……まあ、いいでしょう。それでその人…望歩さんだっけ？外の世界に帰りたいのよね？」

(元々外の世界出身なんだから) 当たり前だよなあ？

それが出来るのなら望むところなんですけど……良いんですかね？結構望歩君怪しまれていそうですけど。

いや、怪しんでいるのは望歩君では無いのかも……実際違いますし、いきなり霊夢がこんな提案をしたという事はそれがこの件の解決に一番良いという事でしょうし……んー？

「結界が明日から本格的に展開されるからまだ縛りが甘い内にちやちやつとやつておきたいのよ」

いや、いいでしょう。謎は残りますがこの動画をRTA動画と定めた以上目的を果たします。セーブデータを取り置きは出来ないのと同じ状態は再現できないでしょうが誰か再現してくれるでしょう(無責任)

「じゃあ、準備するから……また十分後ぐらいに声を掛けるわ。あっ！その半獣と小鈴ちゃんは残っていないさいよ！後で掃除を手伝って貰うんだから」

そう言つて霊夢さんは鳥居の方へ歩いて行きましたね……

しかし十分ですか、はえ、すつごい早い……本来の三分の一の時間ですよ？

ですが十分……本を読むにも時間が足りませんしどうするか……待っている間二人と会話でもしましょうか。一応この望歩君とは最後の別れとなるんですし、お世話になったのでお礼位は言っておきましょう。

まずは慧音先生から……オツスお願いしまーす！この四日間お世話に成りました！ありがとナス！

「いやいや、私は何もしていないよ。ただ市役所に案内しただけだ。それにこちらこそ小鈴を助けてくれて本当にありがとう。君が居なければ小鈴が居なくなっただけに気が付くのがかなり遅れていただろうし……今は元気そうだが長時間呪われていたら体調を崩していたかもしれないな」

「そういや何でか小鈴ちゃん一日何も食べなかった筈なのに今元気そうですしね。」

「そういえばそうだな……やはり後で里の医者の下に連れて行くでしょう。呪い面は霊夢が大丈夫だと断言したから心配はいらないだろうが体は別だからな」

「そうですねえ、これで医者の下に行ってお腹に何か入ってますよとか言われたらホラーですね。」

「怖いことを言うなよ……あんまり時間が無いみたいだしそろそろ小鈴の方へ行つてやれ、さっきから何かを話したいのか後ろをちよろちよろさせているぞ」

「え？……うろちよろはしてないんじゃないですかね？まあ、私もそろそろ小鈴ちゃんと話そうと思ってきましたのでちよろど良いです。」

「では小鈴ちゃんの方へ行きましょう。」

「……もう帰っちゃうん……ですね」

小鈴ちゃんとも四日……いや実質三日間の付き合いでしたね。日数で言えば慧音先生と一緒にですが比べたら一緒に居た時間というのは段違いで多かったですね。

「あの私……言いたいことが、言わなきゃいけないことがありまして」

うん？何でしょ…あつちよつと待ちましょう、あつちの方で話しましょう。嫌な予感がする（確信）

……裏まで来たし多分大丈夫でしょう。それで、何だった？

「……私、実は……うっすらとだけど、意識あつたんです」
「フアツ!？」

「だから……覚えてて、あの…慧音先生を襲つたり……望歩さんを……」

成程……因みに、望歩君が嘘を吐いて居た、というか意図的に隠していた事に関してはどうお思いで？

「……………」

この事実は闇に葬ろう（提案）

今霊夢に嘘がバレて機嫌を損ねるのが怖スギイ！

「でも、皆さんにご迷惑をお掛けしたのは事実ですし……望歩さんに黒い何かをぶつけたことも……」

そんな事気にしなくていいから（良心）

実際問題望歩君死んでないし、小鈴ちゃんが正気じゃ無かつたんだから気にしてもしかたないですよ。

それにそれ言い出したら小鈴ちゃんに思いつきり当たるかもしれない蹴りかました望歩君が処刑されてまう……

「本当に、良いんでしょうか……」

「というか望歩君の事を助けると思って黙っててくれると嬉しいかなあつて……」

それに、今更ですが望歩君も謝ることがあります。

「謝る事……?」

望歩君はねえ、君の大事なお客さんから預かったねえ、あの大事な妖魔本をこの場所まで持ってきた挙句あの魔力弾から身を守る為に盾にしたんだよお！（暴露）

「……………」

望歩君は無断で関係の無い（後から分かった）大事な妖魔本を持ち出した挙句この身可愛さの為に盾にしました。まる。

「……………」

「あつ、すごい複雑な表情してる。

キレるべきか、それとも緊急事態だからと許していいのかみたいなその狭間を彷徨っている表情をしていますね。

「……………ふ——っ」

耐えましたね、セーフ。

あつ、いい笑顔。

「?み込みました、今回だけは仕方ない事だと納得します」

キレることもしないなんてやっぱ今回の件かなり心情的にキてたんですねえ……適当でも怒りで感情を煽っておいて良かったです。

ではお互いの秘密暴露大会が終わったところで……時間のようです
すね。

霊夢がこちらに歩いてきました。小鈴ちゃんに今の話の口止めをしてから向かうとしましょう。

今回はここまでです。ありがとうございました。

「ユメマボロシ」

遂に一つ目のトロフィーが……なRTAはーじまるよー!

前回、霊夢が外に出れる準備が整ったのか呼びに来てくれたところからでしたね。

「準備終わったわよ……ってこんなところで何してるのよ」

「ちよつとお話してただけです。もう終わったので大丈夫です」

「そう?じゃあこつちに来て貰えるかしら」

あ、はい。

霊夢が先に行ってしまったので、ささつと追いかけてみましょうか……うん?

「望歩さん」

小鈴ちゃんが呼び止めてきましたけど……何でしょうか?やはり一発拳ぐらいは叩き込まれるんでしょうか (震え声)

いや、そんな事はなさそうですね。むしろかなり真面目な雰囲気っぽいですが、何を言われるんでしょうか。

「ちよつとこれから言う時間が無さそうなので今言います。私、この四日間……実質的に二日間だけでしたが楽しかったです。まあ、いっぱい弄られたりしたのはちよつとイラつときでしたが……ずっと誰にも会ってなくて、ちよつぴりだけ寂しかったので……今思えばそれも含めて楽しかったんだと思います。

外の世界に帰っちゃったら多分無理だっっていうのは分かっているんですけど……また会えますよね?」

……何かもうRTAやめてこのまま幻想郷に入り浸るのもいいかあって何考えてんだYO紛ツ!! (思念発射) 危うく呑み込まれるところだったぜえ……このRTAにおける幻想郷最大の壁によオ……

帰る、帰るんだよオ!! キャラの気持ち揺らいでないのに”私”^{望歩}の気持ち揺らいでどうすんだ!!

わたしはしようきにもどった!だが”私”^{望歩}はとりあえず、土下座しろこの野郎。

大丈夫、大丈夫です……この位の難所今まで無数に超えてきたんで

すよ？最近は好感度を上げない様にしてたので耐性が落ちてたかもしれませんが、この程度の誘惑なら一瞬で立て直せますよ（目それし）

でも、こうして外から見ている“私”達以上に中に入っている“私”は主観的に感じてますからねえ……情が入るのは仕方ありませんが、致命的なミスまでは思念飛ばして静止します。無理そうなら？再走（死んだ目）

さて、小鈴ちゃんが先に行ってしまったので望歩君も急いで向かいましょう。

ちよつとの間でしたが待たされたであろう霊夢さんが腰に手を当てて仁王立ちしていますね。

「やつと来たわね……じゃあこの鳥居をくぐって、何が有ってもそのまま階段を下り続けなさい。いい？何が有っても、よ」

ではこのお馴染みの説明を聞いて、ついに脱出の時ですね。

一周目にしては長かつ……いやタイムは短かったですけど本読むだけの予定の一周目の筈なのにイベントが起きて大変だったのですね。うん。

では歩いて行きましょうか。小鈴ちゃんや慧音先生に見送られるまま鳥居に向かって歩いて行きます。

＜霊夢に言われるまま鳥居へ歩く、そして目の前まで来て……この先の空間が歪んでいるようなそんな錯覚を感じた。

＜このまま進めばもう帰って来れないだろうという確信がある。それでも本当にこの先に進もうか？

はい、これが脱出エンド前の最後の警告ですね。このまま引き返した場合、準備したのにと霊夢にグチグチと言われますが心優しい彼女はそのまま結界の穴を閉じてくれます。実際、帰ろうとしてここでの警告を見て、迷い迷った挙句残ると判断した兄貴達は結構多いと思いますよ。ここで迷うような人間関係を築き上げているのならその他もろもろ考えてそのまま居続けた方が楽しいに決まっていますからね。

でもこれは脱出RTAなので速攻で進みます。そして、出る判断を

した場合、一定以上の好感度を稼いだキャラクターから最後の言葉を掛けて貰えることがあります。滅茶苦茶いっぱいいるパターンやほんの少し、本当に仲の良かった人たちが数人しかいないパターンがあつて、どっちも最高に感動するだろうからこれから【夢幻幻想郷】をプレイする兄貴は好きなキャラの全パターンを見て、どうぞ。帰りたいくなさ過ぎて精神涙腺両方崩壊待ったなしですよ？（8敗）

まあ、本来ならここに誰もいないのが本来のRTAの正しい姿なのですが……今回はしっかりと聞いてから外に出ましよう。さつき既に話終えたばかりなので本当に短い最後の挨拶だけだと思われませんが。

〽後ろから声が聞こえる、慧音さんの声だ。

「短い間だが楽しかった！向こうに帰っても元気でな！」

慧音先生!!仮家に補助金全額置いてあるんで後で処理しておいてください!

「えっ!?あれ使ってなかったのか!」

〽小鈴ちゃんが大きく手を振りながら叫ぶ。

「またね!」

〽その言葉になんとも言えないで苦笑いしながら手を上げて返事をした。

〽そのまま歩き出すと、周囲の風景が少し歪んで見えだし始めた。石造りの階段は古いが入れ替わっていたように見えたのが下の方に行くにつれてだんだんとボロボロになっているように思える。

今望歩君が居るのが博麗結界の“穴”です。結界にも穴はあるんだよなあ……という冗談は置いておいて、この【夢幻幻想郷】ではこんな風にだんだんと外の世界に変わっていくというような方法がとられています。そして周囲に霧が……霧が?

〽空中に薄い霧が出てきた。前が見えなくなるほどじゃないが足元に注意が必要だろう。

薄い……?おかしいですね、この霧、ここまで歩いたのなら既に足元がギリ見える程度の濃さの濃霧になっている筈なんですけど。

遂に完全な出口になる階段の終わりも見えてきましたし……何で

霧がこんなに薄いんですかね？

霧の中徐々に意識が朦朧としてくる症状も出てきませんし……

▽不意に背中に不自然な風を感じた。

え？

▽背中を掴まれ引つ張られる。声を出そうとしたが何かに口を塞がれた。

えっ？えっ？

▽体制を崩して尻からこけたと思ったが、感じたのは固い階段の感触では無くどこまでも深い穴に落ちたような浮遊感。どうにか手を伸ばして落ちない様に手を引つ掛けたが体を掴む何かは、少しずつ力が強くなっていき……駄目だ、耐えられない。

待って、これ知らない！こんな演出知らないよお!!?

ていうか怖い！望歩君が必死に抵抗してるのもすんごい恐怖感を煽ってくるんですけど!!

▽遂に力尽きて……上に見える青い空は、閉じて、消えた。

画面が真っ暗に成りましたね……えっ？ナニコレGAME OVER R？

普通にあそこは段々と意識が朦朧としてきて最終的に眠ってしまふ……というこれもよく考えれば怖すぎるエンドの筈なんですけど……やめてくれよ……(絶望)

▽実績解除「霧間」「ユメマボロシ」を獲得しました。

ええ……？知らないトロフィーがあるう……

でも「ユメマボロシ」のトロフィーがゲット出来てる……どういう事なの……？

▽↓続き

やめる

………えっ？あの流れから引継ぎできるんですか!!?

いや、やりますけどね？完全に↑BADEND↑の流れで引継ぎ無理だと放心してたんですけど……

普通に引継ぎできている気がしないです……これ本当に参考動画になるんじゃないかと弱気な心を押さえつけて続行します!!てことでは

い続きをポチつとな！現在タイムは4日と15時間32分42秒
……異常だな！（五日の壁）

馬鹿野郎お前俺は勝つぞお前！（天下無双）新しく脱出ルート発見
したらそれ含めトロフィーコンプしてクリアすればいいんだ
ろおおおおおんんんん!!?!?!あれ？でもそうなればRTAじゃなくて
普通の初見攻略動画になつて趣旨こわる

今回はここまでです。ありがとうございました。

二週目

真つ暗な目覚め／灰緑／“地”へ

「知らないエンディングを確認し遂に現れた知らないトロフィー、これは夢なのか、現実なのか…（電腦）。熱い思考の羅列、加熱した走者の電腦はついに危険な領域へ突入する」なRTAはーじまーるよー！
前回、望歩君が奈落へと堕ち…：…なんか知らないトロフィーである「霧間」と目的のトロフィー「ユメマボロシ」を獲得したところからです
すね。

ちよつと今、音の解析を後回しにしてこの「霧間」トロフィーを検索させているんですけど…：…やっぱ情報が出ないんっすねえ。

まあ、この時間を無駄にするわけにはいかないのでこっちはこっちでどんどん進んでいきましよう。

続きを押して…：…ローディングですね。

ではちよつとこの間に二週目の説明をしていきます。

まず初めに、今回取得を目指すトロフィーについてです。トロフィー名は「未だ儂き幻想」で、取得条件は5日目を超えてから起きる異変の解決をした後に脱出するというものです。この5日目というのは何かもう崩壊しかけているチュートリアル期間の終了で、東方原作キャライベントが発生しないというのが引つ掛かっている。この期間中は異変が起きない…：…と言われていますが、一周目でイベントが起きていたのでちよつと断言できません…：…。

ですが、そんな低確率を二度も引くことを想定するのは無駄というものなので想定は5日間は何も起きないという想定で今後も動いていきます。

そしてこの周、と言うよりこの周からは初期位置による死亡リセマラを極力しません。

理由としてはやる意味が薄い、というのが第一にあります。死ぬにしても場所が変わるだけで、そこがよっぽどのやべえ場所でない限り10日もあれば博麗神社にたどり着ける手段を既に持っているから

です。そう、つまりはあの読み漁った本から様々な場所からの最速安全な帰り方の情報を得ています、知識は“記憶”等のステータスを参照した上で引き継がれる……だから一周目にあれだけ本を読み漁る必要があったんですね。

と、ローディングが終わりましたか。二つ目の説明は……後ほど小ネタでするとしましょうか。

ではちよつと集中していきましようか……さあて、ここはどこかなあ？

∟目を覚ますと、真つ暗な視界が広がっている。

∟頭が痛い……自分は確か、何をしていたんだろうか。わからないが……確か、どこかを歩いていたと思うのだが。

∟体に怪我は無さそうだ。早く起き上がって移動しないと……危険な気がする。

視界がほぼ無いと言つていい程真つ暗ですね……とりあえず所持品からライターを取り出しましょうか。とりあえず視界を確保しましょう。

∟明かりを確保する為にライターを取り出して火をつけようとする。……ライターは見つかったが幾つかの持ち物が無くなっているようだ。

これはスマホの事でしょう。最初から無くしてましたからね、引継ぎをした場合持ち物はランダムじゃなくて引き継ぐ前の初期所持品に依存します。

なので持っているアイテムは確定で「回転拳銃（5発）、警棒、警察手帳、ボールペン、煙草、ライター、サイフ」の筈ですね。

∟手荷物を確認したところ「回転拳銃（5発）、警察手帳、ボールペン、煙草、ライター、サイフ」がある。

そうそうこんな感じに……警棒どこ行つた？（震え声）

……目覚めるまでの気絶している間にどつか転がっていったんでしょう、多分！

いいから進めんだよッ！火イつけろあくしろよ。

ホラホラホラホラ（着火）

〈明かりが少し確保できた。少し周囲を見るが……何も見えない、だが辛うじて洞窟の中であることは分かった。

んー、余りにも暗すぎますねえ……かなり深い場所まで伸びてる洞窟でしょうか。

一周ぐるつと回って……ん？今何か居たような……

「ねえ」

………まだセーフ。

「何してるのー？」

………死んでないね？じゃあ振り向きましょうか。

〈後ろを振り向くと……息がかかる程の至近距離に小中学生くらいの子供が居た。

〈目の前に立たれているのにちよつとでも気を抜けば見失ってしまいそうな気配も何も無い目の前の存在に少し驚いてしまう。

緑がかった灰色の髪、黒の帽子……そして、二本の管に繋がっている瞳の閉じた第三の目。

古明地こいしちゃんですね（震え声）

何でこんな所に居るんでしょうねえ、放浪の末に迷い込んだのでしょうか（目逸らし）

というか何で認識できてるんですかね？能力の波が来てるんですかね？

〈突然現れた目の前の少女だが、何故か古明地こいしだという知識が浮かび上がった。

あつ、知識引継ぎ仕事しましたね。だからどうだって言うんですけど（辛辣）

ちなみにい……古明地こいしってえ……危険度不明の友好度不明らしいですよ？（AQN調べ）

さて、どうしましょう。本気でリセマラ（隠語）した方が良くもしれませんねえ……だってこの感じですとここ地底の可能性が高そうですね。旧都出現ならやりようがあったんですけど……流石にこんな場所に一人で外へ生きて帰れる気もしませんからね。

「ん〜？ま、いっつか！」

うん？様子見で黙っていた望歩君に興味を失ったんですかね？

「お姉ちゃんの気配もするし多分お客さんだよね！迷子なら案内しなくちゃ！」

は？（困惑）

～腕をがっしりと掴まれた。こんなに小さな子供だというのに、何をしても一切振りほどける気がしない。

こマ？ちよまてよおおお!!（キムタクキャンセル）

と、飛んだあ!?!ああヤバイ身動き取れないしどんどん精神ダメージ嵩んでいってますよ!?!ていうかお姉ちゃんの気配って何？望歩君も私もそんなの知らないんですけどオ!!

あつ、真剣に不味い。地底だからか気温が低いみたいでどんどん体温奪われて行ってるんですけど。この前の慧音先生の比じゃないんですけど。

じ、自害…出来ねえ！体が恐怖と寒さで動かないイ!!

とうるかこんないきなりつべこべ言わずに来いホイって誘拐される何てどうしろって言うんですか!!

いや待てよ？（天啓）このままもし地霊殿ないし旧都に連れていかれたのならかなりの時間短縮になるのでは？これはイケますよ！

問題はこのままだと望歩君の精神が壊れちゃーうした上に肉体が現在進行形で冷えてつかくされてて到着までにこの命尽きてそうなんですよね。お前もう生きて帰れねえな？

ほら見てこ→れ←既に視界が暗くなっていきますよ!!気絶の前兆ですねえ…声も出せないのでもできることが。悲しいなあ…（諸行無常）

（意識が）落ちろ…落ちたな（白目）意外と早く堕ちたな（複雑な顔）堕ちたフリしてんじやねえのか？（希望）…駄目か。

でもこれで精神ダメージは軽減ですよ！肉体ダメージが増加しますが。

いやあ、ヤバいっすね。一応このようなパターンはあるにはあるのてこういう時間がかかりそうな時はチャートを確認してリカバリが効かなさそうなら再走しているんですけど、今回はどう転ぶか分かん

ないんですよね。まあ死んだら死んだでリスポンするだけなのでもうこの先を見届ける覚悟を私は決めました。

大丈夫だつて安心しろよ三分の二でお釣りは来なくても問題は無いから。え？残り一つはなんだつて？

こいしちゃんは何処か変なところで望歩君を放置する事かな。無意識にされたら予想つかないからあり得るといのがこれまた……

で、夢は無し……死ぬことも……無かったみたいですね。光が見えてきました。なのでそろそろ起きるみたいですけど、いったいどれ程の時間が経過して、どの場所に連れていかれたのでしょうか……

＜背中僵硬く冷たい感触がある。体調は最悪だが……起きれない事はなさそうだ。

＜自分は石のベッドのようなもので寝かされていたようだ。周囲も石造りで……寒い。

立てる事は立てるけど……大分肉体がヤバいですね。明らかに低体温症の症状が出てます、真つすぐ歩いていませんし。すぐに死ぬことはないでしょうけど……この場に居ても症状が悪化するでしょう。早い事外に出しましょう。

まだ、リセッ…するには早いでしょう。明らかに人工物ですし、人、もしくは話の出来る妖怪が居る可能性があります。ていうか私、ここが何処か想像が付いているのでリセッ！する必要が無いと迷いなく判断できるのも大きな要因ですね。

ほら、見てください。石造りのベッドのような物が幾つかあるのがうつすらと見えるでしょう？望歩君の精神が絶対に削れるので絶対に見ませんけど。

＜どうにか歩いて、扉のようなものに近づく。重く、頑丈そうな石の扉を全体重を掛ける事で動かして開く。

光だ!!死にかけてでも頑張つて上がるんだあくしろよ(鬼畜)

よし、もう四足歩行になってしまってますけど辿り着きましたね。ここの扉は普通に木製っぽいのでドアノブを握って……あっ、開けた瞬間になだれ込むように倒れましたね……せめてゆっくりと中の様子を窺いたかったんですけど仕方ありませんか……予測しているあ

の部屋の主からしてわざわざ殺しは…しませんよね？

「え!?まさか生きてた!!?やばっ、さとり様に怒られる!!?」

慌ただしい女の子の声が聞こえてきましたね。この声ですと私の予想は的中みたいですね、大方ピクリとも動かない望歩君の状態を見てとりあえず安置所に置いておいたと言ったところででしょうか…運ばれなくてよかったあ…

「新鮮過ぎて能力が効かないのかと思ってたけどまさかあの状態で生きていたとは…お兄さん?生きてますかー?」

生きてるよ!

最後の力を振り絞って反応を示しましたが…あっ、どっかに行きましたね。多分…多分誰か呼びに行ってくれたんでしょう。

とりあえず気絶しない様に何とか意識を保たせながら待ちましようか。

経過時間を確認…どうやら30分?なら大分短縮出来ましたねこれは勝ちました間違いな

今回はここまでです。ありがとうございました。

”地”／？・霊？／？・殿？にて へ

誘拐され死にかけて死体扱いされ辿り着いた先はとある館の一室だった……なRTAはーじまーるよー！

前回、気絶から回復し何とかやばそうな場所から脱出した時からです
ね。

震えが止まらず早く体を温めないと不味いのですが……もう望歩君の体力的に自力で動くことは不可能でしょう。

しばらく待つてみるとドタバタと慌ただしい足音と共に勢いの強いドアの開閉音、そして視界がぐるんと反転しましたね。

……あつ、今ちらりと黒い尻尾が二つ見えましたね？ では確定です。今望歩君を毛布でぐるぐるん巻きにし慌ただしく運んでいるのは火焰猫燐かえんびょうりんというネームドです。火焰猫燐は火車という妖怪で、火車と言う妖怪は悪人の遺体を略奪し、五臓六腑を略奪して食い荒らす……または悪人の魂を迎えに来る地獄の使者と言われています。この【夢幻幻想郷】では死体を運ぶという役目を請け負い、運ばれた死体は灼熱地獄の燃料として燃やされます（無慈悲）ちなみに……火焰猫燐に連れ去られた霊は……成仏できなくなるらしいですよ？

それでですねえ……火焰猫燐、もうこの際おりんと呼びますが、この【夢幻幻想郷】において彼女死体を集める趣味があるらしくてですね……気に入った死体はコレクターの様に保管するらしいです。

そうですね、さっきの石造りの場所ですね（白目）

望歩君をコレクトするつもりだったのかもしくは他の目的があったのかは定かではありませんが、あそこに寝かされていたおかげで望歩君の命が首の皮一枚繋がったので何とも言えませんね……

おっと？ 望歩君が降ろされましたね。薄ぼやけた視界から推察するにここは……リビング……？ ですかね、近くに暖炉がありその熱で望歩君を温めてくれているのでしよう。事実震えらしき症状も治まりを見せてきました。

ちよつとだけ回復した望歩君が体を起こさせましょう。ほら！

がんばれがんばれ（はあと）

よし、ちゃんと座る体勢に移行出来ましたね。ほら見てこの肌、すっげえ白くなってる、はつきりわかんだね（体調不良）

でもかなり意識がぼうつとしていているみたいですね、暖炉を見るだけで動く気配がありません。

特に問題は無いのですが……周りの情報が今一取り込むことが出来ないですね。ちよつとだけ不便なので望歩君に鞭を打って周囲を見渡して貰いましょう。

ふむ……客室、かな？ 最初リビングかなと思いましたが机も椅子もこじんまりとしたのしかありませんし、何ならベッドが備え付けられています。そんなリビングある訳ねえや。

ん？ 視界に影が差しましたね……望歩君も気になったのか顔を見上げます。

さて何が……と、飛んでる……

羽の付いた小さな女の子ですね……コオレハ……

まあ、ただのゾンビフェアリーですから安心して大丈夫です。望歩君があんぐりと口を開けて信じられないモノを見るような目で見つめていますが大丈夫です。例えそこにゾンビフェアリーが所せましと天井を覆い尽くしても大丈夫、大丈夫なんです!!

ゾンビフェアリーは妖精の一種。ノリの良い妖精がゾンビごっこしている姿だったり普通に地底生まれの妖精だったり所説ありますが……この【夢幻幻想郷】においても不明です。誰に聞いても明言はしてくれません。分かっていることはおりんに統率されている為か自分から人を襲うという事が少ない事と、何かたまに壁抜けしてくるガチモンの霊体っぽいゾンビフェアリーが混ざっていることくらいですね！ えっ？ なに？ 壁抜け出来る時点で幽霊か何かだろうって？ はい、そうですね。ですが認めると精神ゲージがゴオリゴリ削れるので（認め）ないです。

重要なのは危険かそうでないかなので、問題が無い場合は真実から目を背ける事も必要なですね……ただ、ちよつと分からないのは何故望歩君がこんなにも見られている、という事なんです……

「お兄さん……良かった、まだ死んでないみたい……で……つてうわっ！ なにこれ!？」

えっ、おりんの命令で……じゃ無い？

ちよつと望歩君に質問を……駄目だ、望歩君の口と脳みそが回ってない……これじゃ使い物にならないよ……

いや言ってる場合じゃないんですけど。

「ほら皆散った散った!!」

望歩君がまごまごしている間におりんがどうにかしてくれましたね。助かりました。危害を加えられる事はそうそうないと頭で分かっている先ほどの光景は異様の一言に尽ききりますからね。

これまでの衝撃体験の連続で望歩君の精神力が心配です……一応色は変わっていませんが、細かくどれくらい削られているのか確かめる術は現状持ち合わせていませんからね。

「お兄さん……これ飲めるかい？ 大丈夫、変なモノじゃない。ただのホットココアだから」

やさしさが身に染みて……あつ望歩君が今初めておりんの顔と特徴を認識しましたね。今ようやくおりんの情報を思い出したはずです。付随して先ほどのゾンビフェアリーの情報も浮かんできていると思われまふ。更に更に記憶と記憶がチェインし、古明地さととりと^{れいじゅうつほ}霊鳥路空も思い出しましたね。

思わず「死体運び……」とか漏らしそうになった望歩君のお口を全力で封じ込めながらココアを戴きましよう。危険度低の友好度高と記されていると思いだした筈なのでそこまで抵抗を覚えずココアを飲んでますね。そしてこれだけの情報があれば……望歩君の？ 記憶？ ならば8割くらいの確率でここが地底であり、地底で一番の大物と称されることもある古明地さととりが住まう地霊殿、と推測できる筈です。

この知識の引継ぎによる思い出し、とでも言うこの現象……便利でRTAは勿論普通に攻略する分にも必須というこの機能何ですが言ってはあれですが実際体感してみるとだいぶ不気味な気分になります。

その不快感は一瞬で過ぎ去るのですが知らないことを知っている、しかもそれに違和感を強く持てないというのは……リアルに寄せてあると豪語しているにしては何だか違和感を感じてしまいます。いや、普通にこれ前提で難易度が組まれているから……と言うのは分かるんですが、l u n a t i cでも同じように……と言うのは……いや、考えすぎですかね。

脱線しましたね、現在ココアを飲んで毛布をかぶり暖炉で温まった望歩君の体調は死ぬ寸前から絶不調くらいに持ち直しました。

おりんは……地面に座ってちりちりところちらを窺ってますね。かわいい（小並感）

ようやくゆっくりとですが話せる体調まで回復したので話を聞いてみましょうか。絶不調

いきなり名前呼びは警戒される恐れがあるので普通に……見た目で……何ていえばいいんだ？ 猫の人？ 猫耳姉貴……尻尾の方……つく、迷っている時間ももつたないのでお嬢さんで良いでしょう！ こつちもお兄さんって呼ばれてますし。

ハイ！ お嬢さん……ここはどこで君は誰なんだい？ どうやら暗がり誰かに腕を掴まれてひどい目にあつたくらいしか記憶になるので説明してくれるとタスカル……タスカル……

「えっ!? あ——それは……お兄さん？ まずこれは聞いとかなないと話が進まないから聞くんだけ……幻想郷って言葉に聞き覚えはある?」

んーやつぱ望歩君が外来人ってバレてますよね。特徴的な服装ですし、持ち物も……もち、ものも……アレえ!?

「あはは、お兄さんの持ち物なら一回回収して物置に置いてるから安心してよ。死んでたと思ってたからね、邪魔なものは回収してんだ。……それで、聞き覚えはあるかい?」

そ、そうか……いや、普通に考えてそうなりますよね。持ち物は回収してるんですね……今回は

言い訳をさせてもらうんですね、前に同じような状況になった時普通に持ち物事燃焼地獄に連れていかれかけたので今回も同じ感じ

かな?　と思つた次第でありまして……はい。

ま、まあ問題はないでしょう。返してくれるような雰囲気ですし……まずどうやって返答するか考えましょう。

知つてると答えるか……知らないと言答えるか……いや、どちらにしても厄介な事には変わりありませんが、ここで嘘を吐いた場合この主である古明地さとりに遭遇した際不味い事になりかねません。

何故嘘を吐いて知らないと言答えたのかとつつかれた場合少しだけめんどくさくなります。

いや、ほんとさとり様は面倒くさいお方ですね……このビルドの天敵と言うだけあります。ほとんどのビルドでさとり様は大きな課題になります……望歩君の場合有利な特徴全消しですからね。

どうにかしてさとり様に出会わない様にさつさとおさらばしたい所ですが……とりあえずクオクオア……真実、幻想郷の事は知つていとぶちまけましょう。知つている理由については知らないとも伝え、記憶喪失と望歩君自身にも思い込ませます。そうすることできさとり様の「心を読む程度の能力」からもギリギリ乗り切れる筈です。嘘は吐いて居ませんし、事実望歩君視点そうなってますからね。

と、言う事で……さつそくおりんに「幻想郷については知つている。だけど……何処で知つたかは記憶にないんだ」と伝え……ヒェ!

「古明地さとり……成程、私の事は知つているようですね。ですがこれは……ふむ、実際に見たわけでは無い」

「えっ?　えっ?」

「お燐、あなたの事も知つているみたいよ。火車、死体運び、地底の安全柰……どうやら安心できる存在として思われているようですね」
「ええ!　そうだったの!?　でもさつきあたいの事お嬢さんとか言つてなかつたかい?　まるで知らないみたいにさ」

「それはですね……」

おいヤメルルオ!　(懇願)

余りにも……早い……早すぎる……っ!

想定以上に早いご登場のさとり様の手によって望歩君の心の中が暴かれまわっている……!

ああ、望歩君の精神にダメージが入る音く

何か喋らせて：っ！ 自己弁護させて：：：っ！！ 私ね、そう言うの良くないと思うんですよ!? 言葉って言うのは伝え方でもかなり印象が変わると思うんです！ 順番とか、誰が言ったかでも印象がガラリと変わる！ それをですな！ 何の装飾もしていない丸裸の思考を羅列するのは拷問ですよ!! こっちの事情も考えてよ (迫真)

「他には：：：これは、意図的な欠落？ いや、これは：：：」

望歩君が死んだ目をしているのを楽しそうに弄っていたさとり様の動きが止まりましたね。意図的な欠落：：：？ えっ、なに：：それは：：： (困惑)

すうっとジト目なさとり様の目が更に細められましたね：：：集中している？

どうあがいても見た目少女のお二人の片方にすら勝てない望歩君は諦め状態で全てを受け入れていますね：：：ですが望歩君は責められません。こうなるとうっすら思っていたので私も諦めました。

全部受け入れた後でおりんに土下座してでも地上に送ってもらえるように頼み込みましょう。現状地上へ出れる手段の中で一番目に安全な方法なので。二番目はツアーの客として一緒に帰る事、次点でそれに隠れてついていく事になります。それ以外は試す価値のない運ゲーです。イキスギイ！ (ご臨終)

なのでおりんに嫌われた場合即自害が検討に入ります。最初の一周目が理外の4日目でトロフィー獲得に成功したんでまだやり直してもカバーが効く時間何ですな。

「お憐」

さとり様が望歩君に対して何かしていたのが終わりましたね。

何か納得がいったような表情のさとり様がおりんを呼び寄せて何かを耳元で呟いています。何言っているかは：：：バッドコンデイションでマイナス補正がかかりまくっている上に？ 聞き耳？ 自体高くない望歩君には無理ですね。読唇しようにも読まれているのか口元を隠されていますし。

と、終わったみたいですね：：：伝えたとしても少しの文章っばいで

すね。ならば考えられるのは……ふむ。

おりんがちよつと困ったような表情で望歩君に近寄りますね。ですが私も望歩君も覚悟は決まりましたよ！

さておりんさん？ 殺すのならスパツと一瞬で殺ってくれよなく頼むよ！ RTA的にも望歩君の心情的にもそつちが助かるんですよ。

「いやいや、殺さないからね……？」

えっ

「えっ、ってあたいのセリフなんだけど……何でそう思ったのさ」

いや……あの感じですと普通に厄介ごとつぱいから燃料にしちやえ（隠語）って言われたのかと。

「いやいやいや！ さとり様はそんな事命令しませんよ！」

「ふふっ」

今のはさとり様の笑い声ですね……ってことは……からかわれただけ……？

「からかわれたも何もあたいには何でそう思考が行ったのかさっぱりなんだけど……まあいいや、とりあえず望歩さん？ 呼びにくいからお兄さんって呼ぶけどしばらく面倒を見るようにと任せました」

……???

えっ?? 待って???

「うん？ 待つけど……」

誰が、誰を、どこで面倒見るって……？

「あたいが、お兄さんを、ここ地霊殿でしばらく……体が治るまで面倒を見てあげるように、ってね」

いや待って何があったらそんなことにな

今回はここまでです。ありがとうございました。